

**平成 28 年度**  
**「生涯活躍のまち」調査研究報告書**

**平成 29 年 3 月**  
**大分県**



# 目次

はじめに	1
1. 「生涯活躍のまち（CCRC）」を取り巻く環境	2
（1）大分県の人口動態と将来推計	2
（2）アクティブシニアの人口動態	3
（3）高齢者の就業	4
（4）寿命と介護需要に関する状況	7
（5）収入・支出の状況	9
（6）県内の空き家状況	14
（7）県内の高齢者の住まいの整備状況	16
（8）「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想の動向	18
2. 先進地事例調査	21
（1）ゆいまーる那須	22
（2）シェア金沢	24
（3）オークフィールド八幡平	26
（4）スマートコミュニティ稲毛	28
（5）岐阜シティ・タワー43 ラッシュールメゾン岐阜	30
3. 移住者ニーズ調査	32
（1）調査の概要	32
（2）調査結果	34
（3）アンケート調査結果のまとめ	61
4. 「生涯活躍のまち（CCRC）」の経済波及効果と地域負担の検証	63
（1）移住者の設定	64
（2）移住者の介護需要の推計	66
（3）移住者の医療需要の推計	68
（4）県民の保険料負担の推計	69
（5）移住者の消費活動による経済波及効果の推計	69
（6）「生涯活躍のまち（CCRC）」の経済波及効果と地域負担の検証のまとめ	71
（7）「生涯活躍のまち（CCRC）」推進の社会的効果	71
5. 大分県の地域特性を活かした事業モデルの検討	73
（1）生涯活躍のまち（CCRC）を踏まえた大分県の特徴	73
（2）県内市町村の「生涯活躍のまち（CCRC）」の取り組み状況	77
（3）大分県の地域特性にあわせたモデルパターンの検討	79
（4）大分県版「生涯活躍のまち（CCRC）」の目指す姿	85
（5）事業モデルの検討 ～豊後大野市による CCRC に向けた取り組み～	86
おわりに	92



## はじめに

「生涯活躍のまち」は、国が提唱している新たな地域づくりの構想である。

平成 27（2015）年 12 月にとりまとめられた構想の最終報告では、「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」とは、アメリカの CCRC（Continuing Care Retirement Community：継続的なケア付きの高齢者たちの共同体）を参考としつつ、東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すものとされている。

知識・経験が豊富で元気な高齢者（アクティブシニア）の方々に大分県に移住してもらい、活躍いただくことは、地域の消費や雇用拡大、地域の活性化等、さまざまな面で大きな効果が期待できる。

一方で推進にあたっては、移住する側のアクティブシニアや、移住される側の地域住民の思いに沿っているかが極めて重要となる。また、地域の医療・介護に与える影響等にも十分留意する必要がある。

このような観点から、本県では、平成 27（2015）年 10 月に策定した「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」に、「日本版 CCRC の取り組みなど国による新たな政策への対応」を掲げ、約 1 年半にわたり、大分県における CCRC のあり方について調査研究を進めてきた。

戦略策定後の平成 27（2015）年 11 月には早速「大分県 CCRC（生涯活躍のまち）検討会」を立ち上げ、県内で CCRC を検討している 14 市町との情報共有・意見交換を図った。

平成 28（2016）年度は株式会社大銀経済経営研究所に CCRC の調査研究を委託するとともに、大学関係者、福祉関係者、金融機関等の有識者を交えた「大分県 CCRC（生涯活躍のまち）研究会」を設立し、本報告書の内容をはじめ、それぞれの立場から大分県における CCRC のあり方について議論いただいた。

さらに平成 28（2016）年 11 月には「大分県生涯活躍のまちシンポジウム」を開催し、先進事例の紹介や、地域で活躍されている移住者等によるパネルディスカッションを通じて、県民の皆様と共に大分県らしい CCRC とは何かを考えてきた。

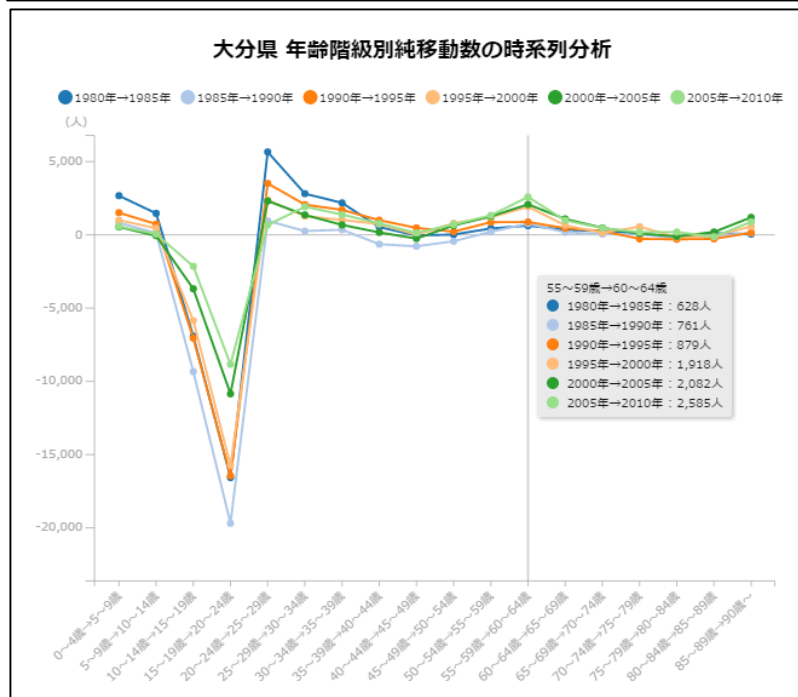
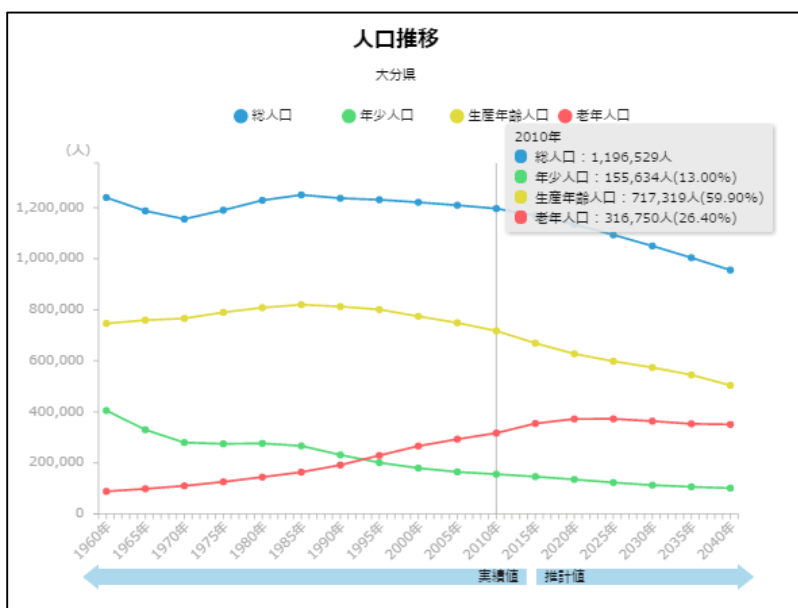
本報告書は、こうした調査研究の成果を踏まえ、市町村をはじめ、県内で CCRC の推進を検討している関係者の皆様の参考となるよう作成したものである。

# 1. 「生涯活躍のまち（CCRC）」を取り巻く環境

## (1) 大分県の人口動態と将来推計

近年の大分県の人口は、1985年の約125万人をピークに減少傾向にある。2015年国勢調査では約116.6万人と過去5年間で約3.0万人減少している。今後はさらに減少が続き、2040年には約95.5万人と推計されるとともに、高齢者人口の増加により、高齢化率が26.4%から36.6%に上昇することが見込まれている。

人口減少の要因には、出生数を死亡数が上回って推移する自然減と社会移動の転出数が転入数を上回る社会減がある。そのうち社会移動の動向をみると、進学時あるいは就職時の若年層の転出者数が著しい一方で、50歳前後の中高年齢層では近年、転入超過の現象が起きている。団塊世代の定年退職後の動向によるところも大きい。大分県人口ビジョン・総合戦略では、この転入超過の動向に注目し、若者や子育て世代、中高年齢者の3つの世代に応じたUIJターンの促進策を掲げている。



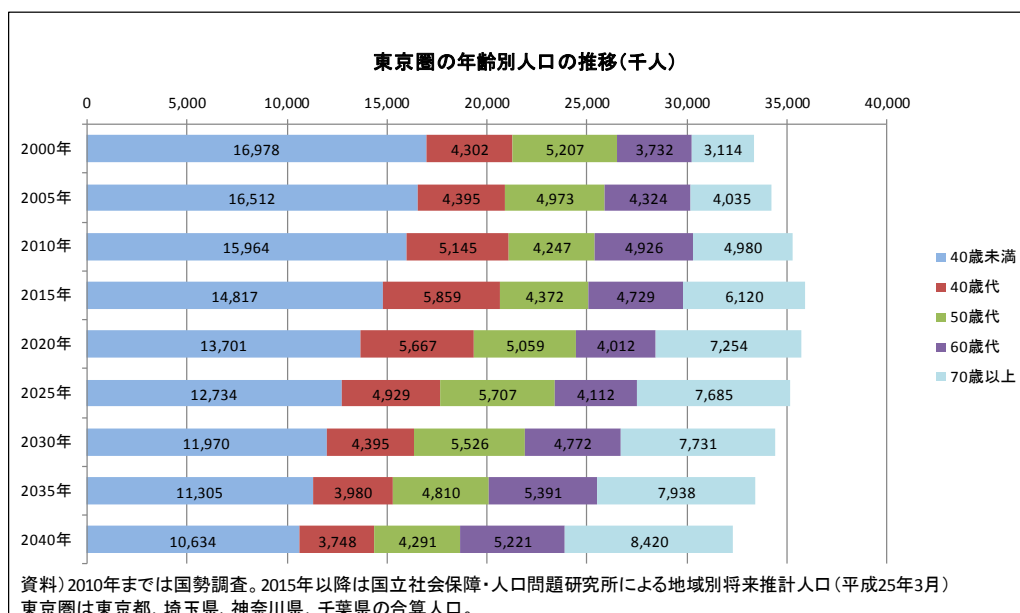
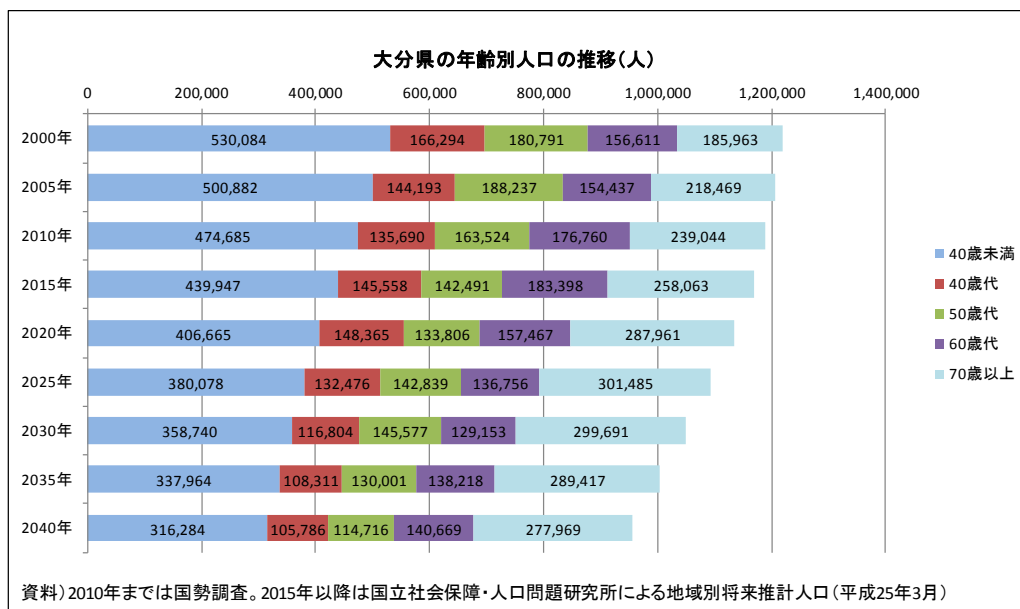
資料) 地域経済分析システム (RESAS) より

## (2) アクティブシニアの人口動態

大分県と東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の今後の年齢別人口動向をみてる。総人口は、大分県は以前から減少傾向に入っているが、東京圏では2020年からようやく減少に転じる。生涯活躍のまち（CCRC）を推進する上でターゲットの中心となる50～60歳代のアクティブシニアについては、大分県では2020年には2015年対比で約7%減少、2025年には2020年対比で約9%減少するなど、今後加速的に減少することが見込まれている。

一方、東京圏の50歳以上人口は、2015年の約1,500万人が2030年以降は1,800万人台に増加すると見込まれている。

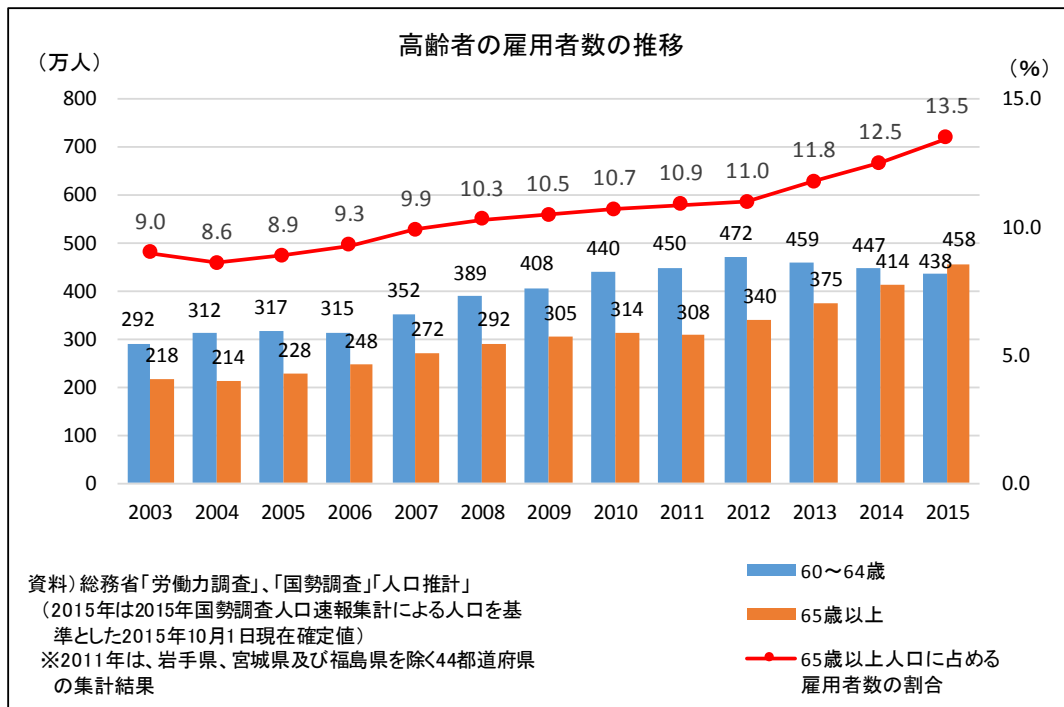
大分県では70歳以上は2030年には減少に転じるが、東京圏では今後大幅な増加が見込まれており、介護の需要・供給バランスが大きな課題となることが想定される。



### (3) 高齢者の就業

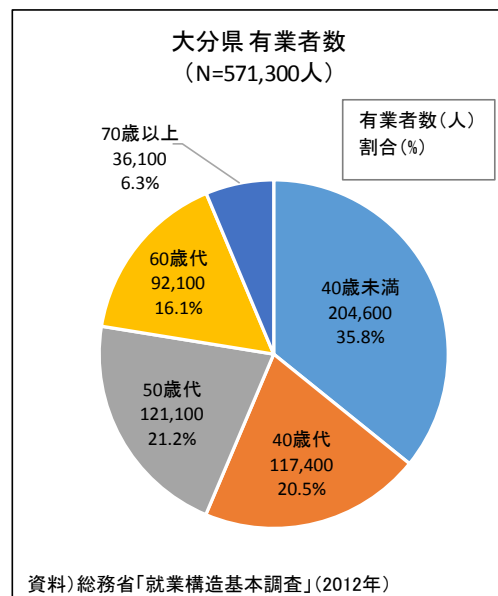
#### ① 高齢者の就業状況

全国における高齢者の雇用者数の推移をみると、2015年時点で60～64歳の高齢者は438万人、65歳以上の雇用者は458万人となっており、65歳以上が60～64歳を初めて上回った。また、65歳以上人口に占める雇用者数の割合は近年上昇傾向にあり、2015年では13.5%となっている。

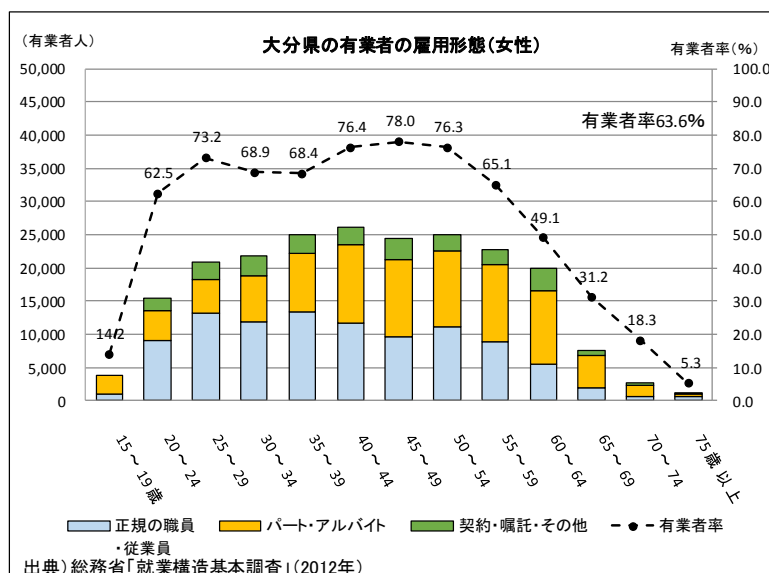
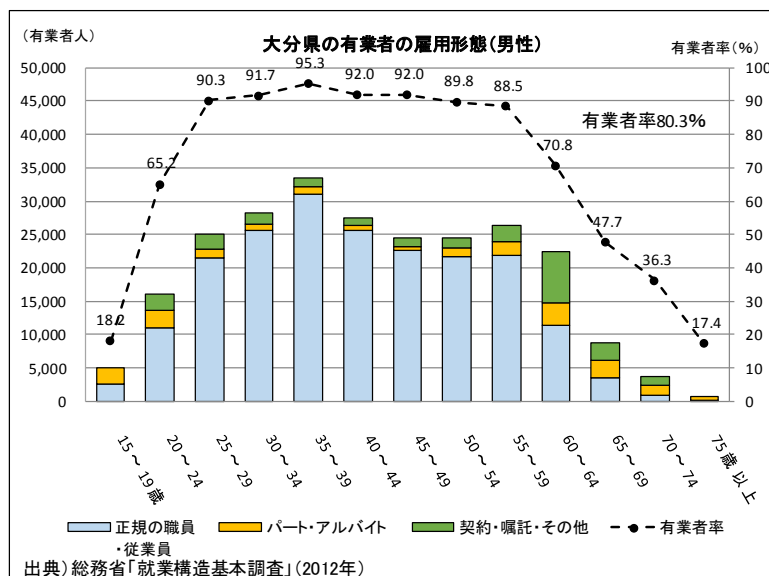


大分県の有業者数をみると、約57.1万人(2012年)のうち60歳代は約9.2万人、70歳以上は約3.6万人となっている。60歳以上は全有業者数の2割以上を占める。

大分県においても高齢者の有業率は上昇している一方で、雇用形態は男性の場合、パート・アルバイト・契約・嘱託・その他(以下、非正規職員等という)の比率は、55～59歳で17.2%であるが、60～64歳で49.5%、65～69歳で61.3%と、60歳を境に大幅に上昇している。一方、女性の場合、同比率は55～59歳で60.5%、60～64歳で72.6%、65～69歳で72.7%となっており、男性と比較して上昇幅は小さいものの、やはり60歳を境に非正規職員等の比率が上昇している。







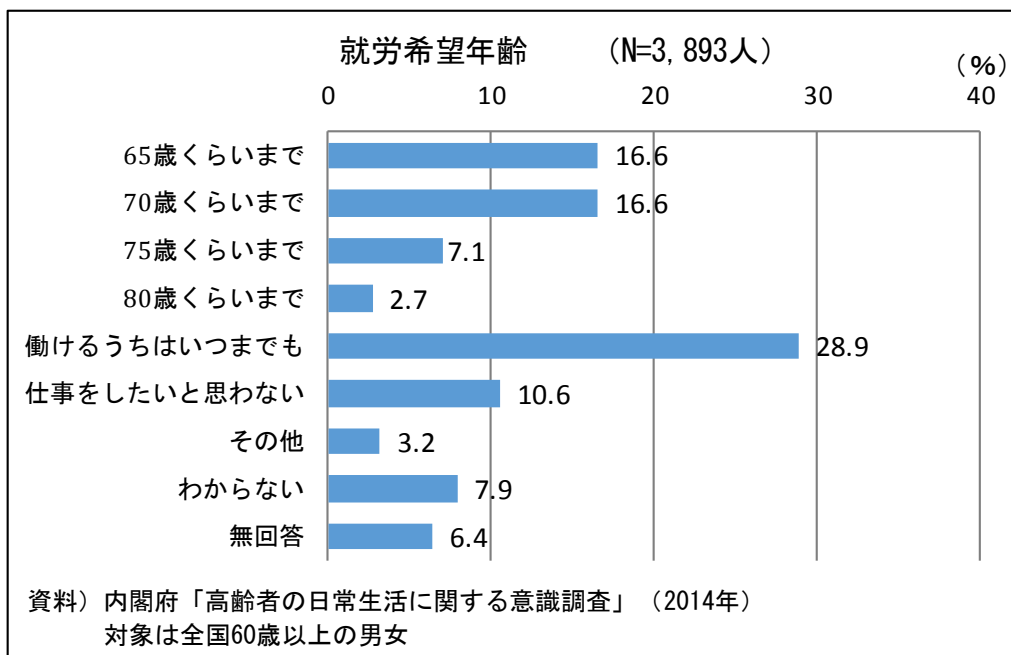
大分県の有業者の雇用形態

	年齢階級	雇用者数計	正規の職員・従業員		パート・アルバイト		契約・嘱託・その他	
			雇用者数計	構成比	雇用者数計	構成比	雇用者数計	構成比
男性	15～19歳	5,000	2,500	50.0%	2,500	50.0%	0	0.0%
	20～24	16,100	11,000	68.3%	2,700	16.8%	2,400	14.9%
	25～29	25,100	21,500	85.7%	1,200	4.8%	2,300	9.2%
	30～34	28,300	25,600	90.5%	1,000	3.5%	1,700	6.0%
	35～39	33,500	31,000	92.5%	1,200	3.6%	1,300	3.9%
	40～44	27,400	25,600	93.4%	700	2.6%	1,100	4.0%
	45～49	24,500	22,600	92.2%	600	2.4%	1,300	5.3%
	50～54	24,200	21,700	89.7%	1,200	5.0%	1,500	6.2%
	55～59	26,200	21,800	83.2%	2,100	8.0%	2,400	9.2%
	60～64	22,400	11,300	50.4%	3,500	15.6%	7,600	33.9%
	65～69	8,800	3,400	38.6%	2,800	31.8%	2,600	29.5%
70～74	3,500	800	22.9%	1,500	42.9%	1,200	34.3%	
75歳以上	1,100	200	18.2%	400	36.4%	0	45.5%	
女性	15～19歳	3,900	1,100	28.2%	2,800	71.8%	0	0.0%
	20～24	15,400	9,100	59.1%	4,500	29.2%	1,800	11.7%
	25～29	20,800	13,300	63.9%	5,000	24.0%	2,500	12.0%
	30～34	21,800	11,900	54.6%	6,900	31.7%	3,000	13.8%
	35～39	25,000	13,400	53.6%	8,800	35.2%	2,800	11.2%
	40～44	26,200	11,700	44.7%	11,800	45.0%	2,600	9.9%
	45～49	24,400	9,700	39.8%	11,600	47.5%	3,100	12.7%
	50～54	25,000	11,200	44.8%	11,400	45.6%	2,400	9.6%
	55～59	22,800	8,900	39.0%	11,700	51.3%	2,100	9.2%
	60～64	19,700	5,600	28.4%	11,000	55.8%	3,300	16.8%
	65～69	7,700	2,000	26.0%	4,800	62.3%	800	10.4%
	70～74	2,800	600	21.4%	1,800	64.3%	400	14.3%
	75歳以上	1,200	700	58.3%	300	25.0%	200	16.7%

資料)総務省「就業構造基本調査」(2012年) ※小終点第二位を四捨五入しているため必ずしも合計は100%とならない場合もある。

## ②高齢者の就業意欲

2014年に内閣府が実施した「高齢者の日常生活に関する意識調査」から高齢者の就業意欲についてみると、就労希望年齢で最も多い回答は「働けるうちはいつまでも」の28.9%、次いで、「65歳くらいまで」「70歳くらいまで」がともに16.6%、「75歳くらいまで」が7.1%、「80歳くらいまで」が2.7%と続いている。これらの就労に意欲的な回答は7割を超える。高齢者の多くは、できるだけ長く働きたいという希望を持っていることがわかる。



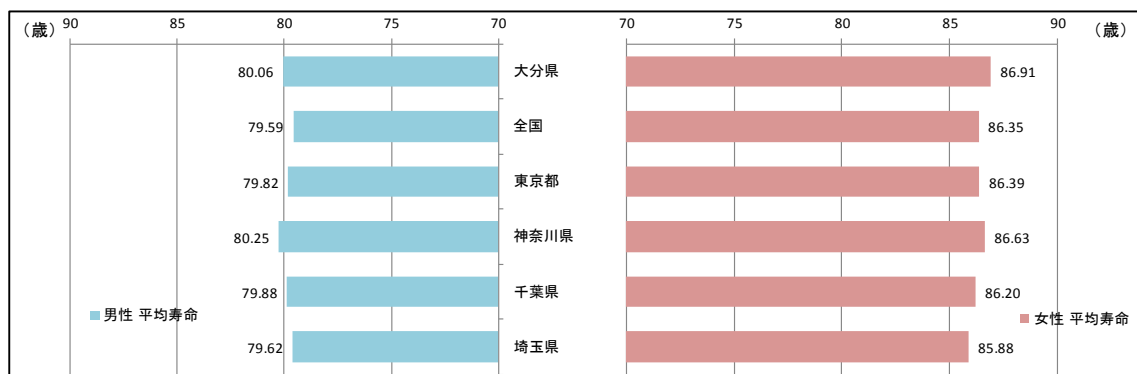
## (4) 寿命と介護需要に関する状況

### ①平均寿命と健康寿命

2010年時点の平均寿命をみると、大分県は男女とも全国を上回っている。特に女性は東京圏よりも平均寿命が長い。また、健康寿命についても男女とも全国を上回り、女性については東京圏も上回っている。

健康寿命については、医療・介護にかかる財政負担の増加にもつながるため、健康づくりに対する意識を高め、早期から体力づくり等に取り組むことが重要であり、現在県内市町村では積極的な対策が図られている。2013年と2010年の健康寿命を比較すると、大分県は全国や東京圏よりも伸びており、健康づくり活動等が県民に浸透してきているといえる。

平均寿命（2010年）



健康寿命の推移

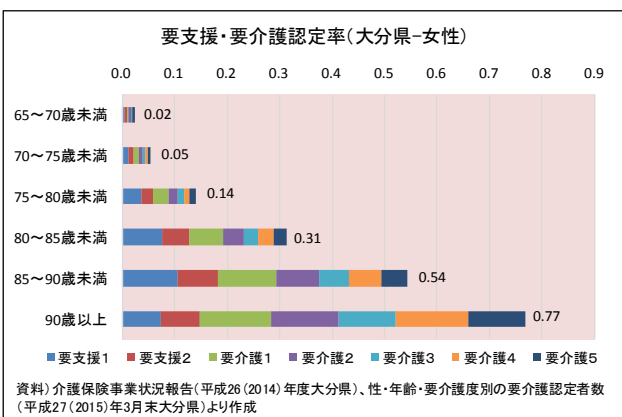
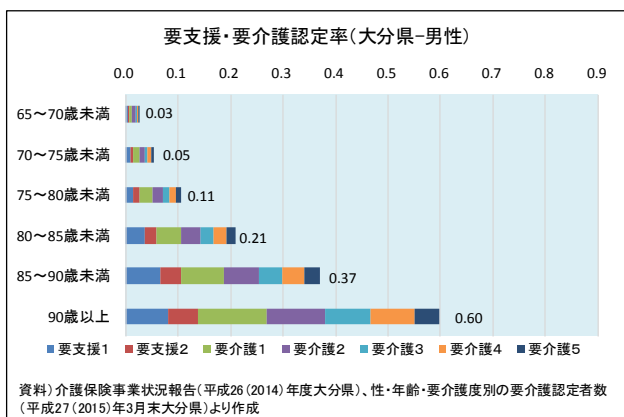
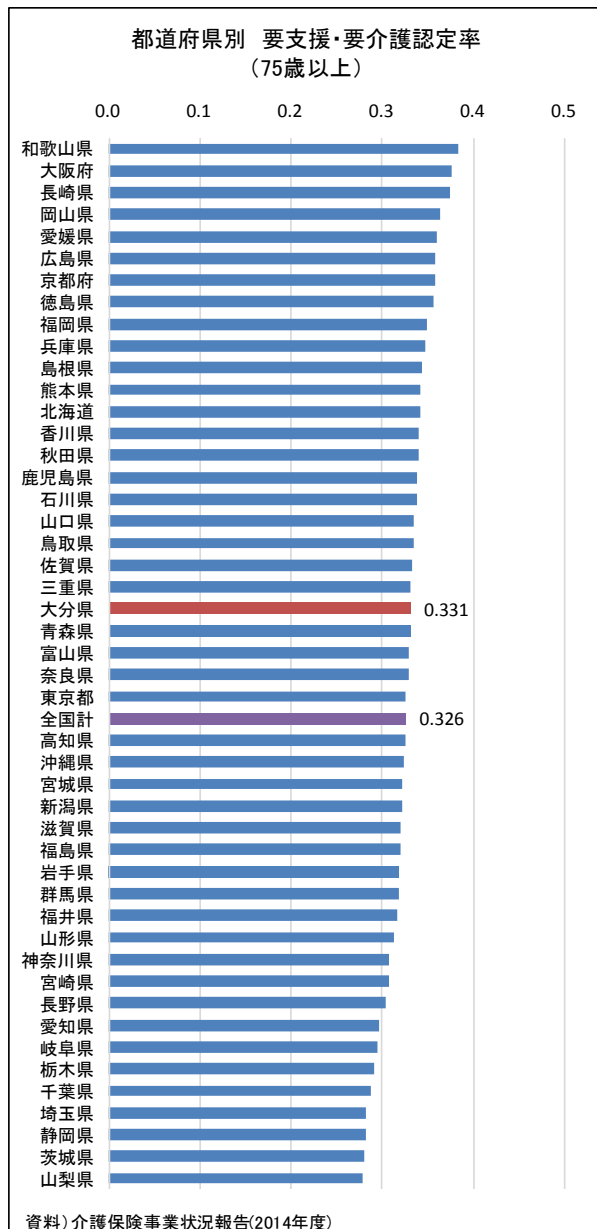
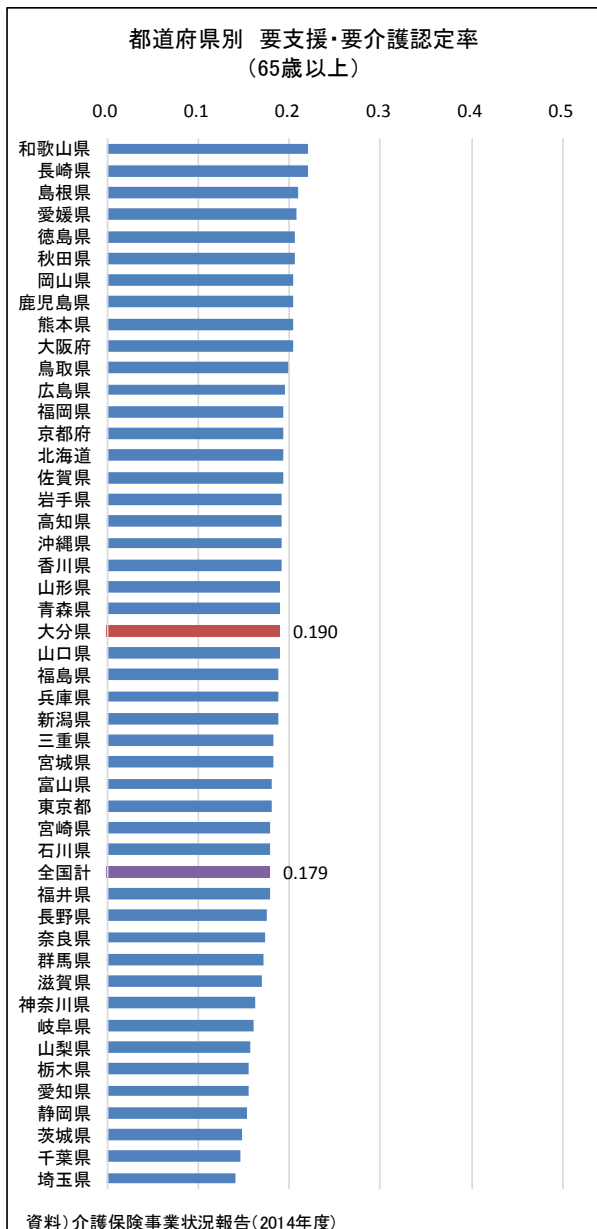
(単位：歳)

	男性			女性		
	2010年	2013年	2013年-2010年	2010年	2013年	2013年-2010年
大分県	69.85	71.56	1.71	73.19	75.01	1.82
全国	70.42	71.19	0.77	73.62	74.21	0.59
埼玉県	70.67	71.39	0.72	73.07	74.12	1.05
千葉県	71.62	71.80	0.18	73.53	74.59	1.06
東京都	69.99	70.76	0.77	72.88	73.59	0.71
神奈川県	70.90	71.57	0.67	74.36	74.75	0.39

資料) 健康寿命の算定結果(厚生労働省公表資料(2013年)) ※健康寿命は、「日常生活に制限のない期間の平均」平均寿命は、「都道府県別生命表(2010年)」(厚生労働省資料)

### ②要支援・要介護の状況

全国の要支援・要介護認定率をみると、65歳以上では要支援・要介護の認定率は2割前後であるが、75歳以上では3割を超える状況になっている。また大分県は、要支援・要介護の認定率が全国よりも高い水準にある。その一方で、神奈川県や千葉県、埼玉県の水準は低く、東京都も全国値に近い水準にある。

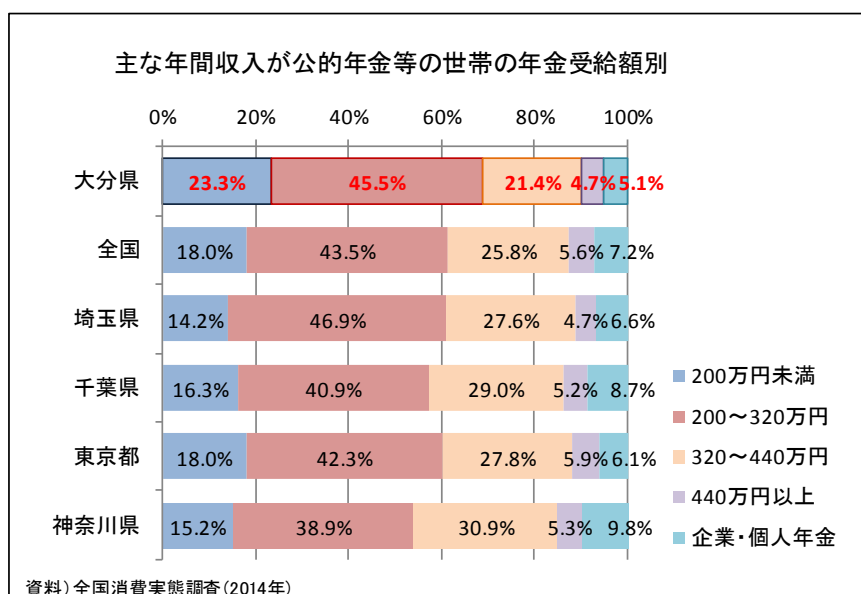
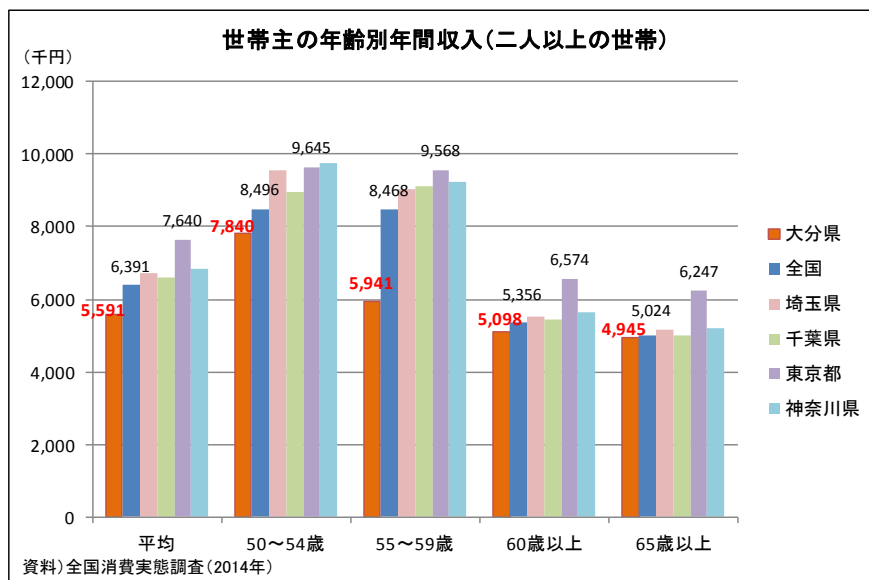


## (5) 収入・支出の状況

### ①中高年層の収入の状況

二人以上世帯の世帯主の年齢別年間収入をみると、総じて大分県の平均は低くなっている。二人以上世帯全体の平均では全国が年間約 639 万円に対して大分県は年間約 560 万円となっている。50 歳代以上の年齢階級別をみると、「55～59 歳」では最も差が大きく、全国が年間約 847 万円、東京都が約 957 万円、大分県約 594 万円で、大分県の年間収入は全国の約 7 割、東京都の約 6 割という状況である。しかし、定年退職後である 60 歳以降は全国との差は大幅に縮小されている。

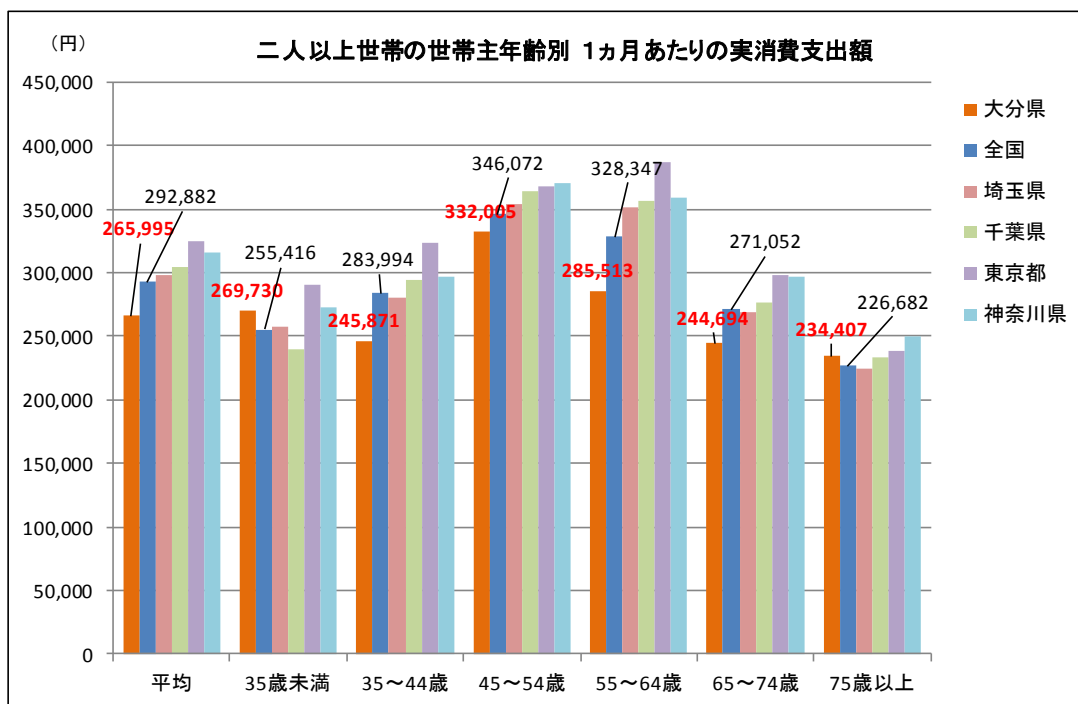
また主な収入が年金等の世帯の年金受給額を見ると、東京圏の都県は「200～320 万円」のゾーンが 4～5 割と最も多いが、「320～440 万円」のゾーンでも 3 割前後の世帯が占めている。大分県でも「200～320 万円」のゾーンが最も多いが、「320～440 万円」のゾーンが 2 割に留まり、代わりに「200 万円未満」の世帯が全国や東京圏と比べ多くを占めている。



## ②生活支出額の状況

二人以上世帯の世帯主年齢別の1ヶ月あたりにかかる実消費支出額をみると、大分県の平均消費支出額は月26.6万円であり全国平均の月29.3万円と比べると3万円程度少なくなっている。中高年齢層である「55～64歳」で、大分県と全国平均や東京圏との差が最も大きくなり、大分県は東京都と比較すると約10万円、「65～75歳」でも約5万円と消費支出額が少なくなっている。「75歳以上」になると大分県は全国平均より消費支出額が上回り、東京圏と比較してみても消費支出額が均衡するが、これは、大分県の交通・通信費、その他の消費支出の増大が影響しているためである。

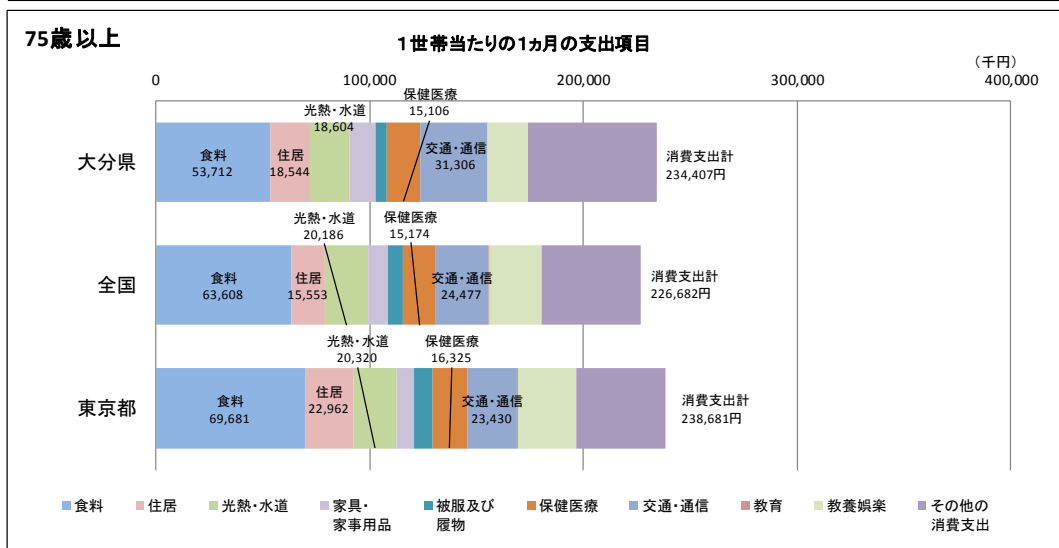
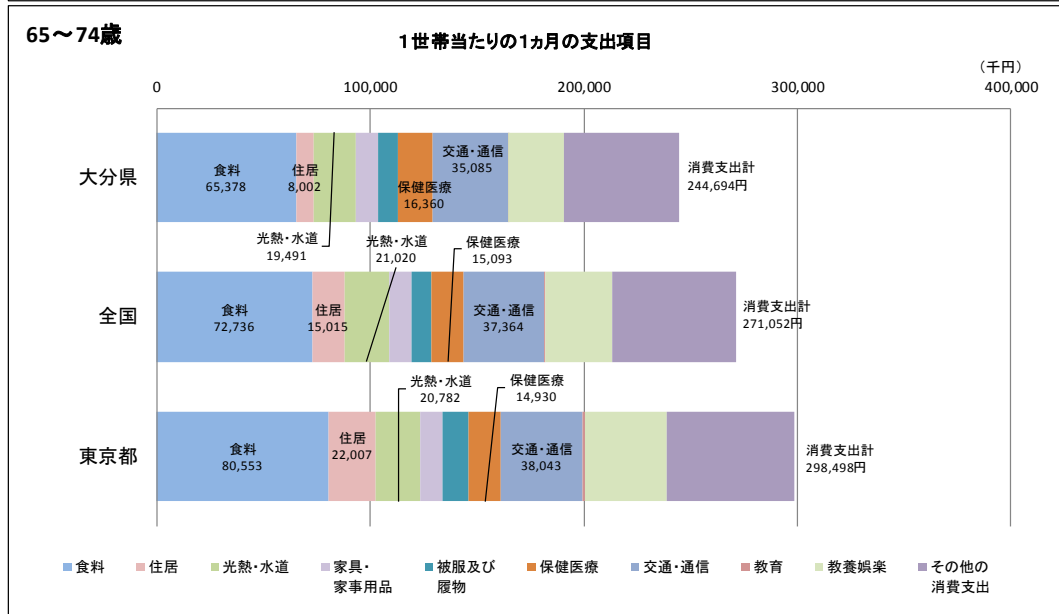
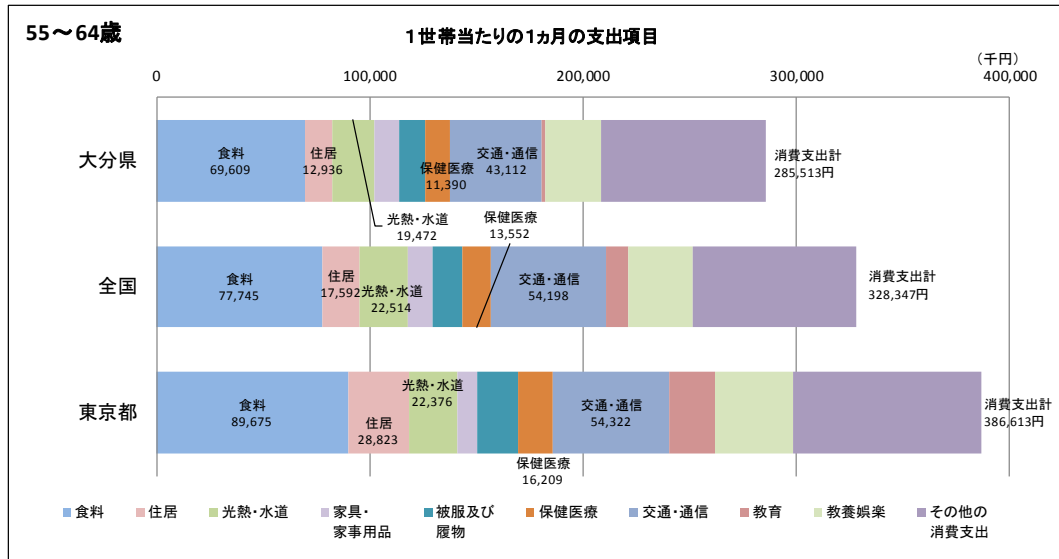
さらに消費支出額の内訳をみると、大分県は全国平均や東京都と比べ、「食料」「光熱・水道」「被服及び履物」等の費目が全ての年齢階級において消費支出額が少ないことがわかる。これらのことから、大分県は東京圏に比べ生活支出額を抑えて生活ができる環境だということがわかる。



(単位:円)

	平均	35歳未満	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
大分県	265,995	269,730	245,871	332,005	285,513	244,694	234,407
全国	292,882	255,416	283,994	346,072	328,347	271,052	226,682
埼玉県	298,140	257,821	280,201	354,807	352,104	269,211	225,194
千葉県	304,859	239,333	294,168	364,823	357,116	276,084	233,799
東京都	324,409	290,222	323,739	368,647	386,613	298,496	238,681
神奈川県	316,143	272,733	297,336	370,480	359,447	297,449	249,665

資料) 全国消費実態調査 (2014年)



資料) 全国消費実態調査 (2014年) (家計支出に関する結果 二人以上の世帯)

1世帯あたりの1ヶ月の支出項目

(単位:円)

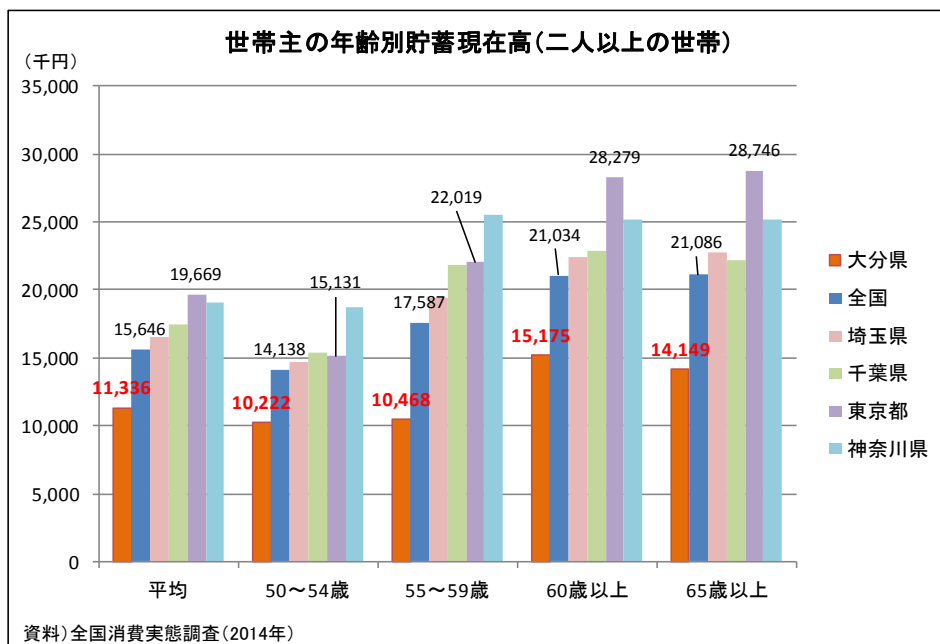
		食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出	消費支出計
平均	全国	72,280	17,660	20,967	10,136	11,864	12,907	45,136	13,387	29,196	59,350	292,882
	埼玉県	74,515	17,261	20,339	9,729	12,147	13,356	45,395	17,525	31,393	56,478	298,138
	千葉県	75,420	18,064	20,347	10,428	12,884	13,914	45,381	16,518	33,034	58,870	304,860
	東京都	81,418	28,610	20,562	9,802	15,202	14,414	40,859	18,962	35,476	59,106	324,411
	神奈川県	78,362	20,209	20,583	10,879	13,625	14,213	46,982	16,373	35,845	59,070	316,141
	大分県	62,654	15,651	18,635	10,434	9,985	12,877	43,611	4,876	23,185	64,087	265,995
55～64歳	全国	77,745	17,592	22,514	11,665	13,726	13,552	54,198	10,191	30,505	76,660	328,347
	東京都	89,675	28,823	22,376	9,621	19,299	16,209	54,322	21,748	36,577	87,963	386,613
	大分県	69,609	12,936	19,472	11,576	12,435	11,390	43,112	1,751	26,056	77,174	285,511
65～74歳	全国	72,736	15,015	21,020	10,496	9,414	15,093	37,364	967	30,941	58,006	271,052
	東京都	80,553	22,007	20,782	10,582	12,255	14,930	38,043	1,454	38,001	59,891	298,498
	大分県	65,378	8,002	19,491	10,998	9,000	16,360	35,085	121	26,203	54,056	244,694
75歳以上	全国	63,608	15,553	20,186	9,081	7,282	15,174	24,477	820	24,248	46,252	226,682
	東京都	69,681	22,962	20,320	8,048	8,234	16,325	23,430	238	27,441	42,002	238,681
	大分県	53,712	18,544	18,604	11,683	5,755	15,106	31,306	43	19,236	60,418	234,407

資料)全国消費実態調査(2014年)(家計支出に関する結果 二人以上の世帯)

③資産状況

■貯蓄額

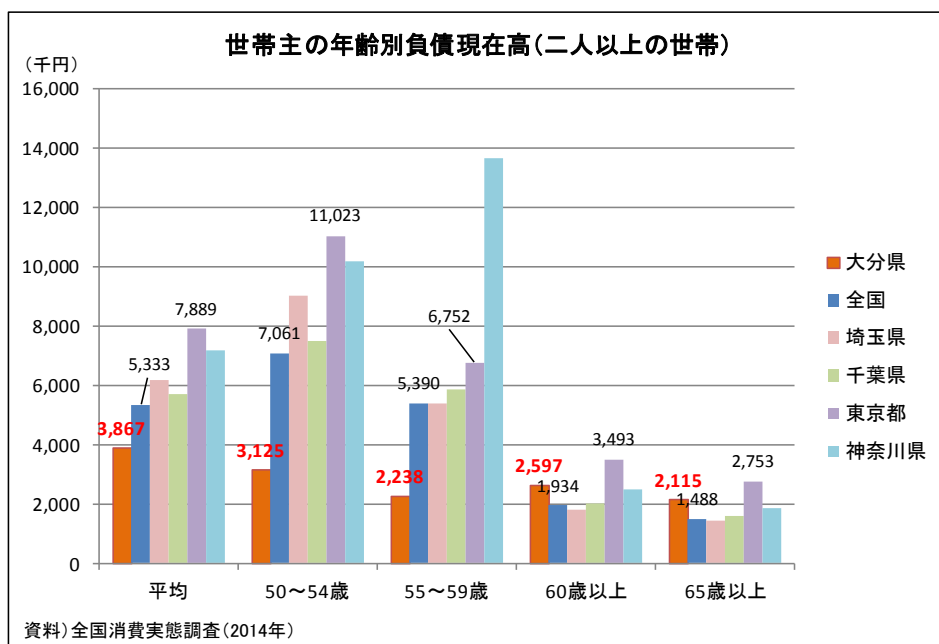
中高年者(二人以上の世帯の世帯主)の資産のうち貯蓄額をみると、大分県は総じて貯蓄現在高は低い水準にある。大分県の二人以上世帯の貯蓄現在高の平均は約11,336千円となっているが、全国は大分県よりも約430万円高く15,646千円、東京圏はさらに高い水準となっている。大分県と全国の差は「55～59歳」のゾーンで約710万円と最大になっている。





## ■ 負債額

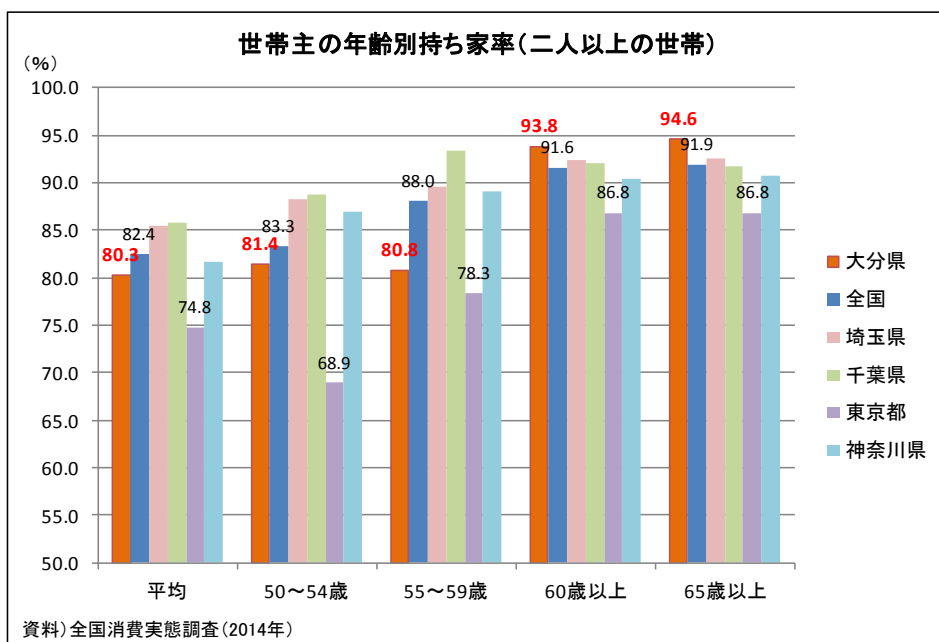
負債現在高については、貯蓄額同様に大分県は総じて低い水準である。しかし、60歳以上では全国の水準より約66万円高くなり、65歳以上でも約63万円高くなる。60歳以上では、東京圏の埼玉県、千葉県、神奈川県よりも高い水準となる。要因としては、退職金額の水準が東京圏よりも低いことや教育資金（東京圏への送り等）の発生が考えられる。



## ■ 持ち家率

大分県の持ち家率をみると、50歳代（二人以上世帯）では持ち家率は全国を下回るが、60歳以上は全国や東京圏を上回っている。

また東京都の持ち家率は全国平均を大幅に下回っているが、埼玉県、千葉県、神奈川県の周辺県では全国平均より持ち家率が高くなっている。

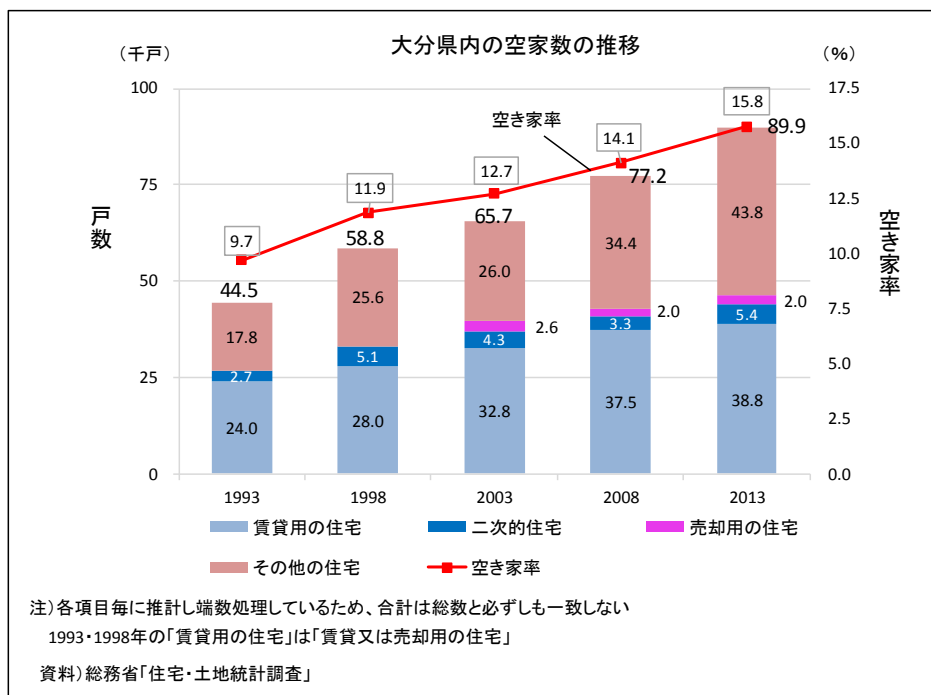


## (6) 県内の空き家状況

大分県内の「空き家」数は、全国と同様、増加傾向にある。1993年には44,500戸であった「空き家」は、2013年には89,900戸まで増加した。同様に、「その他の住宅（※注）」も1993年の17,800戸から2013年には2.5倍の43,800戸と増加し、「空き家」全体の半数弱を占めている。

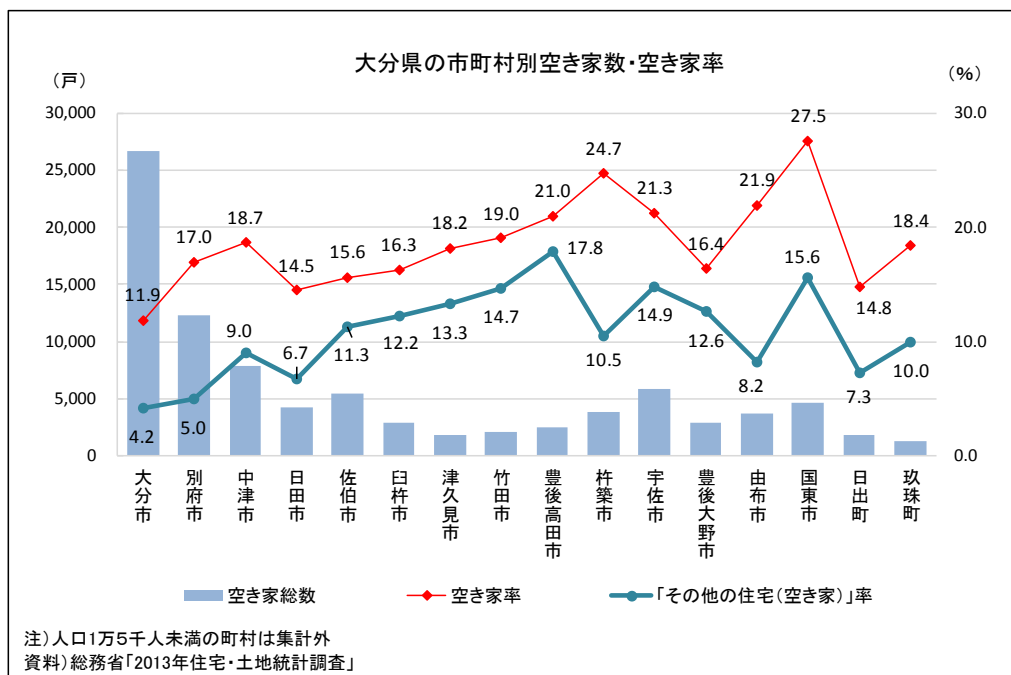
2013年時点の「その他の住宅」率を県内市町村（町村は人口1万5千人以上のみ）別にみると、豊後高田市が17.8%と最も高く、国東市（15.6%）や宇佐市（14.9%）、竹田市（14.7%）と続いている。大分市については、「その他の住宅」率は低いものの、総住宅数が多いため、「その他の住宅」の戸数は9,510戸と県内で最も多く、周辺環境への大きな影響が懸念される。

その他、国東市や杵築市では賃貸用の住宅の割合が高く、大手製造業の進出に伴い賃貸アパートやマンションが建設されたが、現状空き家が多くなっているため、空き家率は高い。また、由布市は温泉や観光地としての魅力が高く、別荘が開発・建設されていることから二次的住宅の割合が高い。



※注＜空き家の定義＞

二次的住宅	週末や休暇の際に利用される、普段は人の住んでいない別荘や、用務の都合などでたまたま寝泊りする住宅
賃貸用の住宅	借り手募集中の住宅
売却用の住宅	買い手募集中の住宅
その他の住宅	相続した遠方の実家や、単身世帯の居住者が入院し長期不在になっている家等、上記以外で人が住んでいない住宅



市町村別空き家数

(単位: 戸, %)

	住宅総数	空き家率	空き家				
			総数	二次的住宅	賃貸用の住宅	売却用の住宅	その他の住宅
<b>大分県</b>	<b>569,500</b>	<b>15.8%</b>	<b>89,900</b>	<b>5,400</b>	<b>38,800</b>	<b>2,000</b>	<b>43,800</b>
大分市	224,840	11.9%	26,720	590	15,730	900	9,510
別府市	72,140	17.0%	12,270	860	7,280	540	3,590
中津市	41,730	18.7%	7,800	420	3,560	80	3,750
日田市	29,270	14.5%	4,240	670	1,580	20	1,970
佐伯市	34,380	15.6%	5,380	120	1,280	90	3,890
臼杵市	17,410	16.3%	2,830	70	620	20	2,120
津久見市	9,610	18.2%	1,750	70	370	20	1,280
竹田市	11,290	19.0%	2,150	120	360	20	1,660
豊後高田市	11,660	21.0%	2,450	10	350	10	2,080
杵築市	15,430	24.7%	3,810	200	1,960	30	1,620
宇佐市	27,330	21.3%	5,820	200	1,440	120	4,060
豊後大野市	17,440	16.4%	2,860	60	580	20	2,200
由布市	16,780	21.9%	3,680	1,460	810	30	1,380
国東市	16,880	27.5%	4,650	100	1,890	20	2,640
日出町	12,080	14.8%	1,790	50	830	20	880
玖珠町	7,120	18.4%	1,310	420	180	-	710

資料)総務省「2013年住宅・土地統計調査」

注)四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。

## (7) 県内の高齢者の住まいの整備状況

ここで市町村別に高齢者の住まいに関する施設の整備状況を見る。「特別養護老人ホーム」、「養護老人ホーム」、「軽費老人ホーム」、「有料老人ホーム」、「サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）」、「認知症グループホーム」、「介護老人保健施設」を「高齢者の住まいに関する施設」として各市町村の定員数を整理し、各市町村75歳以上の人口1,000人あたりの施設定員数を算出した。

大分県内の高齢者の住まいに関する施設の整備状況を見ると、最も供給量の多いのは「有料老人ホーム」の9,933人、次いで「特別養護老人ホーム」の4,827人、「介護老人保健施設」の4,692人、「サ高住」2,010人となっている。また市町村別では、大分市の合計が8,177人と最も多く、県内の3割強を占めている。次いで、別府市が3,336人、佐伯市が2,054人、宇佐市が1,580人、中津市が1,571人となっている。

75歳以上人口1,000人あたりの定員数は、大分県平均で150.4人となっている。大分県平均より1,000人あたりの定員数が多い地域は、「由布市」190.9人、「別府市」が188.8人、「大分市」が178.1人、「日出町」166.8人、「九重町」164.3人、「宇佐市」154.6人、「佐伯市」151.4人である。

市町村別の高齢者向け住まい等の定員数

(単位：人)

	特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	有料老人ホーム	サ高住	認知症GH	介護老人保健施設	合計	75歳以上人口千人あたり
大分市	1,143	65	400	3,978	791	565	1,235	8,177	178.1
別府市	470	170	300	1,402	392	162	440	3,336	188.8
中津市	330	60	50	506	181	142	302	1,571	137.8
日田市	385	50	50	295	47	72	215	1,114	97.9
佐伯市	346	50	50	856	187	207	358	2,054	151.4
臼杵市	188	60	0	183	59	81	236	807	108.4
津久見市	120	50	0	177	25	54	100	526	145.3
竹田市	170	60	0	140	9	62	153	594	96.6
豊後高田市	130	50	0	179	0	18	179	556	115.2
杵築市	266	50	0	236	0	54	129	735	123.6
宇佐市	260	65	50	738	137	102	228	1,580	154.6
豊後大野市	250	120	0	440	0	123	338	1,271	142.0
由布市	303	80	100	327	0	72	200	1,082	190.9
国東市	234	100	0	18	115	54	192	713	102.5
姫島村	0	0	0	0	0	18	0	18	38.9
日出町	76	0	0	279	18	36	191	600	166.8
九重町	50	60	0	129	0	18	114	371	164.3
玖珠町	106	0	0	50	49	27	82	314	106.2
大分県計	4,827	1,090	1,000	9,933	2,010	1,867	4,692	25,419	150.4

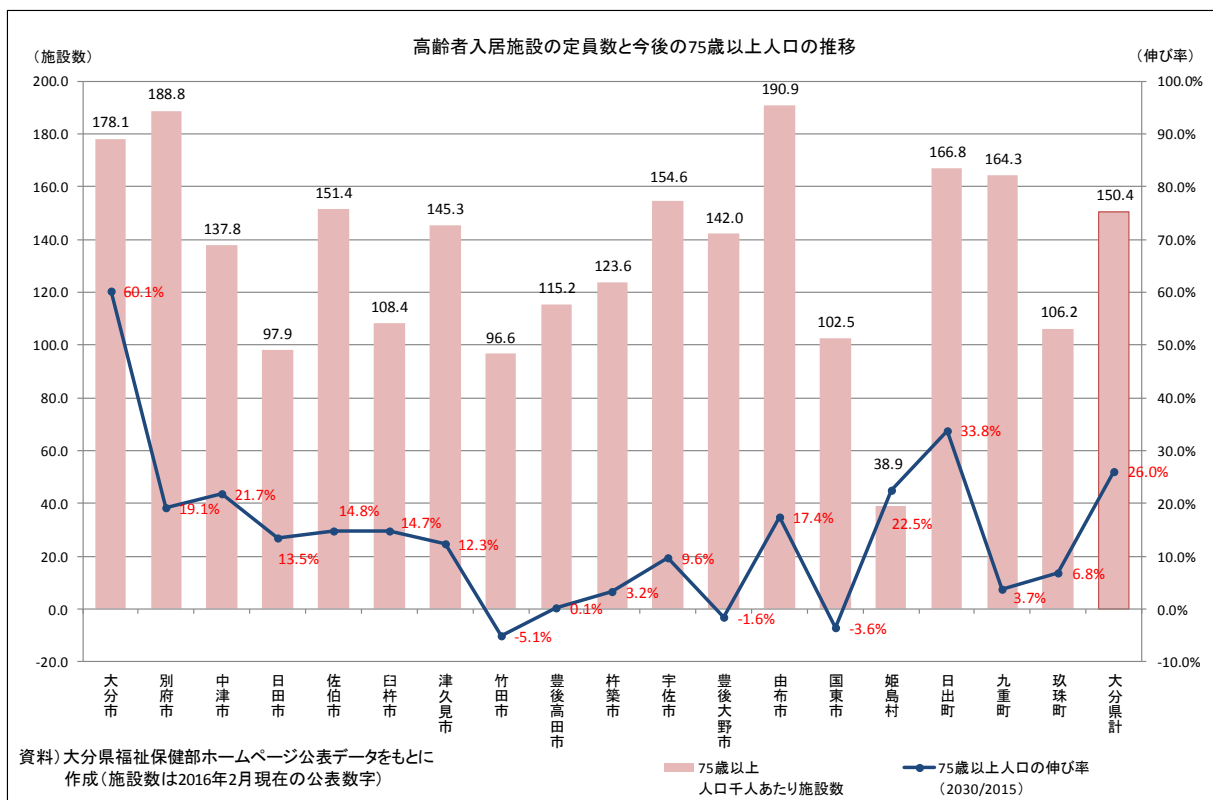
資料) 大分県福祉保健部ホームページ、(公社)大分県老人保健施設協会をもとに作成(施設数は2016年4月現在の公表数字)

※「介護老人保健施設」は長期入所型もあるため表に加えている。

75歳以上人口（国立社会保障・人口問題研究所による将来推計）についてみると、人口の伸びが停滞していく地域も見られる。75歳以上人口の2015年対比で2030年を見ると、竹田市、豊後大野市、国東市で減少が見込まれる。他にも、豊後高田市は横ばい、杵築市、九重町、玖珠町では伸び率はわずかとなっている。高齢化率が上昇する中、人口減少社会に入り高齢者人口も次第に減少に転じる。少子高齢化、過疎化が先行的に進んでいた中山間地域では、高齢者人口が減少に転じる時期が早い。

現状の高齢者の住まいに関する施設の供給と人口の伸びの見込みを以下の図に示す。大分市は、75歳以上人口1,000人あたりの供給量の水準は県内で3番目に高く、75歳以上人口は今後大幅に増加することが見込まれている。一方、県内で供給量の水準が最も高い由布市、次いで別府市、九重町については、75歳以上人口の伸びが今後緩やかになることから、入居者の確保など施設間競争が激しくなると考えられる。

県内のほとんどの市町村では将来的に高齢者人口も減少すると予測されており、高齢者の住まいの整備については、周辺地域の人口動向等も踏まえ、慎重に検討していく必要があると思われる。



## (8) 「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想の動向

資料)「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（平成 27（2015）年 2 月）、

「生涯活躍のまち」構想最終報告（平成 27（2015）年 12 月）等より抜粋

### ①構想の趣旨

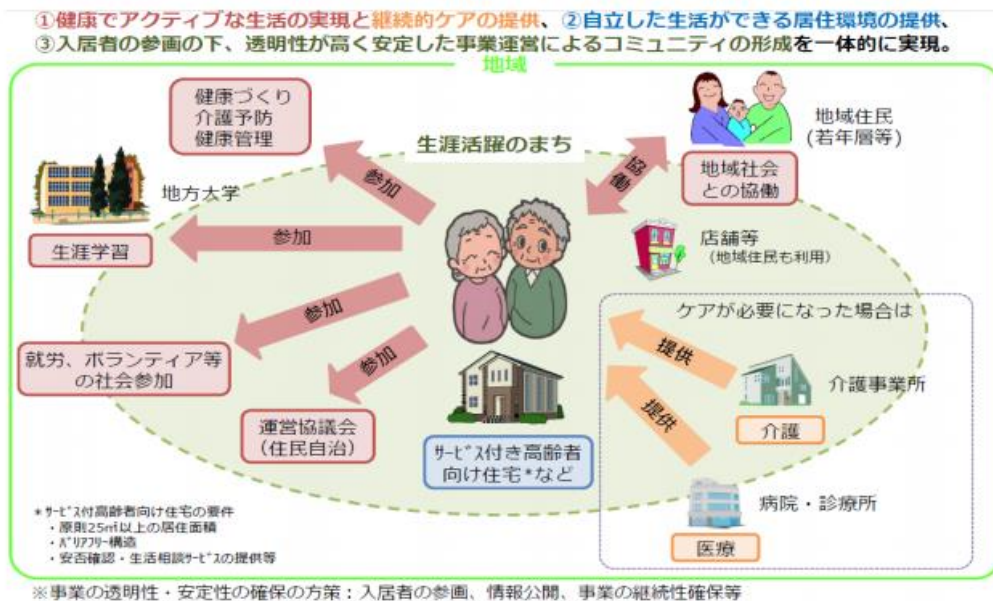
東京圏へ人口が集中する一方で、地方の人口減少が加速的に進む中、地方への新しいひとの流れをつくるという観点から「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想が政府から打ち出された。

「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」とは、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものと定義されている。

一方、地方創生の観点からは、元気なシニアが希望に応じて地方に移住し、そこで役割や生きがいを持って、できる限り長く活躍できるコミュニティが実現できれば、地方における人口減少問題の改善、地域の消費需要の喚起、雇用の維持・創出、多世代との協働を通じた地域の活性化などの効果が期待できる。

構想では、地方自治体に対し、地域の特性や強みを活かして具体的な構想を検討し、事業主体や地域関係者と連携して、構想の実現を推進していくこと、また、多様な主体が特性や実績を活かし、地域において創意あふれる取り組みを行うことができるよう、事業主体等に対する多様な支援を実施するなど、民間の活力を引き出す後押しの役割を発揮することを期待している。

図：「生涯活躍のまち」イメージ



資料)「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部）



## ②構想の基本コンセプト

「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想は、単に高齢者のための福祉施設を整備するという発想ではなく、高齢者が主体となって、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送ることができるコミュニティづくり・まちづくりを行うものである。

この構想が従来の高齢者施設等の利用イメージと異なる点として、①高齢者は健康な段階から入居し、できる限り健康長寿を目指していくこと、②高齢者は介護サービス等の受け手としてではなく、地域の仕事や生涯学習などの社会活動に積極的に参加する「主体的な存在」であること、③高齢者が地域に溶け込み、地元住民や子ども・若者などの多世代と交流・協働する「オープン型」の居住を目指すこと、等があげられている。

上記のような理念を踏まえ、国の「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想は、①東京圏をはじめ地域の高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」などへの移住の支援、②「健康でアクティブな生活」の実現、③地域社会（多世代）との協働、④「継続的なケア」の確保、⑤IT活用などによる効率的なサービス提供、⑥入居者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営、⑦構想の実現に向けた多様な支援、の7つを基本コンセプトとしている。

図：従来の高齢者施設等との基本的な違い

従来の高齢者施設等		「生涯活躍のまち」構想
主として要介護状態になってから選択	居住の契機	健康時から選択
高齢者はサービスの受け手	高齢者の生活	仕事・社会活動・生涯学習などに積極的に参加（支え手としての役割）
住宅内で完結し、地域との交流が少ない	地域との関係	地域に溶け込んで、多世代と共働

図：「生涯活躍のまち」構想の基本コンセプト

構想が目指す基本方向
<b>①東京圏をはじめ地域の中高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」などへの移住支援</b> ・移住希望者に対してきめ細かな支援を行う。東京圏等から地方へといった広域的な移動を伴う移住のみならず、「まちなか」への転居など地域内での移動を伴う取組も想定
<b>②健康でアクティブな生活の実現</b> ・健康な段階からの入居を基本とし、目標志向型の「生涯活躍プラン」に基づき、健康づくりや就業、社会的活動、生涯学習に主体的に参加することを目指す
<b>③地域社会（多世代）との協働促進</b> ・入居者が地域社会に積極的に溶け込み、子どもや若者など多世代との協働や地域貢献できる環境を実現する。ソフト面全般にわたる「運営推進機能」の整備や、地域包括ケアシステム関連施策との連携も重要
<b>④「継続的なケア」の確保</b> ・医療・介護が必要となった時に、人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる「継続的なケア」の体制を確保。重度の要介護状態になっても地域に居住しつつ介護サービスを受けることを基本とする
<b>⑤IT活用などによる効率的なサービス提供</b> ・医療・介護人材の不足に対応し、ITや多様な人材の活用、中高年齢者などの積極的な参加により効率的なサービス提供を行う
<b>⑥入居者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営</b> ・入居者自身がコミュニティの運営に参画するという視点を重視
<b>⑦構想の実現に向けた多様な支援</b> ・情報支援、人的支援、政策支援により構想の具体化を後押し

資料）「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部）





## 2. 先進地事例調査

「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想で示されている基本コンセプトの要素を持ち、各地方自治体で「生涯活躍のまち（CCRC）」の形成を検討する際に参考事例として取り上げられている以下の5つの施設について整理した。

ここで取り上げる先進事例は、

- ①アクティブシニアが趣味や交流活動を行えるソフトやハードがある
- ②働く場、ボランティア活動の機会が用意されている
- ③周辺地域の住民への施設開放、交流の場がある
- ④敷地内（同一建物）に介護事業所や診療所を設置、もしくは近隣の介護事業所や医療機関と連携した医療・福祉環境を準備している

という、おおよそ4つの要素を満たしているものであり、大分県において地域特性を活かした「生涯活躍のまち（CCRC）」の形成を検討する上では、これらの要素を含む機能の導入を前提に考える必要がある。

事例	提供形態	規模	立地
(1) ゆいまーる那須	サービス付き 高齢者向け住宅	70戸	中山間地
(2) シェア金沢	サービス付き 高齢者向け住宅	32戸	郊外
(3) オークフィールド八幡平	サービス付き 高齢者向け住宅	32戸	中山間地
(4) スマートコミュニティ稲毛	分譲マンション	1000戸	郊外
(5) 岐阜シティー・タワー43 ラッシュールメゾン岐阜	サービス付き 高齢者向け住宅	108戸	まちなか

※規模は高齢者の住まいの居室数

(1) ゆいまーる那須

所在地	栃木県那須郡那須町	
事業主体	株式会社 コミュニティネット	
開設時期	2012年1月開設（2008年2月に「那須での暮らしを考える会」がスタートし、入居希望者が施設計画や運営に参加。）	
規模	敷地面積：約 1.0ha      5棟	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス付き高齢者住宅 A棟～E棟 計70戸 (1R：33.12㎡～2LDK：66.25㎡)</li> <li>・ 食堂棟</li> <li>・ 介護棟「あい・デイサービスセンター那須」</li> <li>・ 共用棟（図書室、音楽室、自由室等）3棟</li> </ul>	
費用面	一括前払金 (家賃相当)	1,175万円～2,489万円 (33.12㎡～66.25㎡) ※希望者には月々払い可 59,000円～139,000円
	施設利用に係る費用	共益費：8,000円/月 サポート費：30,850円/月 (2人の場合 50,400円) 食費別途 (朝・夕を30日食堂利用の場合)：40,000円 合計 78,850円/月 (2人の場合 138,400円)
入居者の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別荘シェアの「ゆいまーる那須倶楽部」の居室も有り。</li> </ul>	



写真) Google マップ



写真) ゆいまーる HP より抜粋

### 事業の経緯・施設内容等

- 建設前から、入居希望者を募り老後の暮らしを考えるセミナーや現地見学会を開催。「ゆいまーる那須友の会」を2009年9月に設立し、施設計画や施設内の食事、運営など参加者と検討を重ねる。

### アクティビティ

- 敷地内の共用棟や食堂では、図書室・音楽室・自由室といった共用スペースがあり、書道、体操、ピアノ教室、コンサート、映画会、講演会、絵手紙自遊人クラブ、ガーデニング、料理教室など多彩な文化活動が行なわれている。
- 入居者と地域の人に参加できる「ワーカーズコレクティブ（参加者一人ひとりが出資し、参加者で事業の進め方や意見を出し合い全員で決めていく組織）」を設立している。生活に密着した仕事の創出や地域活性化につながることなど現役の職業や経験を活かし、高齢者が働きながら暮らすことができる。
- 食堂の料理人も施設に入居するなど、調理も食事と一緒に楽しめる食堂空間がある。

### 生活、介護・医療サービス

- 敷地内にデイサービスを併設。
- 近隣の在宅医療専門クリニックと連携（在宅ケア、看取りまで対応）。

### 周辺地域との関わり

- ゆいまーる那須の住まいと近隣の商業施設やクリニック、図書館や温泉などを周遊する送迎車「ゆいまーる号」を運行。
- 「ゆいまーる食堂」は、地域に開放。
- 居住者と地域の人が出資する「ワーカーズコレクティブ“まーる”」では、手仕事品の販売やお菓子、保存食作り、昼食の手打ちそば提供を行う。またお弁当の地域配食サービスも検討中。



写真) ゆいまーる HP より抜粋

## (2) シェア金沢

所在地	石川県金沢市若松町
事業主体	社会福祉法人 佛子園
開設時期	2014年3月
規模	敷地面積：3.6ha 25棟
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者向け住宅 32戸 (42.08㎡～43.74㎡ 1LDK)</li> <li>・児童入所施設 定員30名 ・児童発達支援センター</li> <li>・学生向け住宅 6戸、アトリエ付き学生向け住宅2戸</li> <li>・産前産後ケア施設</li> <li>・天然温泉、全天候型グラウンド、菜園</li> <li>・テナント(店舗・事務所)等</li> </ul>
費用面	施設利用に係る費用 入居時：敷金(家賃の2か月分) 入居費用：家賃85,000円～95,000円 共益費20,000円(2人入居は25,000円) 状況把握・生活相談15,000円(2人入居は30,000円) 合計約120,000円/月(2人の場合約140,000円) ※食事は別途(朝500円・夕800円)
施設利用に係る費用	
入居者の状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居資格：①単身高齢者世帯、②高齢者(60歳以上、または要介護認定者、要支援認定者)+同居人</li> </ul>

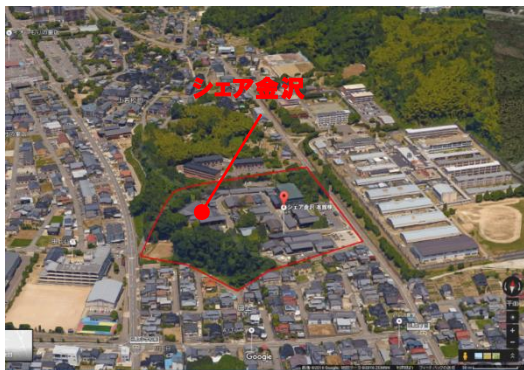


写真) Google マップ



写真) シェア金沢 HP より抜粋



### 事業の経緯・施設内容等

- 社会福祉法人佛子園が、あらゆる人が分け隔てなく触れ合う「私がつくる街」をコンセプトに病院跡地に計画し 2014 年に開設。
- 学生には月 30 時間以上のボランティア活動を入居条件としている。

### アクティビティ

- 子どもや大学生、高齢者まで世代や障がいの有無を超え、さまざまな人が共に暮らす。
- サ高住に入居する働きたい高齢者に対しては、天然温泉やレストランのスタッフ、ショップの陳列・販売などワークシェアの環境がある。
- 地域内外問わず、高齢者、子ども、学生のコミュニティが生まれている。

### 生活、介護・医療サービス

- 敷地内には高齢者デイサービス、生活介護、訪問介護事業所を設置。

### 周辺地域との関わり

- 計画段階から地元の自治会や住民を巻き込み、施設計画を考案。完成後は、地元の人など誰もが気軽に施設内の温泉やカフェやレストランなどの店舗、ギャラリーを利用して賑わっている。



### (3) オークフィールド八幡平

所在地	岩手県八幡平市松尾寄木	
事業主体	株式会社アーベイン・ケア・クリエイティブ (協力会社：社会福祉法人みちのく協会)	
開設時期	2015年12月	
規模	敷地面積：1.0ha 第1期 32戸	
施設概要	・サービス付き高齢者向け住宅 (1K 25.6㎡) 4戸はペット飼育可	
費用面	入居時	敷金 家賃の3ヶ月分 (58,000円×3ヶ月)
	施設利用に係る費用	家賃 58,000円/月 食費 (朝・夕食) 49,500円/月 管理費 53,000円/月 <u>合計 160,500円/月</u>
入居者の状況	・大都市に住む高齢者の地方移住を想定し、60歳以上の元気なシニアがターゲット。ただし、自立が条件ではない。	



写真) Google マップ

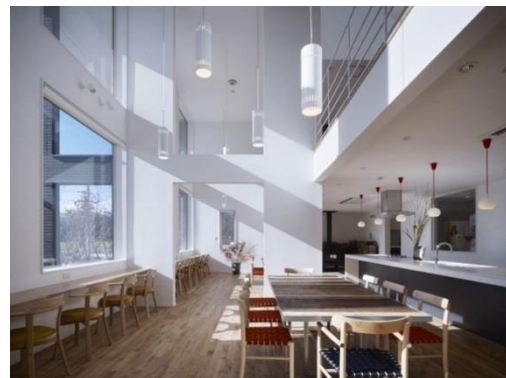


写真) オークフィールド八幡平 HP より抜粋

### 事業の経緯・施設内容等

- 事業主体の母体である「社会福祉法人みちのく協会」が、施設ではなく高齢者の住まいをつくり、介護の現場から一歩外に出た事業展開を図るために「株式会社アーベイン・ケア・クリエイティブ」を設立。
- 2015年12月にサービス付き高齢者向け住宅を開設。隣接地に母体の社会福祉法人の特別養護老人ホーム、近隣には東八幡平病院が立地し、元気なうちから終末期までを過ごせる環境が整っており、八幡平版 CCRC として官民連携した取り組みが進められている。

### アクティビティ

- アクティビティの要素に「農業」「芸術・文化」「生涯学習」「若者支援」を掲げており、地域を巻き込んだ活動を想定し計画。  
⇒現在進行中の計画（そこで暮らす高齢者の夢や希望を叶えるサポート）
  - ・地元農家から技術指導などの支援を受ける敷地内のシェア農園
  - ・芸術・文化面では周辺の空き別荘をアートでリノベーションし、高齢者が活躍できるカフェを開設
  - ・岩手県立大学と連携し、講義をスカイプ経由で受講できる環境を整備

### 生活、介護・医療サービス

- 母体組織による医療・介護の万全のサポート体制が特徴。医療サポートは、車で1分の距離にある協力機関の一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院を確保。
- 介護面では、特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人みちのく協会（デイサービス、訪問介護、居宅介護支援等の事業有り）と提携し安心のサポート体制がある。

### 周辺地域との関わり

- 地元大学、周辺農家、芸術文化に関する NPO 法人など、高齢者の生きがいを創造するために多様な団体や人々との連携を深めている。
- レストランを地域開放。

(4) スマートコミュニティ稲毛

所在地	千葉県千葉市稲毛区	
事業主体	株式会社 スマートコミュニティ	
開設時期	2010年4月	
規模	敷地面積：11.4ha マンション7棟	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートヴィレッジ稲毛 マンションA～G1棟約1,000戸 (1K：30㎡～2LDK：120㎡)</li> <li>・クラブハウス 延床面積34,421㎡ (レストラン、フィットネス、卓球場、カラオケルーム、麻雀場、クリニック、図書室、レンタルオフィス等)</li> <li>・グラウンド 敷地面積74,184㎡ (野球場2面、テニスコート6面、ゴルフ練習場、ジョギングコース等)</li> </ul>	
費用面	購入費用	1,390万円～7,490万円
	施設利用に係る費用	<p>入居時：入会金+施設利用権利金=190万円 (2人の場合 340万円)</p> <p>入居後：コミュニティサービス費 (42,858円/月、2人の場合 76,192円) 食費(朝・夕食)(41,905円/月) <u>合計 84,763円/月 (2人の場合 160,002円)</u></p>
入居者の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居資格は満50歳以上で自立した生活を送ることができる人。</li> <li>・前居住地は東京都内と千葉県が約3割、その他首都圏が4割。</li> <li>・入居者の平均年齢は72歳、要介護認定者は700名中16名 (2015年現在)。</li> </ul>	

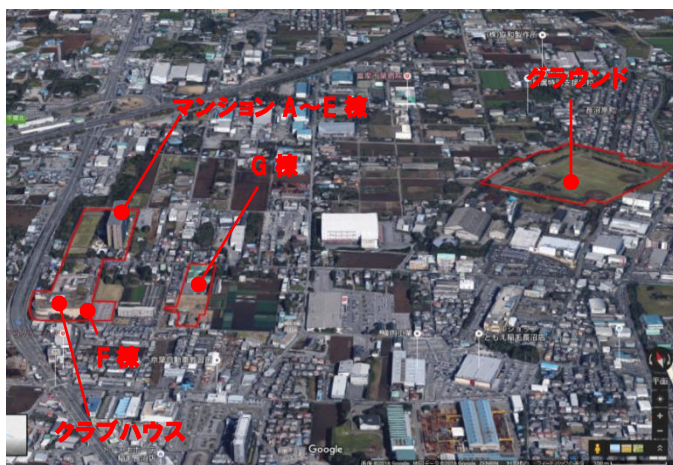


写真) Google マップ



写真) スマートコミュニティ稲毛 HP より抜粋



### 事業の経緯・施設内容等

- クラブハウスは大型商業施設の跡地を取得し、建物をリノベーション。また、マンション敷地は個人の住宅地を取得し、複数棟建設。
- 2010年から運営をスタートし、クラブハウス、マンションA、B、C棟と建設し販売、入居を開始。居住棟と併せて、食事サービスや趣味・サークル活動で利用するクラブハウス、グラウンドなどの利用権をセットで販売。
- 1,000世帯規模のメリットは、調達コストの低減のほか、施設内の人間関係が濃密になりすぎずに適度なコミュニケーションが図られ、人間関係のストレスが軽減される。

### アクティビティ

- クラブハウス、グラウンドなど施設が充実しており、入居者から自発的に多種多様なサークル活動が発生している。(例：和太鼓、合唱クラブ、バンドサークル、ビリヤード、ダンス、ゴルフ、健康麻雀クラブ、囲碁クラブ等)
- テニスコート、ジョギングコース、ゴルフ練習場、フィットネスなど健康づくりの屋内外施設が充実している。
- レンタルオフィススペースを設け、ボランティア等の社会貢献や起業など入居者の活動を支援する環境もある。

### 生活、介護・医療サービス

- クラブハウスにデンタルクリニックや健康管理・相談に対応する保健室（看護師の常駐）の設置
- 24時間対応のコンシェルジュによる生活相談。
- クラブハウス内に居宅介護支援事業所を設置。デイサービスや訪問介護は、近隣の介護事業所と連携。
- 医療施設は、近隣の医療機関と連携

### 周辺地域との関わり

- コミュニティバスの運行。



写真) スマートコミュニティ稲毛 HP より抜粋

(5) 岐阜シティ・タワー43 ラシュールメゾン岐阜

所在地	岐阜県岐阜市橋本町 (JR岐阜駅前)	
事業主体	岐阜県住宅供給公社 (サービス付き高齢者向け住宅) 社会福祉法人 新生会 (福祉施設)	
開設時期	2007年10月	
規模	地区面積：約1.1ha 地上43階の商業・住居複合の超高層ビル	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者向け住宅 6～14階のサ高住(108戸) (1LDK：44㎡～2LDK：57㎡、約108戸)</li> <li>・デイサービスセンター、訪問看護ステーション</li> <li>・住宅型有料老人ホーム(8室)</li> <li>・診療所</li> <li>・交流スペース、多世代地域交流コーナー</li> <li>・保育所</li> </ul>	
費用面	入居時	敷金 家賃の3ヶ月分
	施設利用に係る費用	家賃 95,000円/戸～135,000円/戸 共益費 12,500円/戸 状況把握・生活相談サービス費 9,560円/戸 <u>合計 117,060～157,060円/月</u>
入居者の状況	60歳以上、もしくは要介護・要支援認定を受けている人	

<岐阜シティ・タワー43の構成>

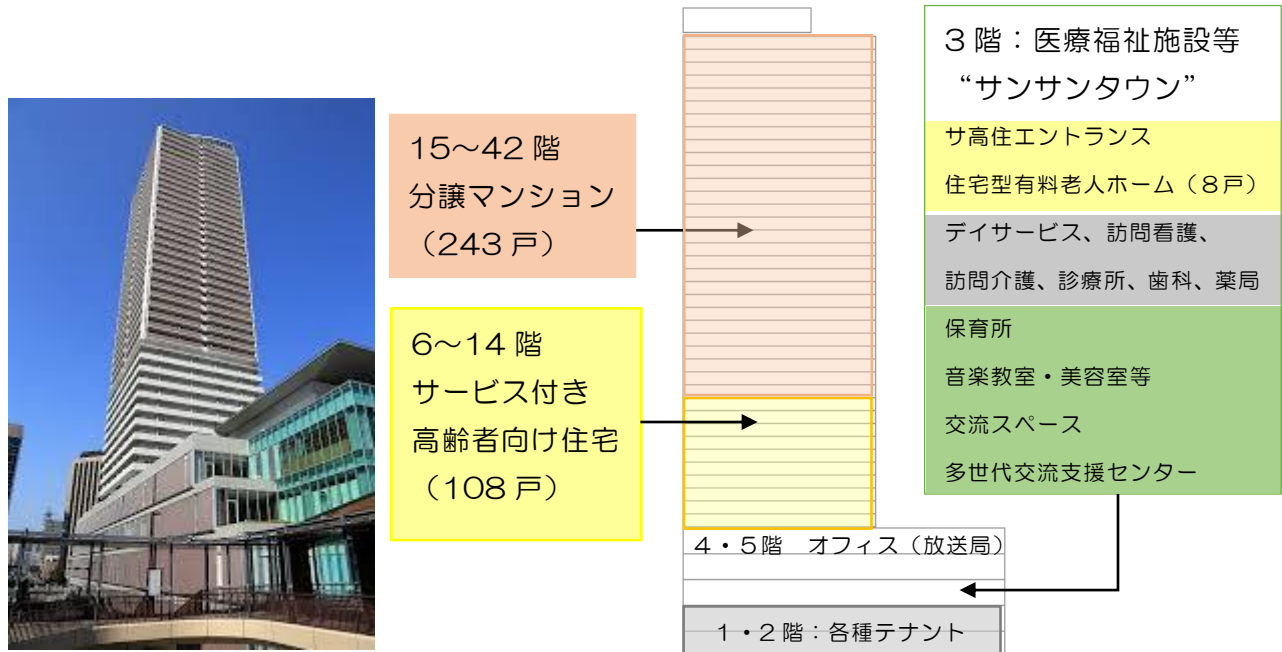


写真) 岐阜シティ・タワー43 HPより抜粋

### 事業の経緯・施設内容等

- 市街地再開発事業による（岐阜駅西地区）商業・住居複合の超高層ビルとして、2007年10月にオープン。岐阜県住宅供給公社がビルの6～14階に高齢者向け賃貸住宅を整備し、3階の福祉・医療施設（社会福祉法人新生会）と連携し、高齢者が安心して住み続けられる住まい環境を提供。
- 「ラシュールメゾン岐阜」では、都市型の縦に伸びる街の中でどのように最後まで暮らしていけるか、医療・福祉がどう支えていくか、入居者が主体的に生活し続けられることを目標としている。

### アクティビティ

- 3階フロアでは、入居者及び周辺地域の人が利用できる医療施設や保育所、音楽教室、レストラン、趣味やサークル活動・イベントの交流スペースなどがあり、多世代で交流することができる。
- 超高層ビルの中で、一般の分譲住宅、サービス付き高齢者向け住宅、医療・福祉施設、放送局や学習塾がミックスされ、子供や現役世代、高齢者と多世代が集まっていることで、社会とのつながりや街の活気を感じられる。

### 生活、介護・医療サービス

- 県住宅供給公社に委託された社会福祉法人の生活援助員が常駐し、サービス付き高齢者向け住宅の住民に見守り・相談対応等のサービスを提供している。医療、介護サービスについても、同法人の運営する3階フロアのデイサービス、訪問介護、訪問看護を利用。
- 3階の住宅型有料老人ホーム(8戸)は、退院後在宅復帰に向けたリハビリや終末期の緩和ケアに対応可能な施設である。

### 周辺地域との関わり

- ビル全体が一つの街のようになっている。

<3階の“サンブレッジ岐阜”のフロア>

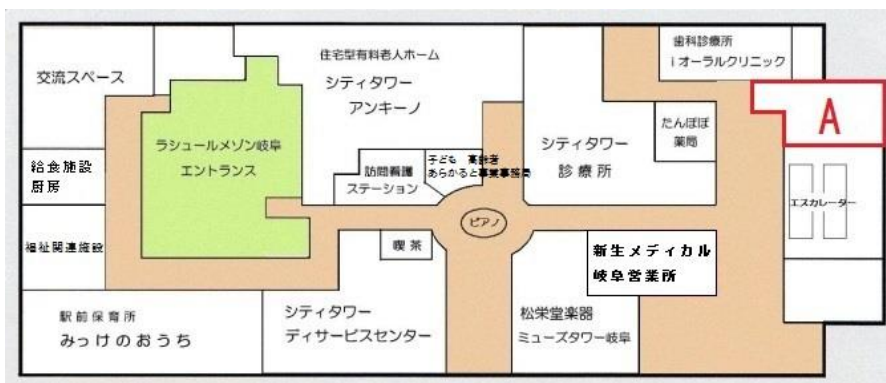


写真) 岐阜シティ・タワー43 HPより抜粋

### 3. 移住者ニーズ調査

#### (1) 調査の概要

東京圏在住者の地方移住に対する意識、移住候補地選定の考え方、さらに大分県への移住の意向を把握するため、事前調査により東京圏在住者のうち「地方移住に関心のある」40歳代から60歳代の約1,500名を回答者として抽出しインターネット調査を実施した。

#### ■調査の方法

調査名	地方移住に関するアンケート
調査期間	2016年7月25日～27日
調査手法	インターネットアンケート調査((株)マクロミルを利用) ウェブ配信及びウェブ回収による
サンプリング方法	アンケート会社(株)マクロミル)保有のモニターから、居住地、年代、「地方移住に関心のある人」の条件でサンプル抽出。
回収サンプル	地方移住に関心のある東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住の40歳代～60歳代の1,548名。このうち、大分県で「全く暮らしたことがない」人が96.6%であった。 ※東京圏在住の40歳代～60歳代のマクロミル会員のうち、30,000人の中から地方移住に関心のある回答者を抽出してアンケート調査に回答してもらった。

#### ■アンケートの設問構成

地方での暮らしのイメージ	移住先の選定について
(1) 地方で暮らしてみたい理由 (2) 地方の暮らしで何がしたいか	(8) 移住先の候補地選定に必要な(重要)な条件 (9) 現在想定している候補地
住まいのイメージ	大分県について
(3) 希望する居住形態 (4) (5) 住居に関する支出額 (賃貸の場合、取得の場合)	(10) 大分県について関心を持っていること
地方移住の具体的な検討について	(11) 大分県内市町村の認知度、訪問経験、来訪希望
(6) 地方移住を検討する上で不安なこと (7) 地方移住を検討する上で困っていること	(12) 地方移住の候補地として大分県への興味

#### ■集計にあたっての注意点

- ・ グラフは、パーセントで示す。
- ・ グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数(回答者数)を示す。
- ・ 算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない。
- ・ また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は100.0%を超える。

■回答者の属性

	属性項目 単一回答	度数	%
属性	男性	774	50.0
	女性	774	50.0
年齢	40～44歳	253	16.3
	45～49歳	263	17.0
	50～54歳	296	19.1
	55～59歳	220	14.2
	60～64歳	263	17.0
	65～69歳	253	16.3
居住地	埼玉県	297	19.2
	千葉県	220	14.2
	東京都	629	40.6
	神奈川県	402	26.0
職業	公務員	42	2.7
	経営者・役員	32	2.1
	会社員(事務系)	271	17.5
	会社員(技術系)	171	11.0
	会社員(その他)	148	9.6
	自営業	88	5.7
	自由業	40	2.6
	専業主婦(主夫)	323	20.9
	パート・アルバイト	208	13.4
	学生	1	0.1
	その他	64	4.1
	無職	160	10.3
既未婚	未婚	427	27.6
	既婚	1,121	72.4
子供の有無	子供なし	533	34.4
	子供あり	1,015	65.6
世帯年収	200万円未満	78	5.0
	200～400万円未満	246	15.9
	400～600万円未満	301	19.4
	600～800万円未満	220	14.2
	800～1000万円未満	175	11.3
	1000～1200万円未満	116	7.5
	1200～1500万円未満	69	4.5
	1500～2000万円未満	36	2.3
	2000万円以上	17	1.1
	わからない	155	10.0
	無回答	135	8.7
	家族構成	単身世帯(一人暮らし)	264
夫婦のみ世帯		419	27.1
親と子(未就学)の世帯		73	4.7
親と子(就学中)の世帯		308	19.9
親と子(社会人)の世帯		357	23.1
親・子・孫世帯		85	5.5
その他		42	2.7
	回答者数合計	1,548	100.0

## (2) 調査結果

### 1) 地方での暮らしのイメージについて

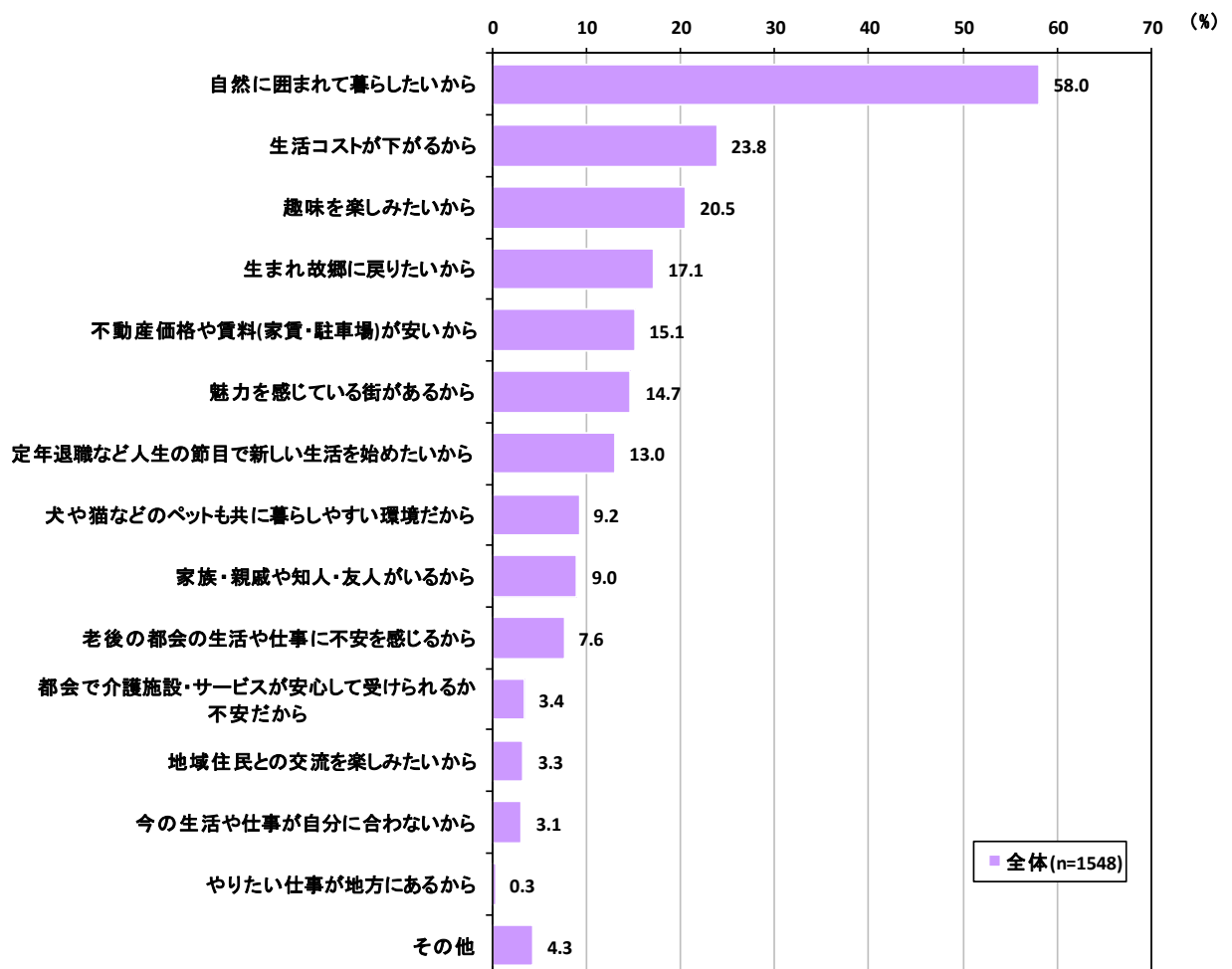
#### ①地方で暮らしてみたい理由

地方で暮らしてみたいと考える理由としては、「自然に囲まれて暮らしたいから」が最も多く 58.0%となった。次いで「生活コストが下がるから」(23.8%)、「趣味を楽しみたいから」(20.5%)、「生まれ故郷に戻りたいから」(17.1%)、「不動産価格や賃料(家賃・駐車場)が安いから」(15.1%)の順となっている。

#### 【属性別特徴】

- ・ 属性別にみると、どの属性でも「自然に囲まれて暮らしたいから」が圧倒的に多くなっている。

地方で暮らしてみたいと考える理由はどのようなことですか。(3つまで)





■ 属性別にみた地方で暮らしてみたい理由 ■

	サンプル数	生まれ故郷に戻りたいから	魅力を感じている街があるから	家族・親戚や知人・友人がいるから	自然に囲まれて暮らしたいから	不動産価格や賃料（家賃・駐車場）が安いから	生活コストが下がるから	趣味を楽しみたいから	地域住民との交流を楽しみたいから	定年退職など人生の節目で新しい生活を始めたいから	老後の都会の生活や仕事に不安を感じるから	今の生活や仕事が自分に合わないから	やりたい仕事や地方にあるから	都会で介護施設・サービスが安心して受けられるか不安だから	犬や猫などのペットも共に暮らしやすい環境だから	その他
全体	1548	17.1	14.7	9.0	58.0	15.1	23.8	20.5	3.3	13.0	7.6	3.1	0.3	3.4	9.2	4.3
性別																
男性	774	17.1	14.2	6.7	59.6	15.2	25.2	24.9	3.6	15.0	6.5	3.9	0.4	2.5	6.2	4.1
女性	774	17.2	15.1	11.2	56.5	15.0	22.4	16.1	3.0	11.1	8.7	2.3	0.3	4.4	12.3	4.4
性別・年齢別																
男性・40～44歳	104	17.3	18.3	10.6	56.7	18.3	23.1	24.0	8.7	14.4	3.8	6.7	-	-	4.8	1.9
男性・45～49歳	154	18.2	15.6	8.4	61.7	15.6	29.2	26.0	3.9	13.0	7.8	6.5	0.6	0.6	3.9	3.2
男性・50～54歳	150	16.7	12.0	6.0	55.3	12.0	24.7	21.3	0.7	15.3	7.3	4.0	0.7	2.7	8.7	6.0
男性・55～59歳	108	15.7	17.6	5.6	58.3	14.8	23.1	26.9	0.9	22.2	3.7	1.9	-	1.9	12.0	4.6
男性・60～64歳	125	17.6	10.4	5.6	57.6	15.2	25.6	23.2	4.0	18.4	5.6	3.2	0.8	2.4	4.0	5.6
男性・65～69歳	133	16.5	12.8	4.5	66.9	16.5	24.1	28.6	4.5	8.3	9.0	0.8	-	6.8	4.5	3.0
女性・40～44歳	149	17.4	13.4	13.4	57.0	15.4	25.5	19.5	3.4	9.4	10.1	2.7	-	0.7	10.7	0.7
女性・45～49歳	109	21.1	19.3	4.6	58.7	20.2	20.2	15.6	1.8	11.0	11.9	4.6	0.9	4.6	8.3	5.5
女性・50～54歳	146	18.5	19.9	13.7	54.8	17.8	24.0	11.0	1.4	18.5	9.6	3.4	0.7	2.7	10.3	6.8
女性・55～59歳	112	18.8	13.4	8.0	57.1	14.3	26.8	12.5	5.4	9.8	6.3	1.8	-	1.8	17.0	2.7
女性・60～64歳	138	13.0	10.9	14.5	58.0	13.8	23.9	18.8	2.9	8.7	7.2	-	-	8.0	9.4	3.6
女性・65～69歳	120	15.0	14.2	10.8	53.3	8.3	12.5	19.2	3.3	8.3	6.7	1.7	-	9.2	19.2	7.5
世帯年収別																
200万円未満	78	15.4	14.1	7.7	52.6	12.8	30.8	14.1	2.6	11.5	10.3	3.8	-	2.6	10.3	3.8
200～400万円未満	246	18.7	11.8	8.9	57.7	17.9	26.8	17.1	3.7	8.9	8.5	3.3	0.4	5.3	11.0	4.1
400～600万円未満	301	15.9	11.3	8.0	56.5	17.3	25.2	24.3	3.0	14.0	9.6	4.0	0.3	4.0	9.0	4.0
600～800万円未満	220	17.7	12.7	5.9	61.8	12.7	25.5	21.8	3.2	15.5	9.1	2.7	0.5	3.2	7.7	3.6
800～1000万円未満	175	21.7	14.9	11.4	57.7	12.6	22.3	21.7	3.4	16.6	4.6	3.4	0.6	2.9	9.7	3.4
1000～1200万円未満	116	9.5	21.6	9.5	57.8	10.3	20.7	25.0	6.0	19.0	5.2	3.4	0.9	1.7	6.9	6.0
1200万円以上	122	18.9	22.1	11.5	65.6	13.1	15.6	19.7	4.9	10.7	5.7	0.8	-	2.5	10.7	5.7
わからない	155	14.2	16.8	9.0	51.6	16.1	22.6	13.5	1.9	9.7	5.2	3.2	-	3.9	7.1	6.5
職業別																
公務員	42	19.0	31.0	14.3	52.4	7.1	23.8	28.6	-	21.4	2.4	2.4	-	2.4	7.1	2.4
経営者・役員	32	12.5	21.9	3.1	62.5	9.4	21.9	28.1	9.4	6.3	6.3	3.1	-	3.1	9.4	-
事務系会社員	271	17.7	17.0	8.9	56.8	15.1	22.1	21.0	4.4	16.6	7.7	4.4	0.4	1.5	4.8	3.7
技術系会社員	171	20.5	13.5	4.1	59.6	17.0	25.7	25.1	1.2	18.7	8.2	3.5	0.6	1.2	7.0	2.3
その他会社員	148	15.5	10.8	6.8	62.2	15.5	20.9	23.6	6.1	14.2	8.1	4.1	-	2.0	12.2	4.1
自営業	88	17.0	9.1	5.7	60.2	21.6	28.4	18.2	3.4	6.8	4.5	4.5	-	4.5	9.1	10.2
自由業	40	25.0	22.5	17.5	40.0	25.0	35.0	20.0	2.5	5.0	5.0	2.5	2.5	7.5	15.0	5.0
専業主婦（主夫）	323	16.1	17.0	12.1	55.7	14.2	20.4	16.7	3.1	10.5	8.4	1.9	-	5.0	12.1	5.0
パート・アルバイト	208	16.3	12.0	13.0	60.1	13.5	25.5	14.4	1.4	11.1	6.3	2.9	-	2.4	11.1	2.9
その他	65	15.4	7.7	4.6	55.4	13.8	23.1	32.3	1.5	15.4	4.6	3.1	3.1	1.5	9.2	4.6
無職	160	16.3	12.5	6.3	61.3	14.4	26.9	20.6	4.4	11.3	11.3	1.9	-	8.1	7.5	5.6
居住地別																
埼玉県	297	17.2	13.8	6.7	57.9	13.8	22.2	20.5	3.0	16.2	7.1	2.0	-	3.0	9.8	3.7
千葉県	220	16.8	9.1	8.2	57.7	9.5	22.7	25.0	3.2	8.6	7.7	3.6	-	2.7	9.5	8.2
東京都	629	17.2	17.3	10.3	56.8	18.3	21.9	19.1	3.5	11.3	7.9	3.0	0.6	4.0	8.9	4.1
神奈川県	402	17.2	14.2	9.0	60.2	14.2	28.4	20.4	3.2	15.9	7.2	3.7	0.2	3.2	9.2	2.7

（注）太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「その他」を除く）

（注）属性別の図表では、性別、年齢等の属性を回答していない「無回答」を表示していないため、属性別のサンプル数の合計が全体のサンプル数と一致しない。（以下同様）

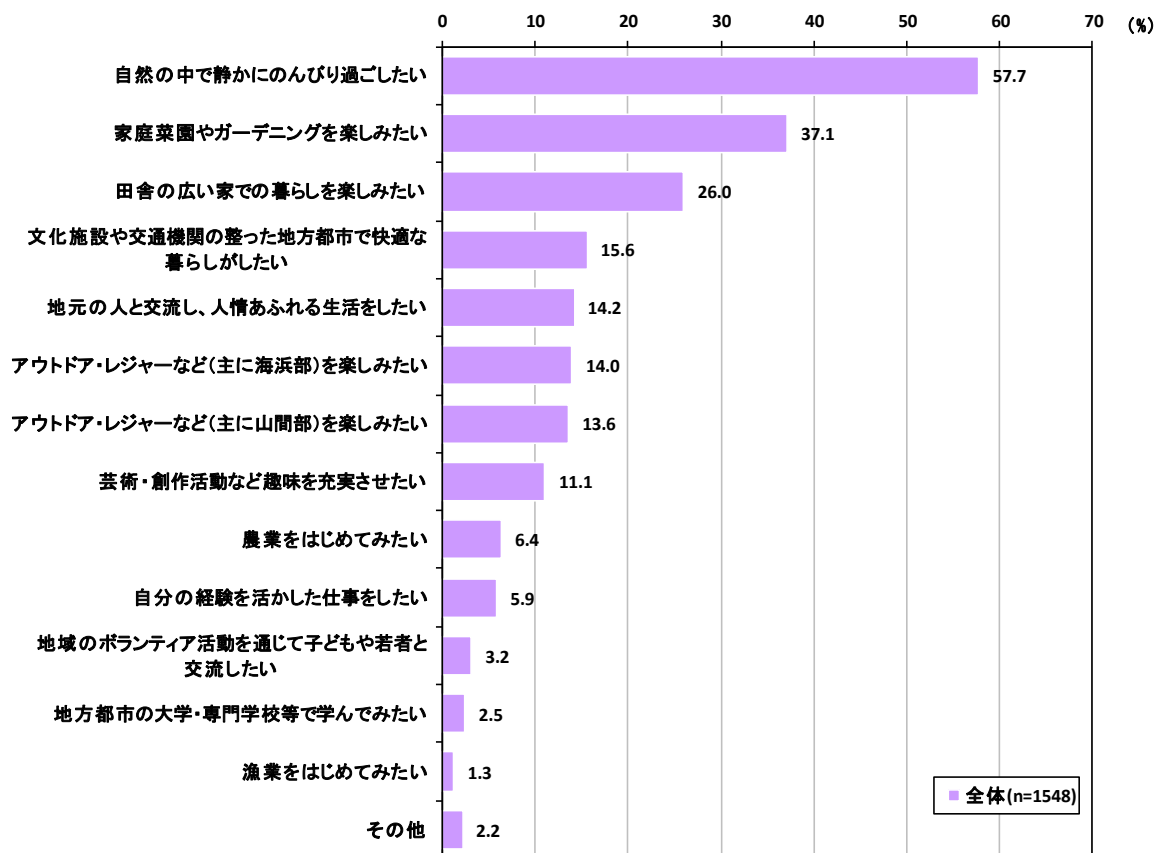
## ②地方の暮らしで何がしたいか

地方で暮らす（移住する）としたら何をしたいか尋ねたところ、「自然の中で静かにのんびり過ごしたい」が最も多く 57.7%となった。次いで「家庭菜園やガーデニングを楽しみたい」（37.1%）、「田舎の広い家での暮らしを楽しみたい」（26.0%）の順となっている。

### 【属性別特徴】

- 属性別にみると、どの属性でも「自然の中で静かにのんびり過ごしたい」が最も多くなっているが、「家庭菜園やガーデニングを楽しみたい」は、男性の 60～64 歳（43.2%）、65～69 歳（45.9%）、女性の 55～59 歳（44.6%）、60～64 歳（50.0%）、65～69 歳（45.0%）で特に多くなっている。

地方で暮らす（移住する）としたら、何をしてみたいですか？（3つまで）





■ 属性別にみた地方の暮らしでしてみたいこと ■

		サンプル数	田舎の広い家での暮らしをしてみたい	アウトドア・レジャーなど（主に海浜部）を楽しみたい	アウトドア・レジャーなど（主に山間部）を楽しみたい	家庭菜園やガーデニングを楽しみたい	農業をはじめてみたい	漁業をはじめてみたい	地元の人と交流し、人情あふれる生活をしたい	芸術・創作活動など趣味を充実させたい	自然の中で静かにのんびり過ごしたい	自分の経験を活かした仕事をしたい	地域のボランティア活動を通じて子どもや若者と交流したい	地方都市の大学・専門学校等で学んでみたい	文化施設や交通機関の整った地方都市で快適な暮らしをしたい	その他
全体		1548	26.0	14.0	13.6	37.1	6.4	1.3	14.2	11.1	57.7	5.9	3.2	2.5	15.6	2.2
性別	男性	774	30.0	18.0	17.7	32.7	8.1	2.3	13.3	9.0	56.3	4.9	2.2	2.7	10.9	1.8
	女性	774	22.1	10.1	9.4	41.5	4.7	0.3	15.1	13.2	59.0	7.0	4.1	2.3	20.3	2.6
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	<b>41.3</b>	<b>21.2</b>	13.5	26.9	<b>12.5</b>	4.8	14.4	8.7	51.0	4.8	1.9	4.8	10.6	1.0
	男性・45～49歳	154	<b>34.4</b>	<b>22.1</b>	<b>21.4</b>	29.2	7.8	2.6	11.0	13.0	52.6	4.5	1.3	3.9	9.1	1.9
	男性・50～54歳	150	30.7	14.7	<b>19.3</b>	23.3	7.3	2.7	10.7	7.3	52.7	6.0	2.0	2.7	8.7	4.0
	男性・55～59歳	108	<b>31.5</b>	<b>22.2</b>	<b>19.4</b>	27.8	4.6	1.9	8.3	9.3	62.0	6.5	1.9	2.8	13.9	2.8
	男性・60～64歳	125	25.6	13.6	15.2	<b>43.2</b>	11.2	1.6	16.8	8.8	<b>64.0</b>	4.8	2.4	1.6	12.8	0.8
	男性・65～69歳	133	18.0	15.0	15.8	<b>45.9</b>	6.0	0.8	18.8	6.8	57.1	3.0	3.8	0.8	11.3	-
	女性・40～44歳	149	<b>35.6</b>	14.8	10.1	36.2	4.7	0.7	15.4	14.1	57.7	4.7	1.3	0.7	14.8	1.3
	女性・45～49歳	109	26.6	13.8	8.3	31.2	6.4	-	11.0	9.2	<b>67.9</b>	10.1	0.9	1.8	19.3	4.6
	女性・50～54歳	146	19.2	6.2	10.3	41.1	2.7	-	17.1	<b>17.8</b>	54.8	<b>11.0</b>	2.7	1.4	<b>26.0</b>	2.7
	女性・55～59歳	112	18.8	9.8	8.9	<b>44.6</b>	8.0	-	10.7	15.2	53.6	6.3	7.1	1.8	<b>21.4</b>	3.6
	女性・60～64歳	138	11.6	10.9	8.7	<b>50.0</b>	3.6	-	17.4	13.0	61.6	5.8	7.2	6.5	19.6	-
	女性・65～69歳	120	20.0	5.0	10.0	<b>45.0</b>	3.3	0.8	17.5	8.3	60.0	4.2	5.8	1.7	<b>20.8</b>	4.2
世帯年収別	200万円未満	78	19.2	10.3	11.5	38.5	5.1	-	14.1	11.5	<b>69.2</b>	2.6	1.3	2.6	10.3	1.3
	200～400万円未満	246	23.2	13.0	9.3	33.7	6.1	0.4	15.9	15.9	56.9	6.1	5.7	1.6	14.2	4.1
	400～600万円未満	301	23.6	14.3	16.6	40.2	8.3	0.7	14.0	9.3	58.8	7.0	1.3	2.0	16.9	1.0
	600～800万円未満	220	30.9	10.9	16.8	41.8	5.5	0.9	11.4	9.1	61.4	4.1	1.4	2.3	13.6	1.8
	800～1000万円未満	175	28.6	13.7	10.9	40.0	6.9	2.3	12.0	10.9	55.4	7.4	4.6	5.7	17.1	0.6
	1000～1200万円未満	116	25.9	<b>19.8</b>	13.8	37.1	9.5	2.6	17.2	6.9	48.3	3.4	5.2	1.7	19.0	2.6
	1200万円以上	122	25.4	17.2	<b>21.3</b>	36.1	5.7	2.5	11.5	15.6	59.0	7.4	3.3	2.5	12.3	0.8
	わからない	155	24.5	13.5	9.0	33.5	6.5	1.9	14.8	11.6	47.1	7.1	2.6	2.6	19.4	5.2
職業別	公務員	42	26.2	<b>26.2</b>	16.7	26.2	4.8	<b>7.1</b>	9.5	9.5	61.9	2.4	2.4	2.4	19.0	-
	経営者・役員	32	25.0	12.5	<b>18.8</b>	40.6	6.3	-	6.3	6.3	<b>68.8</b>	3.1	-	-	9.4	-
	事務系会社員	271	30.6	14.4	16.6	31.7	8.5	1.5	16.2	9.6	55.7	5.2	1.8	3.7	14.4	2.6
	技術系会社員	171	29.2	18.7	<b>21.1</b>	35.7	9.4	3.5	9.9	7.6	50.9	9.4	2.9	2.9	8.8	1.2
	その他会社員	148	<b>37.8</b>	18.2	14.9	31.1	8.8	2.0	13.5	10.8	54.7	5.4	0.7	2.7	12.2	0.7
	自営業	88	30.7	11.4	11.4	40.9	5.7	1.1	18.2	14.8	52.3	<b>11.4</b>	3.4	-	11.4	4.5
	自由業	40	25.0	12.5	2.5	27.5	-	-	<b>22.5</b>	<b>32.5</b>	57.5	5.0	5.0	<b>10.0</b>	<b>25.0</b>	7.5
	専業主婦（主夫）	323	21.7	10.5	9.6	40.2	3.7	0.3	14.9	13.3	57.6	7.1	5.3	2.5	<b>26.0</b>	2.2
	パート・アルバイト	208	21.6	12.0	13.5	<b>42.3</b>	4.3	0.5	11.1	9.1	<b>64.4</b>	3.4	2.9	1.4	11.5	1.9
	その他	65	21.5	13.8	12.3	27.7	6.2	-	15.4	15.4	52.3	<b>13.8</b>	1.5	3.1	13.8	6.2
無職	160	18.1	13.1	10.0	<b>46.3</b>	8.1	0.6	16.9	8.1	<b>64.4</b>	0.6	5.0	1.3	13.1	1.3	
居住地別	埼玉県	297	23.2	15.8	15.2	35.7	7.4	1.3	12.8	10.8	54.5	5.1	3.7	1.7	19.2	2.0
	千葉県	220	23.2	13.2	13.2	36.4	5.9	1.8	15.5	10.5	61.4	5.5	4.1	2.3	11.4	2.7
	東京都	629	25.1	14.0	14.1	35.9	6.4	1.0	14.9	12.6	56.6	6.5	3.2	2.5	15.7	1.9
	神奈川県	402	<b>31.1</b>	13.2	11.7	40.3	6.0	1.5	13.4	9.5	59.7	6.0	2.2	3.2	14.9	2.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」を除く)

## 2) 住まいのイメージについて

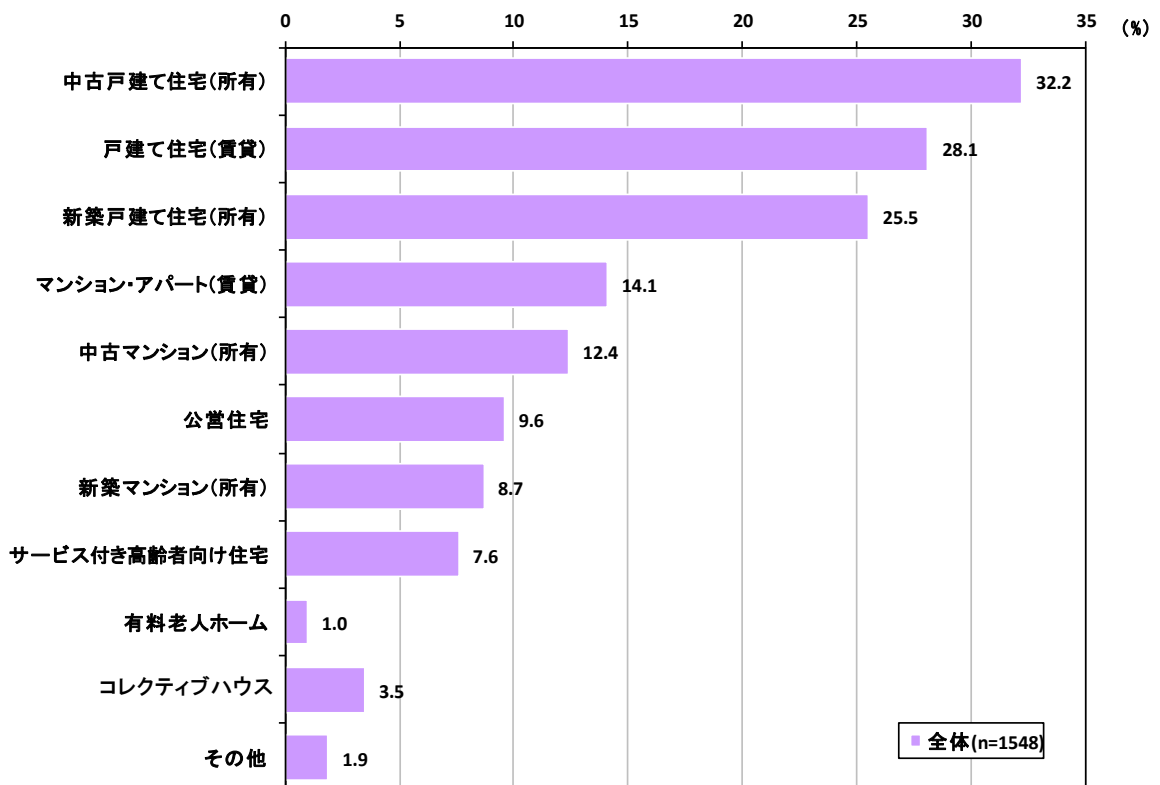
### ①希望する居住形態

地方で暮らす時に住まいの希望については、「中古戸建て住宅（所有）」が最も多く32.2%となった。次いで「戸建て住宅（賃貸）」(28.1%)、「新築戸建て住宅（所有）」(25.5%)の順となっており、「戸建て住宅」が上位を占めている。

#### 【属性別特徴】

- ・ 性別にみると、男性で「中古戸建て住宅（所有）」が38.5%と多くなっている。
- ・ また「サービス付き高齢者向け住宅」(7.6%)は、男性で3.4%に対し女性は11.9%と高い。特に女性の60歳以上でより多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、「中古戸建て住宅（所有）」は男性の40～44歳(43.3%)、50～54歳(46.0%)で40%を超えている。また、「新築戸建て住宅（所有）」は男性の40～44歳(32.7%)、45～49歳(35.1%)、女性の40～44歳(38.3%)で30%を超えている。

地方で暮らす（移住）場合、どのような住まいで暮らしたいと思いますか。  
(2つまで)



※コレクティブハウスとは、企画段階から居住希望者が集まり、生活空間の一部を共同化する住まいのこと

■ 属性別にみた希望する居住形態 ■

	サンプル数	戸建て住宅（賃貸）	新築戸建て住宅（所有）	中古戸建て住宅（所有）	マンション・アパート（賃貸）	新築マンション（所有）	中古マンション（所有）	公営住宅	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム	コレクティブハウス	その他	
全体	1548	28.1	25.5	32.2	14.1	8.7	12.4	9.6	7.6	1.0	3.5	1.9	
性別	男性	774	30.7	26.0	<b>38.5</b>	13.8	6.3	12.0	9.8	3.4	1.0	1.0	1.4
	女性	774	25.5	24.9	26.0	14.5	11.0	12.8	9.4	11.9	1.0	5.9	2.5
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	22.1	<b>32.7</b>	<b>43.3</b>	17.3	3.8	15.4	11.5	1.9	-	1.0	1.0
	男性・45～49歳	154	26.6	<b>35.1</b>	36.4	9.7	11.0	11.0	8.4	2.6	0.6	1.3	2.6
	男性・50～54歳	150	27.3	26.0	<b>46.0</b>	10.7	5.3	11.3	8.7	2.7	2.7	1.3	2.0
	男性・55～59歳	108	<b>37.0</b>	22.2	32.4	15.7	6.5	13.9	6.5	5.6	1.9	0.9	1.9
	男性・60～64歳	125	27.2	23.2	<b>38.4</b>	16.0	4.8	10.4	11.2	4.0	0.8	0.8	-
	男性・65～69歳	133	<b>44.4</b>	15.8	33.8	15.8	5.3	11.3	12.8	3.8	-	0.8	0.8
	女性・40～44歳	149	21.5	<b>38.3</b>	32.9	13.4	9.4	11.4	7.4	5.4	-	4.0	2.7
	女性・45～49歳	109	23.9	30.3	33.0	14.7	9.2	12.8	7.3	10.1	-	3.7	-
	女性・50～54歳	146	30.1	25.3	28.1	10.3	<b>16.4</b>	14.4	8.9	10.3	1.4	6.2	2.7
	女性・55～59歳	112	30.4	18.8	22.3	15.2	7.1	15.2	7.1	11.6	1.8	7.1	2.7
女性・60～64歳	138	25.4	19.6	18.8	16.7	11.6	14.5	10.1	<b>13.8</b>	2.2	<b>8.7</b>	1.4	
女性・65～69歳	120	21.7	15.0	20.0	17.5	10.8	8.3	<b>15.8</b>	<b>21.7</b>	0.8	5.8	5.0	
世帯年収別	200万円未満	78	32.1	9.0	20.5	<b>20.5</b>	3.8	11.5	<b>19.2</b>	7.7	1.3	5.1	2.6
	200～400万円未満	246	30.9	18.3	27.6	17.5	5.3	11.8	13.8	10.6	0.8	2.4	3.7
	400～600万円未満	301	26.2	23.3	35.5	14.6	8.0	13.3	11.0	7.6	1.0	4.3	2.0
	600～800万円未満	220	28.6	27.7	36.8	12.7	8.2	13.2	6.8	6.4	0.9	1.4	1.4
	800～1000万円未満	175	26.3	<b>32.0</b>	36.6	8.0	10.3	12.0	4.6	6.9	1.1	1.7	1.1
	1000～1200万円未満	116	20.7	<b>31.9</b>	31.0	15.5	10.3	<b>18.1</b>	7.8	6.0	1.7	5.2	0.9
	1200万円以上	122	<b>35.2</b>	29.5	31.1	11.5	9.8	9.8	4.9	9.8	1.6	4.9	0.8
	わからない	155	25.8	<b>31.6</b>	25.8	12.9	12.3	11.0	9.7	5.2	0.6	5.8	2.6
職業別	公務員	42	21.4	26.2	<b>38.1</b>	<b>26.2</b>	2.4	16.7	11.9	7.1	-	2.4	-
	経営者・役員	32	31.3	<b>31.3</b>	<b>50.0</b>	6.3	3.1	12.5	6.3	3.1	-	-	3.1
	事務系会社員	271	26.2	29.9	30.6	12.9	9.2	13.7	7.7	7.4	1.1	2.6	1.1
	技術系会社員	171	28.7	28.7	<b>49.1</b>	9.9	8.8	13.5	7.0	2.3	1.2	1.2	1.2
	その他会社員	148	27.7	25.7	30.4	16.2	7.4	14.9	10.1	2.0	1.4	0.7	1.4
	自営業	88	<b>36.4</b>	19.3	<b>37.5</b>	13.6	3.4	12.5	9.1	4.5	1.1	4.5	2.3
	自由業	40	22.5	15.0	<b>50.0</b>	17.5	2.5	12.5	10.0	7.5	2.5	7.5	2.5
	専業主婦（主夫）	323	23.5	25.1	28.2	14.6	12.7	11.1	7.7	<b>13.6</b>	1.2	5.6	2.5
	パート・アルバイト	208	31.7	26.0	21.6	15.9	7.2	12.5	12.0	8.7	1.0	3.8	3.4
	その他	65	32.3	18.5	26.2	16.9	<b>15.4</b>	4.6	<b>15.4</b>	4.6	1.5	6.2	1.5
無職	160	31.9	21.9	30.6	12.5	6.9	11.3	13.8	9.4	-	3.8	1.9	
居住地別	埼玉県	297	27.6	27.3	34.0	11.1	7.7	13.8	8.8	6.7	1.3	3.7	2.0
	千葉県	220	27.3	28.2	30.0	12.7	8.6	9.1	11.4	7.7	-	3.2	3.2
	東京都	629	26.7	22.9	30.8	14.9	10.2	13.0	9.9	9.2	1.1	4.5	2.1
	神奈川県	402	31.1	26.6	34.3	15.9	7.0	12.2	9.0	5.7	1.2	2.0	1.0

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」を除く)

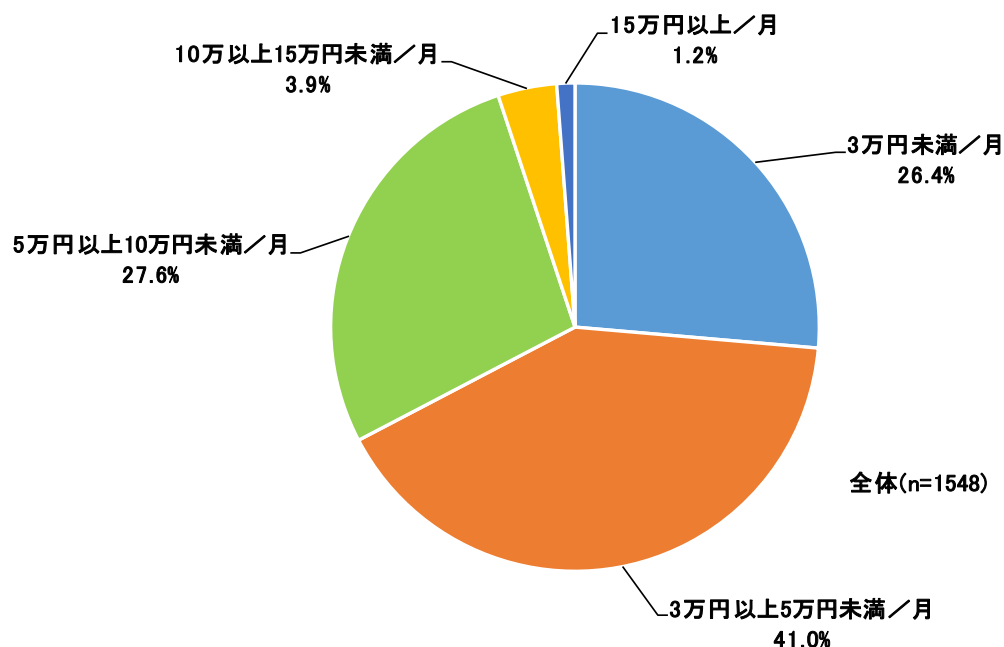
## ②賃貸の場合の住居に関する支出額

地方移住した場合に賃貸住宅に住むことを想定した場合の1ヵ月の家賃支出額については、「3万円未満」が26.4%。「3万円以上5万円未満」が41.0%、「5万円以上10万円未満」が27.6%となった。「5万円未満」の回答を合わせると、67.4%という結果となっている。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男女とも「3万円以上5万円未満」が最も多いが、2番目に多いのは、男性の「3万円未満」(29.5%)に対し、女性は「5万円以上10万円未満」(30.9%)となっており、女性の方がやや高めの支出額になっている。

地方での移住をする場合、住居に関する支出額はどの程度をお考えですか。  
賃貸の場合について、お答えください。



■ 属性別にみた賃貸の場合の住居に関する支出額 ■

		サンプル数	3万円未満／月	53万円未満以上／月	150万円未満以上／月	1150万円未満以上／月	15万円以上／月
全体		1548	26.4	41.0	27.6	3.9	1.2
性別	男性	774	29.5	42.1	24.3	3.0	1.2
	女性	774	23.4	39.8	30.9	4.8	1.2
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	16.3	43.3	<b>35.6</b>	4.8	-
	男性・45～49歳	154	25.3	42.2	29.2	1.9	1.3
	男性・50～54歳	150	<b>32.0</b>	38.7	24.7	4.0	0.7
	男性・55～59歳	108	<b>33.3</b>	43.5	17.6	2.8	2.8
	男性・60～64歳	125	<b>34.4</b>	45.6	16.0	3.2	0.8
	男性・65～69歳	133	<b>33.8</b>	40.6	22.6	1.5	1.5
	女性・40～44歳	149	21.5	43.6	<b>32.9</b>	2.0	-
	女性・45～49歳	109	18.3	<b>52.3</b>	25.7	3.7	-
	女性・50～54歳	146	21.9	41.1	26.0	8.2	2.7
	女性・55～59歳	112	23.2	33.0	<b>37.5</b>	5.4	0.9
	女性・60～64歳	138	28.3	34.1	<b>32.6</b>	3.6	1.4
女性・65～69歳	120	26.7	35.0	30.8	5.8	1.7	
世帯年収別	200万円未満	78	<b>47.4</b>	38.5	10.3	3.8	-
	200～400万円未満	246	<b>33.3</b>	<b>48.4</b>	16.3	2.0	-
	400～600万円未満	301	25.9	44.5	24.6	4.0	1.0
	600～800万円未満	220	28.6	41.4	26.4	2.3	1.4
	800～1000万円未満	175	20.6	37.1	<b>35.4</b>	5.1	1.7
	1000～1200万円未満	116	13.8	35.3	<b>41.4</b>	6.0	3.4
	1200万円以上	122	21.3	25.4	<b>42.6</b>	7.4	3.3
	わからない	155	23.9	44.5	29.0	1.9	0.6
職業別	公務員	42	11.9	<b>47.6</b>	<b>35.7</b>	2.4	2.4
	経営者・役員	32	18.8	43.8	31.3	3.1	3.1
	事務系会社員	271	28.0	37.6	30.3	3.0	1.1
	技術系会社員	171	26.3	43.3	27.5	2.9	-
	その他会社員	148	27.7	<b>46.6</b>	23.0	2.0	0.7
	自営業	88	29.5	39.8	23.9	5.7	1.1
	自由業	40	<b>42.5</b>	35.0	20.0	-	2.5
	専業主婦（主夫）	323	22.3	33.4	<b>37.2</b>	5.0	2.2
	パート・アルバイト	208	20.7	<b>49.5</b>	24.0	5.3	0.5
	その他	65	<b>35.4</b>	41.5	15.4	6.2	1.5
	無職	160	<b>34.4</b>	42.5	18.8	3.8	0.6
居住地別	埼玉県	297	25.9	42.8	27.3	3.7	0.3
	千葉県	220	30.0	45.9	19.5	3.2	1.4
	東京都	629	24.8	38.8	30.2	4.3	1.9
	神奈川県	402	27.4	40.3	28.1	3.7	0.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

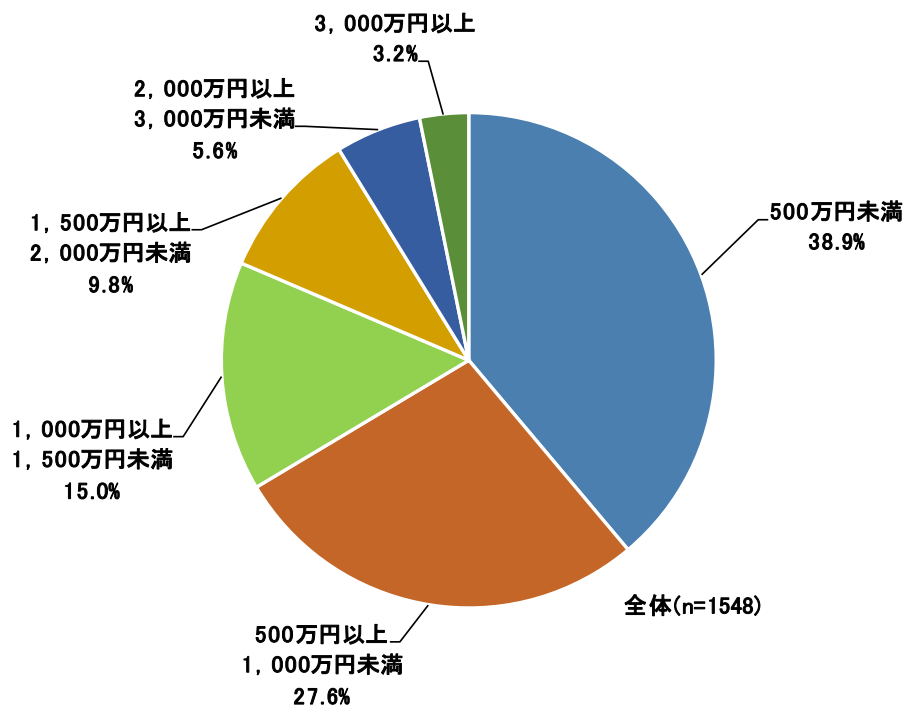
### ③取得の場合の住居に関する支出額

地方移住し、戸建て住宅に住むことを想定した場合の取得に係る費用については、「500万円未満」が最も多く38.9%となった。次いで「500万円以上1,000万円未満」が27.6%、「1,000万円以上1,500万円未満」が15.0%と続いている。

#### 【属性別特徴】

- ・ 性別・年齢別にみると、「1,000万円以上」は、男性の40～44歳（43.2%）、45～49歳（40.2%）、女性の40～44歳（42.3%）と40%を超えている。また、男女とも年齢が高くなるとともに「1,000万円未満」が多くなる傾向がある。
- ・ 世帯年収別をみると、年収が多くなるとともに「1,000万円以上」の回答も多くなり、世帯年収が1,000万円以上になると「1,000万円以上」の回答の割合が半数強となる。年収が高くなると取得する住居に関する支出額も高くなる傾向がある。

地方での移住をする場合、住居に関する支出額はどの程度をお考えですか。  
所有（一戸建）の場合の取得額について、お答えください。



■ 属性別にみた取得の場合の住居に関する支出額 ■

		サ ン プ ル 数	5 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 以 上 未 満	1 1 5 0 万 円 未 満	2 1 0 5 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 0 万 円 以 上	1 0 0 0 万 円 未 満	1 0 0 0 万 円 以 上
全体		1548	38.9	27.6	15.0	9.8	5.6	3.2	66.5	33.6
性別	男性	774	40.2	27.3	14.7	9.7	5.3	2.8	67.5	32.5
	女性	774	37.6	28.0	15.2	9.8	5.8	3.5	65.6	34.3
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	20.2	<b>36.5</b>	19.2	11.5	6.7	5.8	56.7	<b>43.2</b>
	男性・45～49歳	154	33.1	26.6	18.8	12.3	6.5	2.6	59.7	<b>40.2</b>
	男性・50～54歳	150	38.0	30.7	15.3	9.3	4.7	2.0	68.7	31.3
	男性・55～59歳	108	<b>44.4</b>	26.9	13.9	10.2	2.8	1.9	71.3	28.8
	男性・60～64歳	125	<b>52.0</b>	22.4	9.6	8.8	4.8	2.4	<b>74.4</b>	25.6
	男性・65～69歳	133	<b>51.9</b>	21.8	11.3	6.0	6.0	3.0	<b>73.7</b>	26.3
	女性・40～44歳	149	34.2	23.5	<b>20.8</b>	11.4	5.4	4.7	57.7	<b>42.3</b>
	女性・45～49歳	109	39.4	24.8	16.5	10.1	7.3	1.8	64.2	35.7
	女性・50～54歳	146	32.9	32.2	11.0	8.9	7.5	7.5	65.1	34.9
	女性・55～59歳	112	34.8	<b>33.0</b>	17.9	9.8	2.7	1.8	67.8	32.2
	女性・60～64歳	138	42.8	28.3	10.9	10.1	6.5	1.4	71.1	28.9
女性・65～69歳	120	42.5	26.7	15.0	8.3	5.0	2.5	69.2	30.8	
世帯年収別	200万円未満	78	<b>73.1</b>	15.4	6.4	5.1	-	-	<b>88.5</b>	11.5
	200～400万円未満	246	<b>55.7</b>	26.0	8.9	6.1	2.0	1.2	<b>81.7</b>	18.2
	400～600万円未満	301	40.5	29.9	18.9	4.0	5.3	1.3	70.4	29.5
	600～800万円未満	220	33.6	30.0	<b>20.0</b>	9.5	5.9	0.9	63.6	36.3
	800～1000万円未満	175	26.9	28.0	18.3	<b>16.0</b>	6.9	4.0	54.9	<b>45.2</b>
	1000～1200万円未満	116	20.7	25.9	19.8	<b>17.2</b>	6.0	<b>10.3</b>	46.6	<b>53.3</b>
	1200万円以上	122	22.1	27.0	11.5	<b>18.0</b>	<b>11.5</b>	<b>9.8</b>	49.1	<b>50.8</b>
わからない	155	37.4	<b>32.9</b>	7.7	11.6	7.1	3.2	70.3	29.6	
職業別	公務員	42	31.0	26.2	19.0	<b>16.7</b>	4.8	2.4	57.2	<b>42.9</b>
	経営者・役員	32	28.1	<b>34.4</b>	<b>21.9</b>	6.3	3.1	6.3	62.5	37.6
	事務系会社員	271	34.7	30.3	11.4	13.3	7.4	3.0	65.0	35.1
	技術系会社員	171	31.6	28.7	<b>22.8</b>	11.1	4.1	1.8	60.3	<b>39.8</b>
	その他会社員	148	<b>45.3</b>	25.0	14.2	10.1	4.1	1.4	70.3	29.8
	自営業	88	<b>48.9</b>	28.4	9.1	8.0	3.4	2.3	<b>77.3</b>	22.8
	自由業	40	42.5	<b>37.5</b>	7.5	5.0	2.5	5.0	<b>80.0</b>	20.0
	専業主婦（主夫）	323	32.2	27.9	17.3	10.8	7.7	4.0	60.1	<b>39.8</b>
	パート・アルバイト	208	41.8	28.4	16.3	5.3	4.8	3.4	70.2	29.8
	その他	65	<b>49.2</b>	23.1	7.7	7.7	3.1	<b>9.2</b>	<b>72.3</b>	27.7
	無職	160	<b>51.3</b>	21.3	12.5	7.5	5.6	1.9	<b>72.6</b>	27.5
居住地別	埼玉県	297	40.1	27.6	16.5	10.4	4.4	1.0	67.7	32.3
	千葉県	220	<b>45.5</b>	28.2	12.7	7.7	3.2	2.7	<b>73.7</b>	26.3
	東京都	629	38.8	26.1	13.7	9.2	7.2	5.1	64.9	35.2
	神奈川県	402	34.6	29.9	17.2	11.2	5.2	2.0	64.5	35.6

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

### 3) 地方移住の具体的な検討について

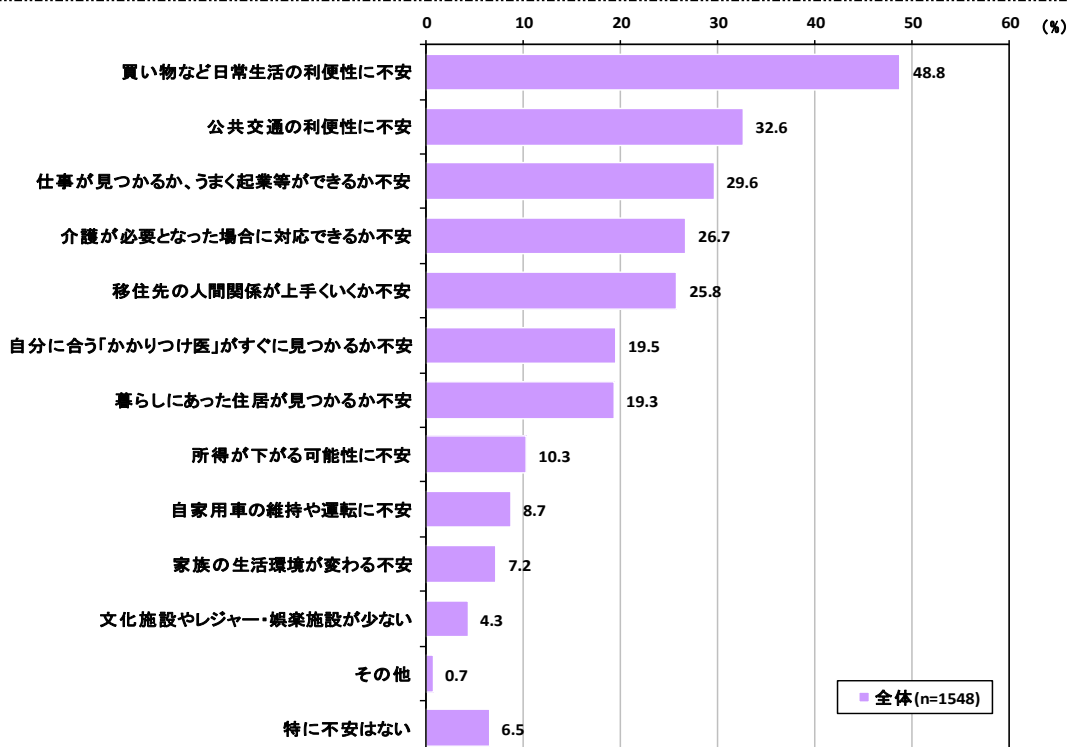
#### ①地方移住を検討する上で不安なこと

地方での暮らし（移住）を検討する場合に不安なことについては、「買い物など日常生活の利便性に不安」が最も多く 48.8%と回答者の約半数が選んでいる。次いで「公共交通機関の利便性に不安」(32.6%)、「仕事が見つかるか、うまく起業等ができるか不安」(29.6%)、「介護が必要となった場合に対応できるか不安」(26.7%)、「移住先の人間関係が上手くいくか不安」(25.8%)の順となっている。

#### 【属性別特徴】

- ・ 性別にみると、「買い物など日常生活の利便性に不安」は女性では 55.7%と半数を超えている。また、男性では「仕事が見つかるか、うまく起業等ができるか不安」が 34.6%と多くなっている。
- ・ 性別・年齢別にみると、「仕事が見つかるか、うまく起業等ができるか不安」は、男性の 40～44 歳で 54.8%、45～49 歳で 51.9%、50～54 歳で 46.0%と、最も多くなっている。
- ・ 女性の 55 歳以上では「買い物など日常生活の利便性に不安」に加えて、「公共交通機関の利便性に不安」や「介護が必要となった場合に対応できるか不安」も多くあげられている。

地方での暮らし（移住）を検討する場合に不安なことは何ですか。（3 つまで）





■ 属性別にみた地方移住を検討する上で不安なこと ■

	サンプル数	仕事が見つかるか不安	買い物など日常生活の利便性に不安	公共交通の利便性に不安	自家用車の維持や運転に不安	自分に合う「かかりつけ医」が見つかるか不安	介護が必要となった場合に対応できるか不安	移住先の人間関係が上手いかわるか不安	暮らしにあった住居が見つかるか不安	所得が下がる可能性に不安	家族の生活環境が変わる不安	文化施設やレジャー・娯楽施設が少ない	その他	特に不安はない	
全体	1548	29.6	48.8	32.6	8.7	19.5	26.7	25.8	19.3	10.3	7.2	4.3	0.7	6.5	
性別	男性	774	<b>34.6</b>	42.0	28.7	9.0	16.5	23.3	24.3	21.2	12.0	8.9	3.4	0.6	7.0
	女性	774	24.5	<b>55.7</b>	36.4	8.4	22.5	30.2	27.3	17.3	8.7	5.6	5.2	0.8	5.9
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	<b>54.8</b>	40.4	27.9	11.5	12.5	14.4	27.9	13.5	<b>23.1</b>	10.6	1.9	-	3.8
	男性・45～49歳	154	<b>51.9</b>	39.0	27.9	5.2	14.3	20.1	27.3	15.6	<b>19.5</b>	8.4	3.2	0.6	5.8
	男性・50～54歳	150	<b>46.0</b>	34.7	26.7	12.0	13.3	21.3	24.7	14.7	12.7	11.3	4.0	-	6.0
	男性・55～59歳	108	27.8	37.0	29.6	8.3	14.8	22.2	25.9	<b>30.6</b>	9.3	11.1	3.7	0.9	7.4
	男性・60～64歳	125	17.6	46.4	32.0	6.4	16.8	<b>35.2</b>	23.2	24.0	6.4	6.4	4.0	0.8	8.8
	男性・65～69歳	133	7.5	<b>54.9</b>	28.6	11.3	<b>27.1</b>	25.6	17.3	<b>30.8</b>	1.5	6.0	3.0	1.5	9.8
	女性・40～44歳	149	<b>43.6</b>	48.3	28.2	8.7	19.5	17.4	28.9	15.4	14.8	6.0	2.7	1.3	4.7
	女性・45～49歳	109	30.3	45.0	31.2	4.6	18.3	<b>37.6</b>	27.5	15.6	12.8	10.1	4.6	0.9	8.3
	女性・50～54歳	146	32.2	<b>63.0</b>	37.0	9.6	21.9	27.4	30.1	19.9	7.5	1.4	7.5	1.4	2.1
	女性・55～59歳	112	17.9	<b>57.1</b>	<b>42.9</b>	10.7	21.4	<b>32.1</b>	25.9	17.0	9.8	6.3	1.8	-	7.1
	女性・60～64歳	138	12.3	<b>60.1</b>	<b>39.1</b>	10.1	<b>26.1</b>	<b>34.8</b>	28.3	21.0	3.6	5.8	7.2	0.7	3.6
	女性・65～69歳	120	6.7	<b>59.2</b>	<b>41.7</b>	5.8	<b>27.5</b>	<b>35.8</b>	21.7	14.2	3.3	5.0	6.7	-	<b>11.7</b>
世帯年収別	200万円未満	78	33.3	48.7	35.9	2.6	20.5	23.1	25.6	19.2	10.3	5.1	2.6	1.3	2.6
	200～400万円未満	246	<b>35.0</b>	52.0	35.8	9.8	17.9	24.8	21.1	17.9	10.6	3.7	4.1	0.4	6.1
	400～600万円未満	301	33.9	52.8	32.2	8.0	19.9	24.9	28.2	21.6	10.0	7.3	4.0	1.3	4.3
	600～800万円未満	220	26.4	50.5	34.5	7.7	19.1	24.5	25.9	20.9	7.7	7.7	6.4	-	10.0
	800～1000万円未満	175	28.6	43.4	29.7	9.1	17.1	28.0	20.0	<b>26.3</b>	13.7	9.7	6.3	-	6.3
	1000～1200万円未満	116	25.9	40.5	29.3	12.9	15.5	28.4	<b>31.9</b>	20.7	12.1	10.3	1.7	0.9	6.0
	1200万円以上	122	18.9	44.3	31.1	10.7	17.2	<b>36.1</b>	27.0	14.8	11.5	5.7	4.9	1.6	8.2
	わからない	155	25.2	49.7	32.9	9.7	<b>25.8</b>	25.2	25.8	14.2	5.8	7.1	2.6	0.6	10.3
職業別	公務員	42	28.6	40.5	23.8	<b>14.3</b>	21.4	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	23.8	14.3	<b>16.7</b>	-	-	2.4
	経営者・役員	32	25.0	53.1	37.5	12.5	6.3	12.5	25.0	18.8	12.5	3.1	3.1	-	9.4
	事務系社員	271	<b>40.6</b>	38.7	28.4	8.1	15.1	29.2	29.9	14.8	<b>16.6</b>	7.4	2.6	0.4	5.9
	技術系社員	171	<b>43.3</b>	37.4	28.1	10.5	15.2	22.2	23.4	21.1	<b>16.4</b>	10.5	2.3	-	4.7
	その他社員	148	<b>41.2</b>	44.6	26.4	8.8	12.2	19.6	24.3	17.6	<b>17.6</b>	9.5	7.4	-	9.5
	自営業	88	28.4	42.0	28.4	4.5	21.6	21.6	21.6	19.3	8.0	3.4	4.5	1.1	10.2
	自由業	40	32.5	50.0	32.5	7.5	12.5	22.5	<b>32.5</b>	<b>30.0</b>	-	-	<b>12.5</b>	-	2.5
	専業主婦（主夫）	323	15.8	<b>57.0</b>	35.6	7.1	<b>26.3</b>	<b>31.9</b>	27.9	22.3	6.2	7.1	5.6	1.9	5.6
	パート・アルバイト	208	34.1	<b>58.7</b>	35.6	9.1	20.7	29.3	22.6	12.5	6.3	6.3	3.8	1.0	7.2
	その他	65	<b>35.4</b>	40.0	<b>47.7</b>	6.2	18.5	23.1	13.8	18.5	9.2	4.6	7.7	1.5	7.7
	無職	160	6.3	<b>61.3</b>	37.5	11.9	<b>26.3</b>	26.9	26.3	<b>25.6</b>	3.1	6.3	1.9	-	6.3
居住地別	埼玉県	297	26.9	50.8	30.6	8.4	21.9	26.9	27.6	19.2	10.8	9.1	5.1	1.3	5.1
	千葉県	220	31.4	47.7	29.1	9.5	16.8	25.0	27.3	18.2	8.6	8.6	2.3	0.5	7.3
	東京都	629	28.9	46.1	33.5	9.5	18.4	26.2	24.2	19.6	11.1	6.8	4.9	0.6	6.7
	神奈川県	402	31.6	52.2	34.3	7.2	20.9	28.4	26.1	19.4	9.7	5.7	3.7	0.5	6.7

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」を除く)

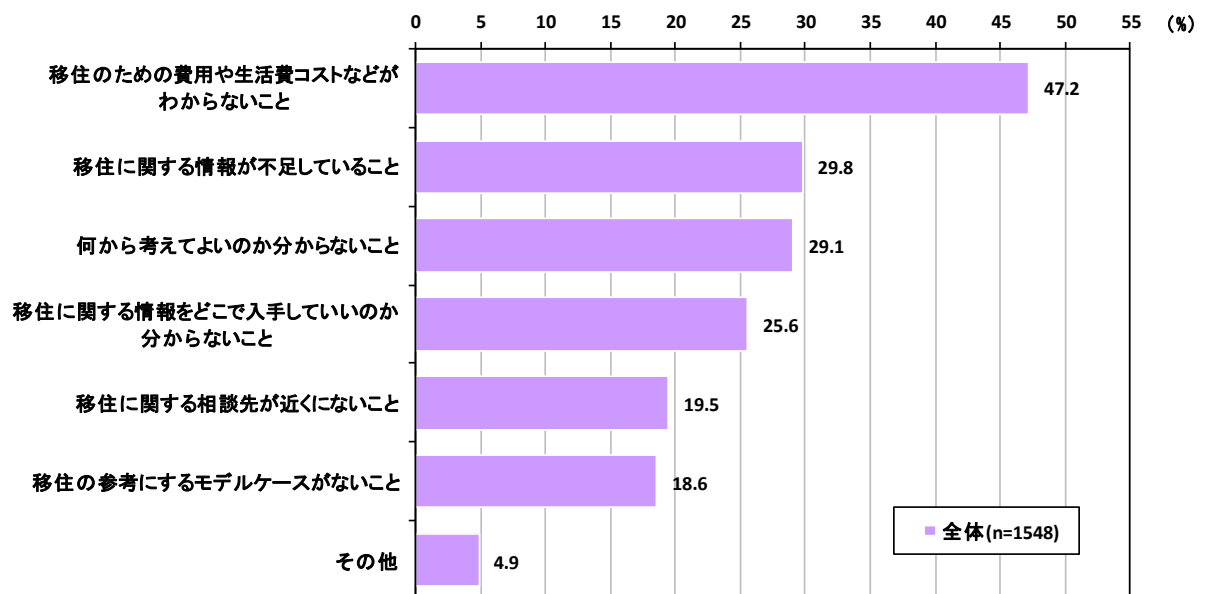
## ②地方移住を検討する上で困っていること

地方での暮らし（移住）を検討する上で困っていることについては、「移住のための費用や生活費コストなどがわからないこと」が 47.2%と最も多い。次いで、「移住に関する情報が不足していること」(29.8%)、「何から考えてよいのか分からないこと」(29.1%)、「移住に関する情報をどこで入手していいか分からないこと」(25.6%)の順となっている。

### 【属性別特徴】

- ・ 性別にみると、男性では「移住に関する情報が不足していること」が 35.4%と多くなっている。
- ・ 性別・年齢別にみると、「移住のための費用や生活費コストなどがわからないこと」は、男性の 60～64 歳 (60.0%)、65～69 歳 (54.1%) で半数を超えている。

地方での暮らし（移住）を検討する上で困っていることは何ですか。（3 つまで）



■ 属性別にみた地方移住を検討する上で困っていること ■

	サンプル数	足移して いること に関する 情報が不 十分	分移 から入 手して いない こと の 情報 を か ど	近移 に 関 する 相 談 先 が	ル移 住 の 参 考 に す る モ デ ル	活移 費住 コスの た め の 費 用 が わ か ら な い こ と	分何 から 考 え て よ い の か	そ の 他	
全体	1548	29.8	25.6	19.5	18.6	47.2	29.1	4.9	
性別	男性	774	<b>35.4</b>	24.4	19.5	46.5	24.4	4.8	
	女性	774	24.3	26.9	19.5	47.9	33.9	5.0	
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	<b>35.6</b>	28.8	16.3	<b>25.0</b>	38.5	25.0	2.9
	男性・45～49歳	154	<b>39.0</b>	25.3	<b>27.3</b>	15.6	37.0	29.2	3.9
	男性・50～54歳	150	33.3	28.7	10.0	13.3	48.7	27.3	4.7
	男性・55～59歳	108	<b>35.2</b>	19.4	22.2	14.8	39.8	29.6	3.7
	男性・60～64歳	125	<b>36.8</b>	20.8	22.4	16.0	<b>60.0</b>	16.0	6.4
	男性・65～69歳	133	32.3	22.6	18.8	17.3	<b>54.1</b>	18.8	6.8
	女性・40～44歳	149	28.9	26.2	22.1	16.8	49.0	33.6	3.4
	女性・45～49歳	109	22.9	24.8	11.9	<b>24.8</b>	43.1	<b>37.6</b>	7.3
	女性・50～54歳	146	20.5	<b>32.9</b>	19.9	21.9	49.3	32.9	6.8
	女性・55～59歳	112	30.4	27.7	14.3	15.2	48.2	33.9	1.8
	女性・60～64歳	138	22.5	26.1	22.5	<b>26.8</b>	49.3	<b>34.1</b>	2.9
女性・65～69歳	120	20.8	22.5	24.2	17.5	47.5	31.7	8.3	
世帯年収別	200万円未満	78	26.9	16.7	21.8	16.7	<b>60.3</b>	29.5	3.8
	200～400万円未満	246	30.5	26.4	21.1	17.9	49.2	25.6	6.1
	400～600万円未満	301	28.9	21.9	20.6	20.9	<b>52.8</b>	28.2	5.3
	600～800万円未満	220	29.1	26.8	20.5	20.9	47.3	26.4	2.3
	800～1000万円未満	175	33.1	29.7	15.4	20.0	42.3	31.4	4.6
	1000～1200万円未満	116	33.6	28.4	17.2	20.7	41.4	23.3	6.0
	1200万円以上	122	<b>39.3</b>	25.4	22.1	14.8	41.8	23.0	4.1
	わからない	155	26.5	20.6	18.7	10.3	42.6	33.5	5.8
職業別	公務員	42	<b>38.1</b>	<b>38.1</b>	<b>28.6</b>	<b>23.8</b>	42.9	23.8	-
	経営者・役員	32	28.1	9.4	6.3	21.9	40.6	<b>34.4</b>	6.3
	事務系会社員	271	<b>35.4</b>	<b>32.5</b>	16.2	18.1	42.1	24.4	4.8
	技術系会社員	171	29.2	25.1	19.9	17.0	43.9	26.3	4.1
	その他会社員	148	<b>37.8</b>	16.2	<b>25.0</b>	18.9	48.0	24.3	5.4
	自営業	88	<b>43.2</b>	23.9	22.7	12.5	45.5	21.6	8.0
	自由業	40	30.0	17.5	22.5	17.5	<b>52.5</b>	27.5	5.0
	専業主婦（主夫）	323	18.9	26.9	18.9	23.2	48.3	<b>37.8</b>	6.5
	パート・アルバイト	208	28.4	24.5	19.2	13.9	50.0	<b>36.5</b>	1.4
	その他	65	33.8	<b>30.8</b>	7.7	21.5	50.8	24.6	6.2
	無職	160	26.9	23.1	23.8	18.1	<b>53.8</b>	24.4	5.6
居住地別	埼玉県	297	29.0	24.9	19.5	18.5	47.8	32.7	3.4
	千葉県	220	31.8	23.2	22.3	17.7	45.0	28.2	5.9
	東京都	629	30.8	25.4	19.4	18.4	46.6	29.1	5.6
	神奈川県	402	27.9	27.9	18.2	19.4	49.0	27.1	4.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」を除く)

#### 4) 移住先の選定について

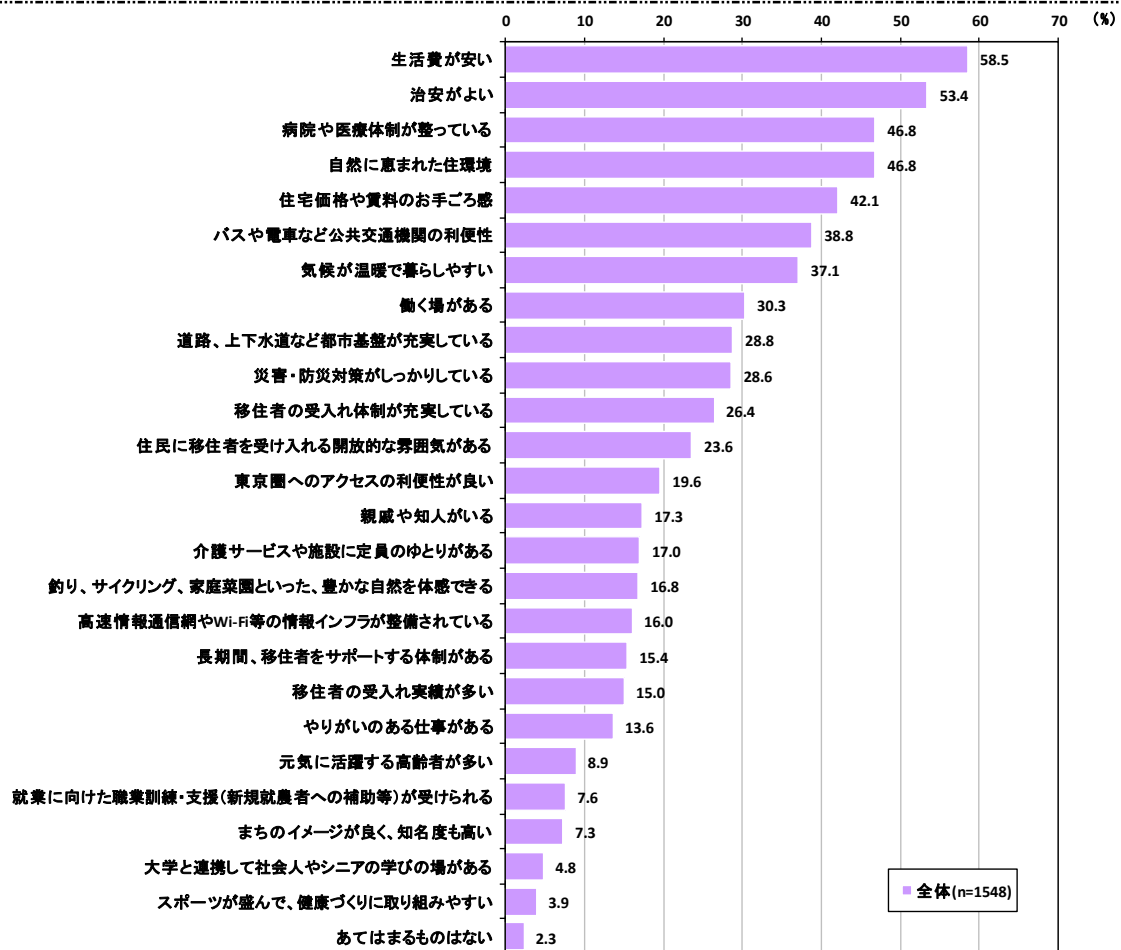
##### ①移住先の候補地選定に必要(重要)な条件

移住先の候補地選定において、必要あるいは重要な条件については、回答者の過半数以上の方が「生活費が安い」(58.5%)、「治安がよい」(53.4%)をあげている。次いで「病院や医療体制が整っている」(46.8%)、「自然に恵まれた住環境」(46.8%)、「住宅価格や賃料のお手ごろ感」(42.1%)、「バスや電車など公共交通機関の利便性」(38.8%)、「気候が温暖で暮らしやすい」(37.1%)、「働く場がある」(30.3%)の順となっている。

##### 【属性別特徴】

- ・ 性別にみると、女性では「生活費が安い」(60.9%)、「治安がよい」(60.9%)に加えて、「病院や医療体制が整っている」(53.5%)も半数を超えている。
- ・ 性別・年齢別にみると、「働く場がある」は男女とも40～44歳、45～49歳で40%を超えている。

移住先の候補地を選定する時、どのような条件が必要あるいは重要ですか。  
(いくつでも)



■ 属性別にみた移住先の候補地選定に必要（重要）な条件 ■

	サンプル数	親戚や知人がいる	働く場がある	やりがいのある仕事がある	等）が受けられる （新規就農者への補助・支援）	就業に向けた職業訓練・支援	病院や医療体制が整っている	介護サービスや施設に定員のゆとりがある	関の利便性	バスや電車など公共交通機関が充実している	道路、上下水道など都市基盤が充実している	高速情報通信網やWi-Fi等の情報インフラが整備されている	感 住宅価格や賃料のお手ごろ	生活費が安い	自然に恵まれた住環境	気候が温暖で暮らしやすい
全体	1548	17.3	30.3	13.6	7.6	46.8	17.0	38.8	28.8	16.0	42.1	58.5	46.8	37.1		
性別	男性	774	15.0	31.1	15.5	8.8	40.2	11.4	31.5	25.8	15.8	41.0	56.2	45.5	27.9	
	女性	774	19.6	29.5	11.6	6.3	<b>53.5</b>	<b>22.6</b>	<b>46.0</b>	31.8	16.1	43.3	60.9	48.1	<b>46.4</b>	
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	20.2	<b>43.3</b>	<b>22.1</b>	8.7	29.8	3.8	28.8	26.0	15.4	37.5	43.3	31.7	16.3	
	男性・45～49歳	154	13.6	<b>47.4</b>	<b>24.7</b>	11.0	37.0	7.1	26.0	26.0	19.5	37.7	53.9	47.4	29.2	
	男性・50～54歳	150	11.3	34.7	14.7	11.3	33.3	11.3	22.7	20.0	14.7	37.3	52.0	42.7	20.0	
	男性・55～59歳	108	13.9	30.6	14.8	10.2	36.1	11.1	27.8	22.2	11.1	41.7	62.0	45.4	26.9	
	男性・60～64歳	125	19.2	17.6	8.8	8.0	48.8	17.6	43.2	29.6	19.2	<b>49.6</b>	<b>65.6</b>	<b>53.6</b>	37.6	
	男性・65～69歳	133	13.5	12.0	7.5	3.0	<b>54.9</b>	16.5	42.1	31.6	13.5	42.9	60.2	49.6	36.1	
	女性・40～44歳	149	20.1	<b>45.0</b>	12.8	7.4	44.3	15.4	37.6	29.5	17.4	<b>48.3</b>	55.7	40.3	<b>44.3</b>	
	女性・45～49歳	109	20.2	<b>40.4</b>	10.1	6.4	49.5	21.1	40.4	29.4	15.6	43.1	<b>64.2</b>	51.4	32.1	
	女性・50～54歳	146	17.1	34.9	17.8	9.6	<b>58.2</b>	<b>22.6</b>	<b>55.5</b>	<b>45.2</b>	<b>22.6</b>	<b>48.6</b>	<b>66.4</b>	47.9	<b>54.1</b>	
	女性・55～59歳	112	19.6	30.4	12.5	6.3	<b>55.4</b>	<b>26.8</b>	<b>44.6</b>	28.6	18.8	41.1	63.4	47.3	<b>50.0</b>	
	女性・60～64歳	138	17.4	17.4	10.1	3.6	<b>59.4</b>	<b>23.9</b>	<b>45.7</b>	26.8	14.5	38.4	60.9	47.8	<b>44.9</b>	
女性・65～69歳	120	<b>24.2</b>	6.7	5.0	4.2	<b>54.2</b>	<b>27.5</b>	<b>51.7</b>	29.2	6.7	38.3	55.0	<b>55.8</b>	<b>50.8</b>		
世帯年収別	200万円未満	78	<b>23.1</b>	30.8	15.4	7.7	41.0	12.8	35.9	17.9	15.4	38.5	<b>69.2</b>	47.4	32.1	
	200～400万円未満	246	17.5	30.9	11.4	8.1	41.1	15.9	40.2	28.5	9.8	41.9	<b>65.4</b>	43.1	35.0	
	400～600万円未満	301	16.6	34.2	14.0	9.6	46.5	16.9	37.9	29.6	18.6	<b>47.8</b>	60.1	46.5	38.2	
	600～800万円未満	220	16.4	30.9	16.8	6.8	46.8	17.3	35.0	25.0	17.3	42.3	59.1	45.9	38.6	
	800～1000万円未満	175	16.0	27.4	13.1	5.7	42.9	16.6	36.0	30.3	13.7	35.4	56.6	48.6	37.1	
	1000～1200万円未満	116	13.8	29.3	12.1	6.0	40.5	12.1	32.8	26.7	8.6	37.9	44.8	44.0	31.0	
	1200万円以上	122	18.9	22.1	10.7	4.9	<b>52.5</b>	21.3	36.1	27.9	<b>23.0</b>	33.6	51.6	48.4	38.5	
	わからない	155	18.1	27.1	14.2	8.4	<b>58.1</b>	14.8	<b>45.8</b>	32.3	16.8	43.2	56.8	49.7	38.7	
職業別	公務員	42	11.9	28.6	11.9	9.5	<b>52.4</b>	19.0	42.9	33.3	<b>21.4</b>	42.9	50.0	<b>52.4</b>	35.7	
	経営者・役員	32	15.6	15.6	15.6	9.4	46.9	18.8	34.4	25.0	<b>25.0</b>	34.4	50.0	<b>53.1</b>	31.3	
	事務系会社員	271	16.6	<b>43.2</b>	13.7	7.0	39.9	13.3	29.9	24.7	11.1	39.1	57.6	43.9	31.7	
	技術系会社員	171	18.7	<b>38.0</b>	<b>19.9</b>	<b>14.0</b>	32.7	11.1	29.8	22.2	18.7	41.5	50.3	38.6	26.9	
	その他会社員	148	12.8	<b>45.9</b>	<b>21.6</b>	12.2	31.8	9.5	27.7	27.0	14.2	37.8	58.1	45.3	31.1	
	自営業	88	21.6	22.7	13.6	2.3	42.0	18.2	36.4	28.4	15.9	46.6	56.8	51.1	37.5	
	自由業	40	20.0	20.0	<b>22.5</b>	2.5	50.0	12.5	42.5	32.5	<b>22.5</b>	<b>47.5</b>	62.5	42.5	35.0	
	専業主婦（主夫）	323	18.9	20.7	8.7	5.9	<b>61.3</b>	<b>26.3</b>	<b>48.9</b>	<b>36.8</b>	19.8	45.8	57.3	48.3	<b>48.9</b>	
	パート・アルバイト	208	18.8	<b>35.6</b>	13.0	6.3	<b>51.9</b>	17.3	42.3	25.5	11.5	39.4	<b>63.9</b>	47.6	38.9	
	その他	65	12.3	32.3	16.9	10.8	41.5	12.3	38.5	29.2	15.4	41.5	<b>70.8</b>	44.6	35.4	
	無職	160	16.9	7.5	6.3	4.4	<b>54.4</b>	18.8	<b>48.8</b>	31.3	16.3	45.6	<b>63.8</b>	<b>54.4</b>	39.4	
居住地別	埼玉県	297	13.1	29.0	12.8	9.4	47.8	18.2	36.4	30.6	14.1	41.8	55.2	44.8	39.4	
	千葉県	220	14.5	30.0	11.8	8.2	41.8	14.1	33.2	26.8	18.2	37.7	55.9	47.3	35.0	
	東京都	629	18.9	31.0	16.7	7.0	45.9	16.4	40.5	28.1	16.5	42.4	59.3	47.9	38.2	
	神奈川県	402	19.4	30.3	10.2	6.7	50.2	18.7	40.8	29.6	15.2	44.3	61.2	46.3	35.1	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

■ 属性別にみた移住先の候補地選定に必要（重要）な条件 ■ （前頁表続き）

		災害・防災対策がしっかりしている	治安がよい	名度のイメージが良く、知名度も高い	菜園といった、豊かな自然を体感できる	釣り、サイクリング、家庭を体感できる	スポーツが盛んで、健康づくりに取り組みやすい	大学の学びの場がある	長期間、移住者をサポートする体制がある	移住者の受入れ体制が充実している	移住者の受入れ実績が多い	開放的な雰囲気がある	住民に移住者を受け入れる	元気に活躍する高齢者が多い	東京圏へのアクセスの利便性が良い	あてはまるものはない
全体		28.6	53.4	7.3	16.8	3.9	4.8	15.4	26.4	15.0	23.6	8.9	19.6	2.3		
性別	男性	20.4	46.0	5.8	19.6	3.7	2.8	14.0	22.5	12.3	17.8	6.1	12.4	3.2		
	女性	<b>36.7</b>	<b>60.9</b>	8.8	14.0	4.0	6.7	16.9	30.2	17.7	<b>29.3</b>	11.8	<b>26.9</b>	1.3		
性別・年齢別	男性・40～44歳	15.4	44.2	6.7	14.4	5.8	4.8	11.5	21.2	14.4	19.2	6.7	10.6	1.0		
	男性・45～49歳	18.2	40.9	2.6	18.8	3.9	2.6	14.3	20.1	13.6	14.3	5.8	11.7	3.9		
	男性・50～54歳	18.0	41.3	4.7	16.0	5.3	2.0	12.0	17.3	10.0	12.0	4.0	8.7	5.3		
	男性・55～59歳	19.4	50.9	3.7	15.7	1.9	-	13.9	13.9	6.5	14.8	2.8	12.0	3.7		
	男性・60～64歳	23.2	52.8	8.0	<b>26.4</b>	3.2	4.0	18.4	<b>35.2</b>	17.6	27.2	8.8	19.2	2.4		
	男性・65～69歳	27.8	48.1	9.8	<b>25.6</b>	2.3	3.8	13.5	27.1	11.3	21.1	8.3	12.8	2.3		
	女性・40～44歳	31.5	54.4	6.7	14.1	2.7	3.4	15.4	29.5	16.1	<b>30.9</b>	7.4	24.2	1.3		
	女性・45～49歳	33.0	56.9	11.0	11.9	1.8	1.8	11.0	22.9	16.5	22.0	6.4	<b>24.8</b>	1.8		
	女性・50～54歳	<b>45.9</b>	<b>64.4</b>	11.0	12.3	6.8	9.6	19.9	<b>34.9</b>	<b>21.9</b>	<b>34.2</b>	13.7	<b>32.2</b>	-		
	女性・55～59歳	<b>40.2</b>	<b>69.6</b>	6.3	12.5	2.7	8.0	19.6	<b>33.9</b>	17.9	25.9	11.6	<b>29.5</b>	1.8		
	女性・60～64歳	<b>35.5</b>	<b>64.5</b>	9.4	17.4	6.5	7.2	18.1	<b>31.9</b>	17.4	<b>32.6</b>	<b>16.7</b>	22.5	2.9		
	女性・65～69歳	33.3	55.8	8.3	15.0	2.5	<b>10.0</b>	16.7	26.7	15.8	27.5	<b>14.2</b>	<b>28.3</b>	-		
世帯年収別	200万円未満	26.9	52.6	6.4	10.3	-	3.8	16.7	<b>33.3</b>	14.1	26.9	9.0	12.8	2.6		
	200～400万円未満	24.0	48.4	4.9	14.6	2.4	4.5	16.3	27.2	15.9	24.4	8.1	18.3	2.0		
	400～600万円未満	30.6	<b>58.5</b>	9.6	19.9	4.3	5.0	16.9	27.2	16.3	27.6	12.6	20.3	1.0		
	600～800万円未満	27.3	48.6	7.3	15.9	4.1	1.4	15.5	26.8	18.6	20.0	5.9	16.4	3.6		
	800～1000万円未満	24.6	50.3	7.4	15.4	5.7	5.1	12.6	21.7	12.6	21.7	10.3	21.7	1.1		
	1000～1200万円未満	22.4	42.2	6.0	12.9	6.9	6.0	12.1	21.6	6.9	19.0	8.6	16.4	4.3		
	1200万円以上	<b>36.1</b>	54.9	8.2	21.3	5.7	7.4	16.4	27.0	18.0	22.1	8.2	21.3	2.5		
	わからない	33.5	<b>60.0</b>	7.7	17.4	1.3	8.4	14.2	25.2	13.5	24.5	5.8	23.2	1.9		
職業別	公務員	<b>40.5</b>	<b>64.3</b>	7.1	<b>31.0</b>	7.1	2.4	14.3	26.2	16.7	19.0	9.5	11.9	2.4		
	経営者・役員	18.8	37.5	3.1	<b>25.0</b>	-	-	9.4	25.0	9.4	15.6	3.1	15.6	-		
	事務系会社員	21.8	46.5	4.8	14.4	5.2	4.4	15.1	21.4	15.9	16.2	6.3	16.6	3.3		
	技術系会社員	13.5	41.5	6.4	16.4	4.7	1.8	13.5	19.9	9.9	20.5	6.4	11.7	2.9		
	その他会社員	23.6	49.3	4.7	19.6	4.7	4.7	12.2	19.6	12.8	18.2	6.8	12.2	2.7		
	自営業	28.4	53.4	9.1	20.5	1.1	4.5	17.0	<b>33.0</b>	14.8	22.7	8.0	23.9	2.3		
	自由業	30.0	<b>60.0</b>	7.5	12.5	2.5	7.5	17.5	22.5	5.0	20.0	2.5	17.5	2.5		
	専業主婦（主夫）	<b>39.0</b>	<b>63.8</b>	11.5	14.6	5.9	6.2	18.6	30.0	19.5	<b>29.7</b>	13.6	<b>32.5</b>	1.2		
	パート・アルバイト	31.3	56.3	8.2	16.3	1.4	6.7	13.0	31.3	13.9	27.9	11.5	18.8	2.4		
	その他	<b>33.8</b>	44.6	3.1	7.7	3.1	6.2	18.5	27.7	10.8	27.7	7.7	<b>24.6</b>	1.5		
	無職	32.5	<b>59.4</b>	6.9	21.3	1.3	3.8	16.9	31.3	18.1	<b>28.8</b>	8.8	14.4	1.9		
居住地別	埼玉県	30.3	56.2	8.1	17.2	4.7	4.4	16.5	29.3	16.2	<b>28.6</b>	10.1	16.8	1.7		
	千葉県	25.5	50.5	5.5	15.9	0.5	4.5	13.6	25.0	14.1	19.5	5.9	15.0	2.7		
	東京都	31.5	53.1	7.5	14.6	4.5	5.2	15.6	26.1	16.2	25.0	9.7	24.3	2.5		
	神奈川県	24.4	53.5	7.5	20.4	4.2	4.5	15.4	25.4	12.7	19.9	8.5	16.9	2.0		

（注）**太字**は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

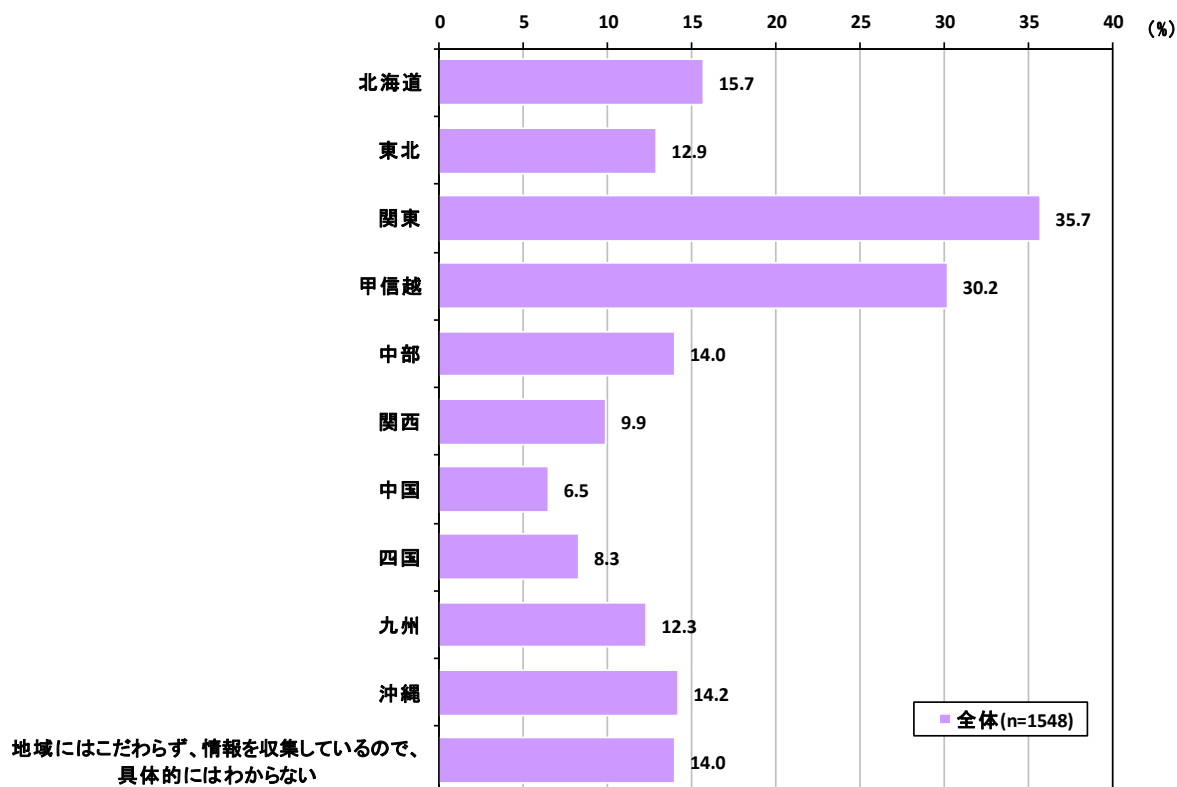
## ②現在想定している候補地

地方移住の候補地では、東京圏近辺の「関東」が35.7%と最も多く、次いで「甲信越」(30.2%)となっている。遠方の地域で多いのは「北海道」が15.7% (3位)となっており、「九州」は12.3% (6位)となっている。

### 【属性別特徴】

- ・ 性別にみると、「九州」は男性14.7%、女性9.9%で、ともに6番目となっている。
- ・ 性別・年齢別にみると、「九州」は男女とも年齢層の中では40～44歳(男性17.3%－女性12.1%)が最も多くなっている。

地方暮らし(移住)の地域として考えている候補地はどこですか。(いくつでも)





■ 属性別にみた現在想定している候補地 ■

		サンプル数	北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄	地域にはこだわらず、情報を収集しているわけではないので、情
全体		1548	15.7	12.9	35.7	30.2	14.0	9.9	6.5	8.3	12.3	14.2	14.0
性別	男性	774	17.2	17.2	35.9	30.2	15.4	9.7	7.5	9.8	14.7	15.0	12.0
	女性	774	14.2	8.7	35.5	30.2	12.5	10.1	5.6	6.7	9.9	13.4	16.0
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	<b>21.2</b>	12.5	39.4	28.8	13.5	9.6	7.7	6.7	<b>17.3</b>	12.5	11.5
	男性・45～49歳	154	16.2	<b>18.8</b>	33.1	27.9	14.3	11.0	7.1	11.0	13.6	<b>20.8</b>	12.3
	男性・50～54歳	150	<b>22.0</b>	<b>19.3</b>	36.7	27.3	18.0	10.0	6.7	12.0	14.0	10.7	14.7
	男性・55～59歳	108	12.0	14.8	32.4	30.6	13.9	11.1	8.3	7.4	12.0	16.7	14.8
	男性・60～64歳	125	16.0	<b>20.0</b>	33.6	30.4	16.8	7.2	8.0	9.6	16.0	<b>19.2</b>	13.6
	男性・65～69歳	133	15.0	15.8	40.6	<b>36.8</b>	15.0	9.0	7.5	10.5	15.8	9.8	5.3
	女性・40～44歳	149	14.8	14.1	31.5	25.5	11.4	8.7	6.0	9.4	12.1	15.4	<b>22.1</b>
	女性・45～49歳	109	17.4	7.3	32.1	30.3	11.9	7.3	4.6	4.6	8.3	13.8	14.7
	女性・50～54歳	146	12.3	6.8	39.7	<b>39.7</b>	11.0	13.7	6.8	8.9	11.0	13.7	11.6
	女性・55～59歳	112	13.4	8.9	32.1	27.7	10.7	10.7	1.8	4.5	9.8	12.5	<b>19.6</b>
	女性・60～64歳	138	15.2	5.1	38.4	22.5	15.2	9.4	5.1	4.3	9.4	15.9	18.1
	女性・65～69歳	120	12.5	9.2	38.3	<b>35.8</b>	15.0	10.0	8.3	7.5	8.3	8.3	9.2
世帯年収別	200万円未満	78	17.9	10.3	30.8	28.2	10.3	7.7	6.4	5.1	9.0	12.8	16.7
	200～400万円未満	246	14.6	13.8	37.4	24.0	13.4	7.3	8.1	8.1	13.8	15.9	15.0
	400～600万円未満	301	14.6	14.0	<b>40.9</b>	31.6	14.0	10.0	4.0	6.6	12.3	10.0	15.6
	600～800万円未満	220	18.6	15.5	34.5	31.4	15.0	12.7	8.6	10.5	11.8	13.6	12.7
	800～1000万円未満	175	14.3	13.7	36.6	33.1	11.4	10.9	6.9	8.6	12.6	18.3	9.1
	1000～1200万円未満	116	<b>20.7</b>	12.1	37.1	31.9	15.5	12.9	7.8	8.6	13.8	17.2	6.9
	1200万円以上	122	19.7	14.8	23.8	<b>35.2</b>	16.4	9.0	4.9	10.7	13.1	15.6	14.8
	わからない	155	12.9	9.0	37.4	30.3	14.2	9.0	6.5	5.8	9.0	11.6	17.4
職業別	公務員	42	<b>23.8</b>	<b>21.4</b>	28.6	21.4	7.1	4.8	7.1	2.4	7.1	19.0	9.5
	経営者・役員	32	12.5	15.6	40.6	<b>40.6</b>	12.5	-	3.1	12.5	6.3	18.8	15.6
	事務系会社員	271	17.7	15.5	39.5	28.4	12.5	9.2	5.5	8.1	11.8	14.0	11.1
	技術系会社員	171	17.0	<b>22.2</b>	33.9	31.0	17.5	10.5	9.4	<b>14.6</b>	<b>20.5</b>	12.9	14.0
	その他会社員	148	15.5	15.5	31.1	31.8	12.2	11.5	8.1	6.8	14.9	18.9	10.8
	自営業	88	11.4	6.8	<b>45.5</b>	34.1	9.1	8.0	5.7	8.0	12.5	13.6	17.0
	自由業	40	12.5	10.0	35.0	25.0	<b>22.5</b>	<b>15.0</b>	10.0	10.0	<b>17.5</b>	17.5	17.5
	専業主婦（主夫）	323	15.5	6.8	34.7	31.6	14.6	11.8	5.9	5.9	10.2	12.4	16.1
	パート・アルバイト	208	12.0	10.1	35.1	30.3	14.9	8.2	4.3	9.1	9.6	12.0	15.4
	その他	65	18.5	9.2	32.3	21.5	12.3	12.3	6.2	6.2	12.3	<b>23.1</b>	13.8
	無職	160	16.9	15.0	35.6	31.3	15.0	9.4	8.1	8.1	11.3	11.9	14.4
居住地別	埼玉県	297	15.2	15.2	34.0	28.3	10.1	9.4	5.7	6.7	12.8	16.2	16.2
	千葉県	220	14.5	12.3	<b>41.8</b>	25.0	9.1	6.8	6.8	8.6	11.8	12.3	16.8
	東京都	629	16.7	13.5	36.6	32.4	15.4	10.3	7.0	10.5	12.2	15.1	11.4
	神奈川県	402	15.2	10.7	32.3	31.1	17.2	11.2	6.2	5.7	12.4	12.4	14.9

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの



## 5) 大分県について

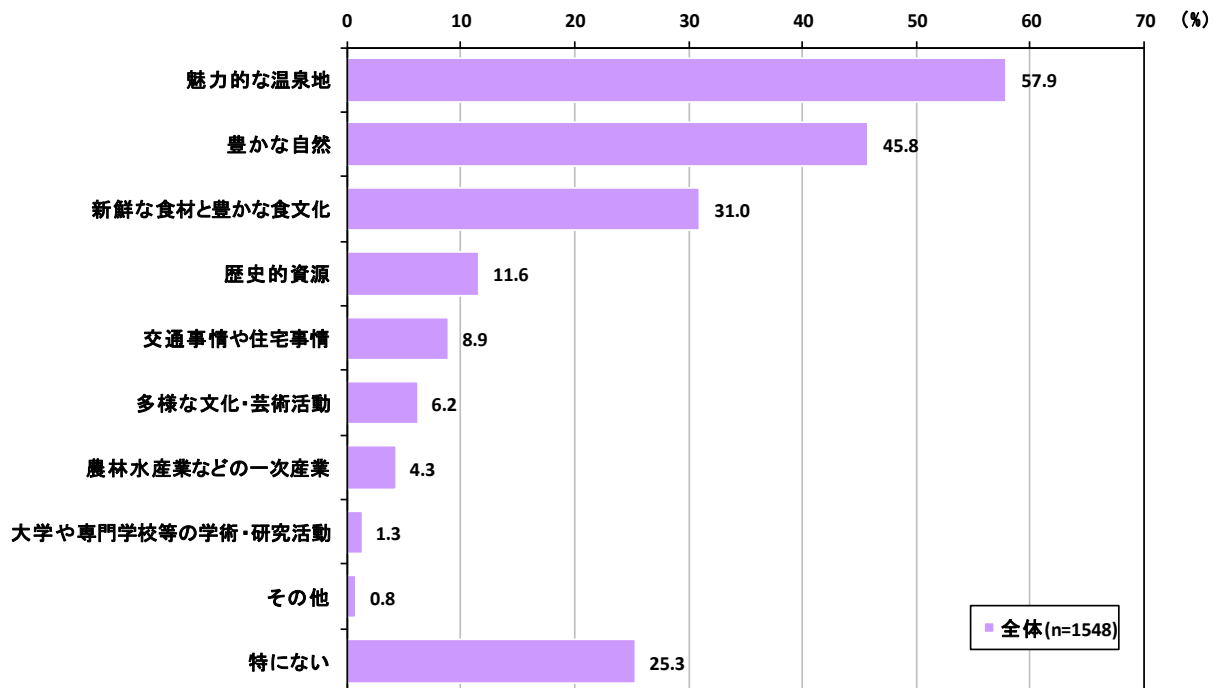
### ①大分県について関心を持っていること

大分県について関心を持っていることは、「魅力的な温泉地」が 57.9%と最も多い。次いで「豊かな自然」(45.8%)、「新鮮な食材と豊かな食文化」(31.0%)となっている。また、「特にない」が 25.3%となっている。

#### 【属性別特徴】

- ・ 性別・年齢別にみると、「魅力的な温泉地」は、女性の 40～44 歳 (63.1%)、45～49 歳 (63.3%) で特に多くなっている。

大分県について関心を持っていることはありますか？(いくつでも)



■ 属性別にみた大分県について関心を持っていること ■

	サンプル数	魅力的な温泉地	豊かな自然	新鮮な食材と豊かな食文化	歴史的資源	多様な文化・芸術活動	交通事情や住宅事情	産業界	農林水産業などの一次産業	大学や専門学校等の学術・研究活動	その他	特にない
全体	1548	57.9	45.8	31.0	11.6	6.2	8.9	4.3	1.3	0.8	25.3	
性別	男性	774	57.0	46.4	28.9	11.4	4.9	9.3	4.9	1.2	0.6	24.8
	女性	774	58.8	45.2	33.1	11.8	7.5	8.5	3.6	1.4	0.9	25.7
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	55.8	50.0	28.8	12.5	6.7	8.7	7.7	2.9	-	19.2
	男性・45～49歳	154	57.8	44.2	27.9	8.4	1.9	6.5	1.3	-	1.3	26.6
	男性・50～54歳	150	52.7	42.0	24.7	8.7	2.7	11.3	3.3	1.3	0.7	26.7
	男性・55～59歳	108	56.5	49.1	25.9	13.9	7.4	9.3	4.6	0.9	-	26.9
	男性・60～64歳	125	56.8	48.0	32.0	12.8	7.2	4.8	4.8	2.4	0.8	25.6
	男性・65～69歳	133	62.4	47.4	34.6	13.5	5.3	<b>15.0</b>	9.0	-	0.8	22.6
	女性・40～44歳	149	<b>63.1</b>	49.7	30.2	7.4	9.4	4.7	3.4	0.7	1.3	19.5
	女性・45～49歳	109	<b>63.3</b>	45.9	33.9	10.1	4.6	10.1	4.6	0.9	-	26.6
	女性・50～54歳	146	56.2	38.4	<b>39.0</b>	11.0	<b>11.6</b>	11.0	1.4	1.4	1.4	23.3
	女性・55～59歳	112	60.7	44.6	32.1	11.6	8.0	8.0	4.5	3.6	0.9	25.9
女性・60～64歳	138	57.2	43.5	29.0	12.3	2.9	6.5	2.9	-	0.7	29.7	
女性・65～69歳	120	52.5	50.0	34.2	<b>19.2</b>	7.5	11.7	5.8	2.5	0.8	<b>30.8</b>	
世帯年収別	200万円未満	78	43.6	26.9	16.7	9.0	3.8	2.6	1.3	-	-	<b>48.7</b>
	200～400万円未満	246	54.9	47.6	28.0	10.6	3.7	7.7	5.7	0.8	1.6	26.8
	400～600万円未満	301	59.1	48.2	34.2	13.6	5.3	10.3	4.0	0.7	0.3	23.6
	600～800万円未満	220	61.8	45.0	30.0	10.9	7.7	11.8	3.2	1.4	-	23.6
	800～1000万円未満	175	58.3	48.6	<b>40.6</b>	10.3	6.9	6.3	5.1	1.7	1.7	20.0
	1000～1200万円未満	116	<b>64.7</b>	46.6	<b>36.2</b>	15.5	10.3	8.6	6.0	2.6	-	17.2
	1200万円以上	122	62.3	<b>57.4</b>	35.2	13.1	8.2	9.8	6.6	1.6	-	19.7
	わからない	155	56.1	41.3	23.9	11.6	4.5	10.3	3.9	1.9	1.9	29.0
職業別	公務員	42	54.8	45.2	31.0	<b>16.7</b>	<b>11.9</b>	7.1	4.8	-	-	21.4
	経営者・役員	32	<b>65.6</b>	<b>59.4</b>	<b>37.5</b>	15.6	<b>15.6</b>	6.3	6.3	-	-	25.0
	事務系会社員	271	59.0	<b>51.7</b>	32.5	11.4	5.9	8.5	6.3	1.5	1.5	18.5
	技術系会社員	171	55.0	49.1	33.3	9.4	7.0	11.1	4.7	1.8	0.6	22.2
	その他会社員	148	59.5	50.0	32.4	14.9	2.7	6.1	2.0	0.7	0.7	20.3
	自営業	88	56.8	50.0	29.5	10.2	6.8	8.0	5.7	-	1.1	26.1
	自由業	40	57.5	35.0	32.5	15.0	<b>15.0</b>	10.0	5.0	<b>7.5</b>	2.5	<b>32.5</b>
	専業主婦（主夫）	323	60.4	43.7	33.4	12.4	7.4	9.9	3.7	1.9	0.6	27.6
	パート・アルバイト	208	59.6	42.3	28.4	11.1	3.8	7.7	2.4	1.0	0.5	27.9
	その他	65	49.2	36.9	24.6	7.7	4.6	10.8	4.6	-	-	<b>32.3</b>
無職	160	53.8	38.8	25.0	9.4	4.4	10.0	4.4	0.6	0.6	<b>32.5</b>	
居住地別	埼玉県	297	56.2	46.5	31.3	12.5	4.7	8.4	4.0	1.3	0.7	24.2
	千葉県	220	54.5	43.2	27.3	10.5	6.4	7.7	4.1	0.5	0.5	<b>31.4</b>
	東京都	629	59.9	47.9	34.2	11.8	7.0	7.9	5.1	1.9	0.8	23.7
	神奈川県	402	57.7	43.5	27.9	11.2	6.0	11.4	3.2	0.7	1.0	25.1

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「その他」を除く)

## ②大分県内市町村の認知度、訪問経験、来訪希望

### (1) 認知度

「別府市」(86.8%)と「大分市」(81.0%)が認知度で突出している。  
認知率が10%以上の市町村は、以下のようになっている。

	認知率 (10%以上)
別府市	86.8%
大分市	81.0%
由布市	48.3%
中津市	29.8%
日田市	29.7%
竹田市	23.4%
国東市	23.2%
臼杵市	22.8%
豊後高田市	22.5%
佐伯市	18.6%
津久見市	14.7%
宇佐市	14.3%
九重町	12.0%
杵築市	11.3%

### (2) 来訪経験

来訪経験は、「あてはまるものはない」が53.2%で半数以上は来県経験がない。  
また、来訪経験率が10%を超えた市町村は、「別府市」(39.4%)、「大分市」  
(27.5%)、「由布市」(17.7%)の3市となっている。

### (3) 再来訪希望

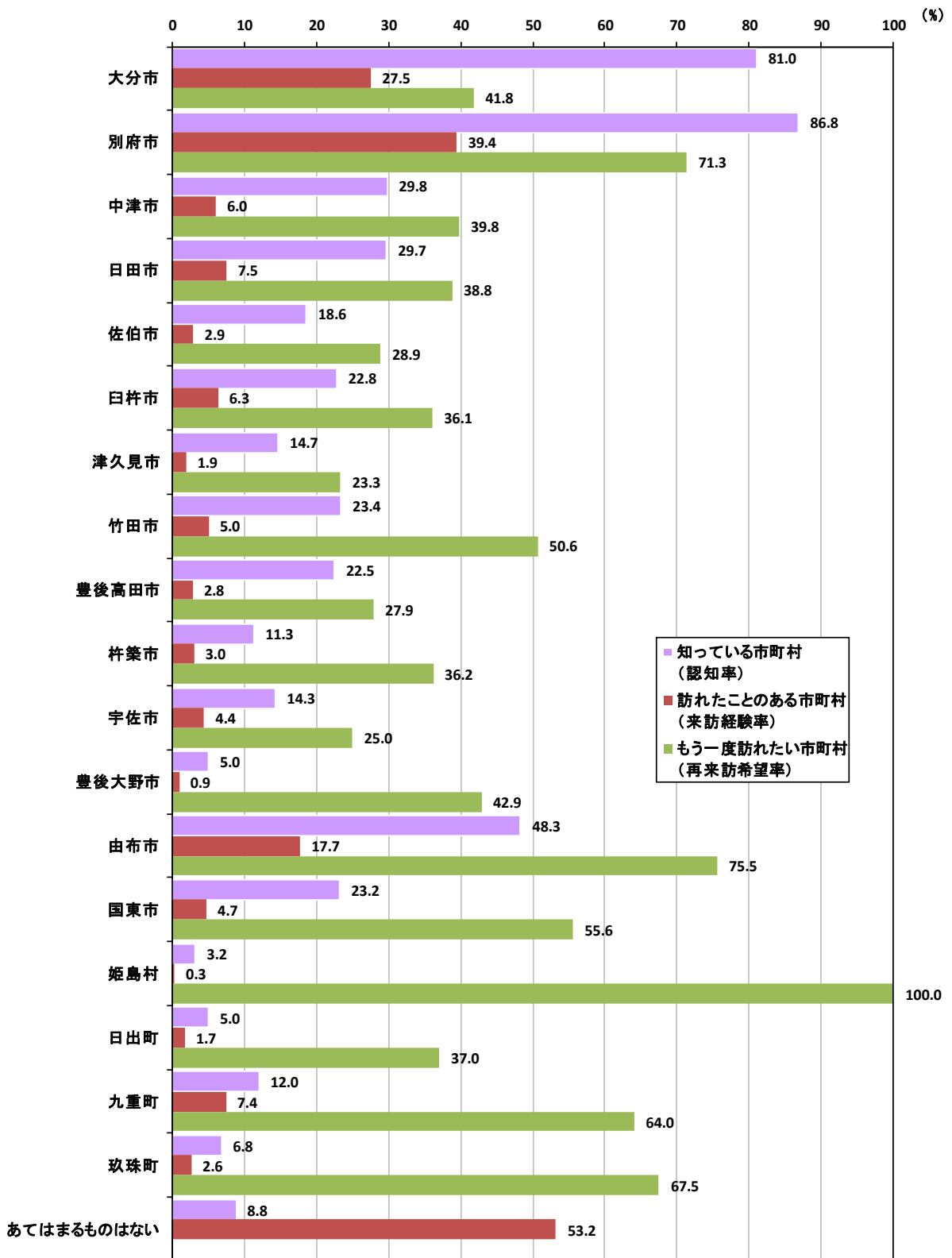
再来訪希望率(※)が高いのは、「姫島村」(100.0%)、「由布市」(75.5%)、「別  
府市」(71.3%)、「玖珠町」(67.5%)、「九重町」(64.0%)の順となっている。

(但し、姫島村は「訪れたことがある」回答者は5人)

(※) 各市町村再来訪希望率=該各市町村にもう一度訪問したい人数÷該各市町村に来訪経験がある人数

	再来訪希望率 (50%以上)
姫島村	100.0%
由布市	75.5%
別府市	71.3%
玖珠町	67.5%
九重町	64.0%
国東市	55.6%
竹田市	50.6%

- 知っている市町村はどの市町村ですか
- 訪れたことのある市町村はどの市町村ですか
- もう一度訪れたい市町村はどの市町村ですか



■ 属性別にみた大分県内市町村の認知状況 ■

	サンプル数	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	あてはまるものはない	
全体	1548	81.0	86.8	29.8	29.7	18.6	22.8	14.7	23.4	22.5	11.3	14.3	5.0	48.3	23.2	3.2	5.0	12.0	6.8	8.8	
性別	男性	774	84.5	87.7	<b>36.4</b>	33.7	<b>23.8</b>	25.3	<b>21.8</b>	23.4	22.0	14.0	18.0	5.8	44.1	25.2	4.7	6.3	13.2	7.1	7.6
	女性	774	77.5	85.8	23.3	25.7	13.4	20.3	7.6	23.4	23.0	8.7	10.6	4.3	52.5	21.2	1.8	3.6	10.7	6.6	9.9
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	<b>88.5</b>	88.5	<b>40.4</b>	30.8	23.1	18.3	19.2	13.5	22.1	9.6	16.3	6.7	45.2	19.2	2.9	5.8	8.7	6.7	7.7
	男性・45～49歳	154	85.1	89.6	<b>35.7</b>	27.9	23.4	26.0	15.6	15.6	20.8	14.3	15.6	4.5	41.6	18.2	6.5	5.8	11.0	6.5	7.8
	男性・50～54歳	150	85.3	86.0	32.0	30.0	<b>25.3</b>	23.3	<b>22.0</b>	16.0	17.3	13.3	16.7	8.0	36.7	20.7	2.0	6.0	8.0	5.3	8.0
	男性・55～59歳	108	79.6	84.3	<b>40.7</b>	<b>38.9</b>	16.7	20.4	<b>21.3</b>	<b>28.7</b>	19.4	12.0	13.9	5.6	46.3	26.9	4.6	2.8	12.0	5.6	8.3
	男性・60～64歳	125	80.8	86.4	33.6	<b>35.2</b>	23.2	<b>30.4</b>	<b>22.4</b>	<b>31.2</b>	24.8	<b>17.6</b>	<b>23.2</b>	4.0	44.8	<b>32.8</b>	4.8	9.6	16.0	8.8	9.6
	男性・65～69歳	133	<b>87.2</b>	91.0	<b>38.3</b>	<b>41.4</b>	<b>29.3</b>	<b>31.6</b>	<b>30.8</b>	<b>36.8</b>	<b>27.8</b>	15.8	<b>21.8</b>	6.0	51.9	<b>34.6</b>	6.8	7.5	<b>23.3</b>	9.8	4.5
	女性・40～44歳	149	84.6	87.9	28.9	22.1	15.4	18.8	5.4	16.8	26.2	8.1	10.1	4.7	53.0	13.4	2.7	4.0	9.4	6.7	8.7
	女性・45～49歳	109	<b>87.2</b>	<b>92.7</b>	26.6	25.7	17.4	15.6	6.4	17.4	21.1	7.3	12.8	6.4	50.5	13.8	-	2.8	11.9	7.3	5.5
	女性・50～54歳	146	78.8	88.4	24.7	24.0	10.3	17.1	4.8	24.0	24.0	8.2	8.9	4.1	50.7	16.4	2.1	4.1	11.0	6.2	8.2
	女性・55～59歳	112	73.2	82.1	16.1	27.7	13.4	19.6	7.1	23.2	17.9	5.4	8.0	0.9	<b>58.9</b>	26.8	-	-	6.3	5.4	13.4
	女性・60～64歳	138	67.4	78.3	14.5	23.9	8.7	19.6	7.2	26.8	20.3	8.7	10.1	1.4	44.9	23.9	1.4	3.6	8.7	5.1	<b>14.5</b>
	女性・65～69歳	120	74.2	85.8	28.3	32.5	16.7	<b>31.7</b>	15.8	<b>32.5</b>	<b>27.5</b>	14.2	14.2	8.3	<b>58.3</b>	<b>35.0</b>	4.2	6.7	<b>17.5</b>	9.2	9.2
世帯年収別	200万円未満	78	79.5	83.3	17.9	23.1	16.7	20.5	12.8	21.8	20.5	6.4	6.4	1.3	38.5	21.8	1.3	3.8	11.5	6.4	11.5
	200～400万円未満	246	71.5	79.7	25.2	27.2	18.3	22.0	15.4	25.6	22.4	12.6	13.4	5.3	45.5	20.7	3.3	5.3	9.8	4.9	<b>15.0</b>
	400～600万円未満	301	83.7	88.4	33.6	31.6	19.3	22.6	14.6	20.6	24.6	11.3	15.3	6.0	51.5	23.6	4.0	5.6	13.0	7.0	7.0
	600～800万円未満	220	<b>87.3</b>	<b>91.8</b>	28.6	29.1	16.4	24.1	14.1	24.1	18.6	10.0	11.8	3.6	45.9	21.8	1.8	1.8	10.0	4.5	5.5
	800～1000万円未満	175	78.3	84.0	33.7	28.0	14.9	22.3	15.4	20.6	20.0	10.9	15.4	5.7	49.1	24.0	4.0	6.9	9.7	7.4	9.7
	1000～1200万円未満	116	85.3	91.4	31.0	31.9	21.6	26.7	16.4	24.1	19.0	8.6	16.4	7.8	52.6	21.6	2.6	4.3	12.9	8.6	3.4
	1200万円以上	122	<b>86.9</b>	<b>92.6</b>	<b>41.0</b>	<b>43.4</b>	<b>26.2</b>	24.6	<b>24.6</b>	<b>32.8</b>	<b>30.3</b>	<b>17.2</b>	<b>21.3</b>	7.4	<b>56.6</b>	<b>32.8</b>	5.7	8.2	<b>23.8</b>	<b>16.4</b>	4.1
	わからない	155	76.1	81.3	20.0	28.4	16.8	21.9	9.0	25.8	23.9	11.0	11.6	3.2	44.5	23.9	3.9	4.5	9.7	5.8	12.3
職業別	公務員	42	<b>88.1</b>	90.5	<b>35.7</b>	<b>35.7</b>	21.4	<b>33.3</b>	16.7	14.3	<b>31.0</b>	4.8	14.3	4.8	<b>59.5</b>	21.4	2.4	2.4	7.1	2.4	2.4
	経営者・役員	32	78.1	87.5	28.1	21.9	15.6	18.8	15.6	21.9	21.9	6.3	12.5	-	40.6	18.8	3.1	-	9.4	3.1	6.3
	事務系会社員	271	84.9	88.6	32.5	32.8	22.5	25.1	17.3	22.5	21.4	14.4	16.2	5.9	43.2	24.0	5.5	6.3	11.4	7.7	7.4
	技術系会社員	171	84.8	89.5	<b>35.1</b>	31.0	22.2	24.0	<b>22.8</b>	24.6	21.1	15.2	17.0	6.4	43.3	19.9	3.5	4.7	12.9	7.0	8.2
	その他会社員	148	82.4	85.1	<b>39.9</b>	33.8	23.0	18.2	18.2	18.2	23.0	10.8	17.6	8.1	39.2	22.3	2.7	6.1	10.8	9.5	9.5
	自営業	88	83.0	84.1	33.0	28.4	21.6	27.3	17.0	26.1	<b>29.5</b>	13.6	<b>20.5</b>	5.7	<b>54.5</b>	23.9	2.3	8.0	10.2	5.7	9.1
	自由業	40	<b>92.5</b>	<b>92.5</b>	<b>37.5</b>	<b>40.0</b>	<b>25.0</b>	27.5	17.5	<b>32.5</b>	<b>32.5</b>	7.5	15.0	5.0	<b>57.5</b>	22.5	5.0	<b>10.0</b>	10.0	<b>12.5</b>	2.5
	専業主婦(主夫)	323	74.6	86.1	23.2	24.8	10.8	19.5	8.4	25.7	22.0	9.6	11.1	4.0	<b>56.3</b>	22.3	1.9	3.4	11.8	6.5	9.3
	パート・アルバイト	208	78.8	85.1	23.1	21.6	14.4	19.2	7.2	18.3	19.7	9.1	12.5	4.8	49.5	20.2	1.4	4.8	13.5	7.2	11.5
	その他	65	75.4	80.0	21.5	27.7	15.4	16.9	16.9	21.5	13.8	4.6	3.1	-	41.5	21.5	3.1	1.5	7.7	6.2	<b>15.4</b>
	無職	160	81.9	87.5	31.3	<b>38.8</b>	23.1	<b>30.0</b>	17.5	<b>30.0</b>	25.0	13.8	15.0	4.4	48.1	<b>33.8</b>	5.0	5.6	16.3	4.4	7.5
居住地別	埼玉県	297	80.8	86.5	31.6	27.6	22.6	22.6	17.2	25.6	24.2	13.8	16.5	6.1	49.5	21.9	4.0	5.4	11.1	8.1	7.7
	千葉県	220	77.3	85.0	28.6	30.5	15.9	22.7	16.4	23.2	17.7	10.9	11.8	5.5	41.4	25.9	3.6	5.5	14.1	6.8	9.1
	東京都	629	81.2	87.9	29.4	29.7	17.6	23.4	14.0	22.7	23.4	11.4	13.7	5.1	47.4	22.3	2.9	4.1	10.0	6.7	8.6
	神奈川県	402	82.8	86.1	29.9	30.8	18.7	22.1	13.2	22.9	22.4	9.5	14.9	4.0	52.5	24.1	3.0	5.7	14.4	6.2	9.7

(注) **太字**は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

■ 属性別にみた大分県内市町村の来訪経験 ■

	サンプル数	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	のあてはまるものはない	
全体	1548	27.5	39.4	6.0	7.5	2.9	6.3	1.9	5.0	2.8	3.0	4.4	0.9	17.7	4.7	0.3	1.7	7.4	2.6	53.2	
性別	男性	774	<b>32.6</b>	41.6	7.8	8.4	4.1	6.8	3.2	5.7	3.1	3.6	4.7	0.9	15.4	4.8	0.3	2.1	7.1	2.3	49.6
	女性	774	22.5	37.2	4.3	6.6	1.7	5.7	0.6	4.3	2.5	2.5	4.1	0.9	20.0	4.5	0.4	1.4	7.6	2.8	56.8
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	29.8	38.5	4.8	6.7	1.9	1.9	2.9	1.9	-	1.0	1.0	16.3	1.0	-	1.0	2.9	2.9	54.8	
	男性・45～49歳	154	23.4	28.6	5.8	7.8	1.9	3.9	3.2	4.5	2.6	5.2	3.2	0.6	9.7	2.6	0.6	3.2	6.5	2.6	<b>65.6</b>
	男性・50～54歳	150	31.3	39.3	6.0	4.7	6.0	4.7	4.0	4.0	1.3	4.0	5.3	2.0	14.0	0.7	-	2.7	3.3	1.3	50.7
	男性・55～59歳	108	26.9	36.1	7.4	9.3	1.9	6.5	1.9	4.6	3.7	1.9	3.7	1.9	13.0	5.6	-	0.9	9.3	1.9	51.9
	男性・60～64歳	125	<b>38.4</b>	<b>48.8</b>	8.8	<b>12.8</b>	4.8	11.2	4.0	<b>10.4</b>	2.4	5.6	6.4	-	20.0	<b>12.0</b>	0.8	2.4	7.2	3.2	44.0
	男性・65～69歳	133	<b>45.9</b>	<b>59.4</b>	<b>13.5</b>	9.8	7.5	<b>12.8</b>	3.8	7.5	6.8	3.8	7.5	-	20.3	7.5	-	1.5	<b>13.5</b>	2.3	29.3
	女性・40～44歳	149	16.8	24.2	4.0	6.0	2.0	6.0	1.3	4.0	2.0	1.3	2.7	1.3	19.5	4.0	1.3	2.0	7.4	2.7	<b>69.1</b>
	女性・45～49歳	109	18.3	32.1	6.4	4.6	1.8	2.8	-	0.9	2.8	2.8	5.5	1.8	12.8	2.8	-	0.9	8.3	4.6	<b>62.4</b>
	女性・50～54歳	146	27.4	34.2	5.5	5.5	0.7	3.4	-	0.7	0.7	1.4	4.1	-	21.2	2.7	-	2.1	6.2	2.1	<b>59.6</b>
	女性・55～59歳	112	20.5	33.9	1.8	6.3	1.8	1.8	-	1.8	0.9	1.8	-	-	19.6	3.6	-	-	5.4	2.7	<b>58.9</b>
	女性・60～64歳	138	19.6	43.5	-	6.5	2.2	6.5	-	5.8	2.9	2.9	4.3	-	16.7	5.1	-	0.7	6.5	1.4	52.2
	女性・65～69歳	120	<b>32.5</b>	<b>57.5</b>	8.3	10.8	1.7	<b>13.3</b>	2.5	<b>12.5</b>	5.8	5.0	8.3	2.5	<b>30.0</b>	9.2	0.8	2.5	<b>12.5</b>	4.2	36.7
世帯年収別	200万円未満	78	30.8	41.0	1.3	3.8	2.6	3.8	-	3.8	2.6	-	1.3	-	16.7	2.6	-	-	3.8	2.6	52.6
	200～400万円未満	246	17.9	30.5	4.9	5.7	2.4	4.1	0.8	3.7	2.0	2.0	2.8	0.4	15.4	4.5	0.4	0.4	5.7	1.2	<b>62.2</b>
	400～600万円未満	301	26.2	36.2	6.0	9.0	3.3	7.6	2.3	4.7	2.3	3.0	3.0	0.7	17.9	3.0	-	1.3	5.6	1.0	56.8
	600～800万円未満	220	27.3	40.9	5.0	3.2	1.8	5.5	1.4	4.5	2.7	2.3	2.3	0.9	15.9	4.5	0.5	0.9	6.8	1.8	53.2
	800～1000万円未満	175	28.6	36.0	10.3	10.9	4.0	8.6	3.4	5.1	4.0	4.6	6.9	1.7	17.7	<b>9.7</b>	1.1	4.0	8.0	4.6	54.3
	1000～1200万円未満	116	<b>37.9</b>	<b>53.4</b>	5.2	12.1	1.7	9.5	3.4	8.6	6.0	3.4	8.6	3.4	<b>27.6</b>	7.8	-	2.6	8.6	4.3	38.8
	1200万円以上	122	<b>41.0</b>	<b>54.1</b>	10.7	<b>16.4</b>	7.4	9.0	4.1	9.8	2.5	4.1	9.0	0.8	<b>29.5</b>	5.7	0.8	4.9	<b>16.4</b>	7.4	37.7
	わからない	155	24.5	36.8	1.9	3.2	1.9	4.5	0.6	2.6	2.6	4.5	5.8	0.6	9.0	1.9	-	1.9	7.1	1.9	56.1
職業別	公務員	42	<b>33.3</b>	38.1	4.8	7.1	7.1	9.5	4.8	2.4	4.8	2.4	2.4	4.8	21.4	7.1	2.4	2.4	4.8	2.4	50.0
	経営者・役員	32	28.1	43.8	9.4	6.3	3.1	6.3	-	9.4	3.1	3.1	<b>9.4</b>	-	18.8	6.3	3.1	-	6.3	-	50.0
	事務系会社員	271	29.2	39.5	5.5	7.4	1.8	4.1	1.8	4.8	2.2	3.7	4.4	0.7	14.4	4.1	-	2.2	8.5	3.7	51.7
	技術系会社員	171	<b>32.7</b>	36.8	7.6	9.4	4.7	5.8	4.7	4.1	1.8	5.8	4.7	0.6	17.0	3.5	-	2.3	4.1	1.2	52.0
	その他会社員	148	25.7	38.5	8.8	10.8	3.4	3.4	2.0	4.7	5.4	2.0	3.4	2.7	14.2	4.7	0.7	2.0	4.7	4.1	55.4
	自営業	88	28.4	44.3	9.1	4.5	6.8	10.2	2.3	5.7	1.1	2.3	5.7	-	18.2	2.3	-	1.1	9.1	1.1	51.1
	自由業	40	<b>32.5</b>	40.0	10.0	<b>12.5</b>	5.0	7.5	2.5	5.0	2.5	2.5	2.5	-	20.0	7.5	-	5.0	5.0	2.5	50.0
	専業主婦（主夫）	323	24.5	41.2	4.3	7.4	0.9	5.9	0.3	5.3	2.5	2.2	5.0	0.9	<b>22.9</b>	3.7	0.3	0.9	8.4	2.5	53.6
	パート・アルバイト	208	22.1	32.2	5.3	5.8	2.9	6.3	1.9	4.3	2.4	2.4	3.4	1.0	16.3	3.8	0.5	2.4	8.2	2.9	<b>63.9</b>
	その他	65	16.9	27.7	3.1	4.6	3.1	1.5	3.1	3.1	-	3.1	1.5	-	15.4	1.5	-	-	4.6	1.5	<b>60.0</b>
	無職	160	<b>35.0</b>	<b>50.0</b>	5.0	6.9	2.5	<b>12.5</b>	1.3	6.9	5.0	3.1	5.6	-	17.5	<b>10.6</b>	-	1.3	10.0	2.5	41.3
居住地別	埼玉県	297	27.9	37.7	6.7	8.8	4.0	6.4	3.0	6.4	3.0	3.4	4.4	2.0	16.5	3.7	0.3	2.0	7.1	3.4	53.9
	千葉県	220	26.8	37.7	5.0	7.3	2.7	6.4	2.7	3.6	0.9	1.4	2.7	0.9	13.2	5.5	-	1.8	8.2	1.4	55.5
	東京都	629	26.6	39.4	6.2	7.6	3.0	5.9	1.6	5.6	3.3	3.3	4.1	0.6	18.1	4.5	0.3	1.1	6.4	2.9	52.5
	神奈川県	402	29.1	41.5	5.7	6.5	2.0	6.7	1.2	3.7	2.7	3.2	5.7	0.5	20.4	5.2	0.5	2.5	8.7	2.2	52.7

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの

### ③地方移住の候補地として大分県への興味

移住先として「大分県」にどのくらい興味があるか尋ねたところ、「非常に興味がある」は3.8%、「やや興味がある」は22.9%の回答があり、合計すると「興味がある」割合は26.7%である。

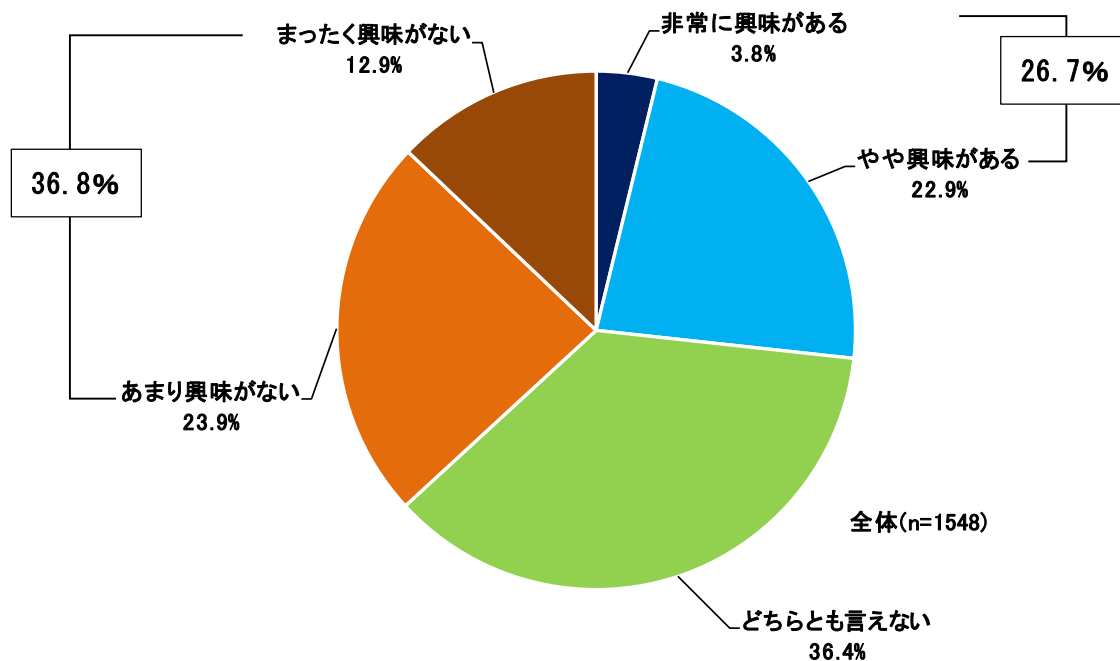
一方、「あまり興味がない」は23.9%、「まったく興味がない」は12.9%、合計すると「興味が無い」割合は36.8%で、興味がある割合を上回っている。

また、「どちらとも言えない」は、最も回答が多く36.4%であった。

#### 【属性別特徴】

- ・ 属性別にみると、興味度（「興味がある小計」－「興味がない小計」）は、男性ではわずかにマイナス、女性でマイナスが大きくなっている。

地方暮らし（移住）の地域として「大分県」にはどの程度興味がありますか。



■ 属性別にみた地方移住の候補地として大分県への興味 ■

	サンプル数	非常に興味がある	やや興味がある	興味がある小計 a	いどちらとも言えない	あまり興味がない	まったく興味がない	興味がない小計 b	興味度 (a-b)	
全体	1548	3.8	22.9	26.7	36.4	23.9	12.9	36.8	▲ 10.1	
性別	男性	774	4.5	25.7	30.2	36.7	22.1	33.1	▲ 2.9	
	女性	774	3.1	20.2	23.3	36.2	25.7	40.6	▲ 17.3	
性別・年齢別	男性・40～44歳	104	5.8	23.1	28.9	40.4	24.0	30.7	▲ 1.8	
	男性・45～49歳	154	5.2	<b>27.9</b>	<b>33.1</b>	40.3	16.2	26.6	6.5	
	男性・50～54歳	150	4.0	19.3	23.3	38.0	28.0	38.7	▲ 15.4	
	男性・55～59歳	108	3.7	24.1	27.8	40.7	17.6	31.5	▲ 3.7	
	男性・60～64歳	125	3.2	25.6	28.8	37.6	22.4	33.6	▲ 4.8	
	男性・65～69歳	133	5.3	<b>33.8</b>	<b>39.1</b>	24.1	24.1	36.9	2.2	
	女性・40～44歳	149	3.4	21.5	24.9	40.9	24.8	34.2	▲ 9.3	
	女性・45～49歳	109	4.6	20.2	24.8	34.9	21.1	40.4	▲ 15.6	
	女性・50～54歳	146	3.4	18.5	21.9	31.5	<b>30.8</b>	<b>46.6</b>	▲ 24.7	
	女性・55～59歳	112	1.8	22.3	24.1	36.6	23.2	39.3	▲ 15.2	
	女性・60～64歳	138	3.6	18.1	21.7	36.2	26.1	15.9	<b>42.0</b>	
	女性・65～69歳	120	1.7	20.8	22.5	36.7	26.7	40.9	▲ 18.4	
世帯年収別	200万円未満	78	-	17.9	17.9	39.7	21.8	<b>20.5</b>	<b>42.3</b>	▲ 24.4
	200～400万円未満	246	2.8	23.2	26.0	38.6	21.1	14.2	35.3	▲ 9.3
	400～600万円未満	301	4.3	21.3	25.6	39.2	23.9	11.3	35.2	▲ 9.6
	600～800万円未満	220	2.7	21.8	24.5	37.7	26.4	11.4	37.8	▲ 13.3
	800～1000万円未満	175	6.3	24.0	30.3	33.1	26.3	10.3	36.6	▲ 6.3
	1000～1200万円未満	116	4.3	26.7	31.0	37.1	26.7	5.2	31.9	▲ 0.9
	1200万円以上	122	6.6	<b>32.8</b>	<b>39.4</b>	22.1	22.1	16.4	38.5	0.9
	わからない	155	4.5	20.0	24.5	37.4	20.6	17.4	38.0	▲ 13.5
職業別	公務員	42	2.4	21.4	23.8	38.1	<b>33.3</b>	4.8	38.1	▲ 14.3
	経営者・役員	32	-	<b>28.1</b>	28.1	37.5	25.0	9.4	34.4	▲ 6.3
	事務系会社員	271	3.7	21.8	25.5	38.0	26.9	9.6	36.5	▲ 11.0
	技術系会社員	171	3.5	25.7	29.2	35.7	23.4	11.7	35.1	▲ 5.9
	その他会社員	148	<b>8.8</b>	25.7	<b>34.5</b>	35.8	18.2	11.5	29.7	4.8
	自営業	88	4.5	<b>29.5</b>	<b>34.0</b>	33.0	12.5	<b>20.5</b>	33.0	1.0
	自由業	40	7.5	17.5	25.0	<b>45.0</b>	15.0	15.0	30.0	▲ 5.0
	専業主婦（主夫）	323	4.0	20.7	24.7	35.6	26.0	13.6	39.6	▲ 14.9
	パート・アルバイト	208	1.4	22.6	24.0	34.6	26.0	15.4	41.4	▲ 17.4
	その他	65	1.5	24.6	26.1	35.4	16.9	<b>21.5</b>	38.4	▲ 12.3
無職	160	3.1	20.6	23.7	38.8	26.3	11.3	37.6	▲ 13.9	
居住地別	埼玉県	297	2.7	<b>27.9</b>	30.6	36.0	22.6	10.8	33.4	▲ 2.8
	千葉県	220	4.1	21.8	25.9	38.6	22.3	13.2	35.5	▲ 9.6
	東京都	629	4.1	23.4	27.5	34.7	23.8	14.0	37.8	▲ 10.3
	神奈川県	402	4.0	19.2	23.2	38.3	25.9	12.7	38.6	▲ 15.4

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの  
**太字** は、全体よりも5ポイント以上小さいもの



### (3) アンケート調査結果のまとめ

- 地方移住を希望する動機や地方での暮らしの中でしてみたいことは、「自然」をキーワードにした回答が多い。さらに、大分県に対する関心は「豊かな自然」とする回答も多い。大分県の有する豊かな自然景観、世界農業遺産を活かした農村景観、リアス式海岸の風景、温暖な気候等の暮らしの魅力を積極的に県外へPRしていくことで、移住先として東京圏在住者の目を向ける効果につながる。
- 地方暮らしで理想とするイメージは、「自然に囲まれた中、広い戸建て住宅で家庭菜園やガーデニングなどを楽しみながらゆったり暮らす」というスタイルを描く人が多い。「空き家」活用の可能性が広がることが期待できるが、リフォーム費用を含めた購入費用は500万円未満とする回答が約4割を占め、費用面で支援策が必要である。
- 「仕事があり、文化施設や生活利便性が確保できる地方都市」というイメージで地方移住を想定している回答も一定程度あることから、各地の中心市街地での「まちなか居住」の想定も必要である。
- 移住先の候補地選定で重要な条件は「生活コスト」、「住宅価格や賃料の値頃感」を上げる人が多い上に、「移住のための費用や生活コスト」がわからないことが移住検討のネックになっている。大分県に移住した場合の移住コスト、生活費の目安等の数字の情報提供は移住者誘致に有効と考えられる。
- 移住先の候補地選定で重要な条件は以下の3項目に整理できる。大分県内の地域特性や既存施設のストック等を活用・工夫することで、これらの項目に対応する環境は十分整備できる。
  - ・生活費の安さ、住宅価格や賃料の値頃感という生活にかかる費用
  - ・病院や医療機関、公共施設、生活インフラなど公共施設等の環境
  - ・自然、温暖な気候、治安のよさなどの暮らしやすい住環境
- 男性と女性とでは、移住先を選定する条件や移住に伴う不安点など異なる傾向があり、移住説明会等では視点を変えた説明や地域PRも必要である。
  - ・移住先の候補地選定では、男性は仕事や所得を、女性は生活利便性や病院や介護施設の立地状況、防災・治安面等の安全・安心とさらに移住者が受け入れやすい地域かどうかなど様々な点を考慮する傾向がある。
  - ・地方移住の住まいの面では、男性は「戸建て」のイメージに偏るが、女性は「戸建て」のほかマンションや公営住宅などの「集合住宅」や「サービス付き高齢

者向け住宅」まで幅広く想定している傾向がある。

- アンケート全体をとおして、東京圏の地方移住に関心のある人が描く、地方暮らしのイメージの要素を大分県は概ね満たしていると捉えられる。東京圏からの距離や公共交通機関の利便性において不利な面もあるが、地域の魅力や暮らしやすさ、移住支援策等をアピールすることで、「大分県」に対する関心は高まると考えられる。

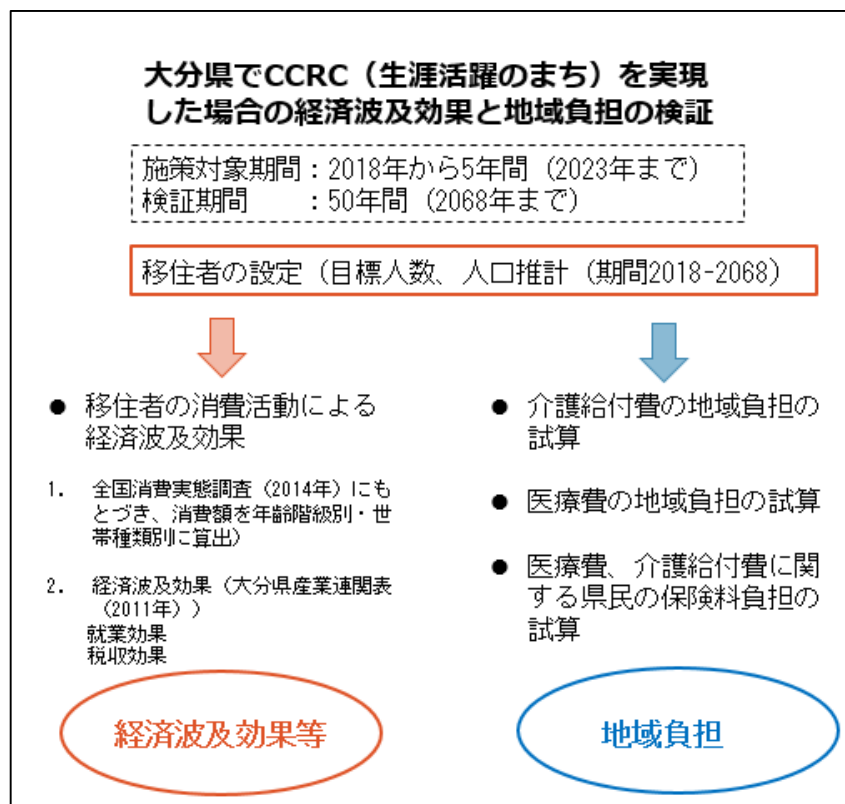
#### 4. 「生涯活躍のまち（CCRC）」の経済波及効果と地域負担の検証

大分県が「生涯活躍のまち（CCRC）」を推進し、東京圏からの移住者が増加した場合によって生じる経済波及効果やそれに伴う雇用や税収への影響と、一方で地域負担として懸念されている医療費や介護給付費の負担について検証を行った。

大分県における「生涯活躍のまち（CCRC）」として考えられるケースとしては、①既存住民が安心して地域で暮らし続ける ②県内で希望に応じたまちなかへの住み替え ③都市圏（東京圏）からの移住の3つが想定される。今回の検証作業においては③都市圏（東京圏）からの移住により生じる経済波及効果や地域負担を検証する。

検証方法としては、まず施策の対象期間を2018年から2023年の5年間と設定し、検証期間を2018年から2068年までの50年間とした。移住者の人数については属性（性別、年齢階級、所得層）等を勘案し「地方移住に関するアンケート調査」の結果を参考にした。経済波及効果については、県内での移住者の購買活動で生じる年間消費額と大分県産業連関表を参考にして求め、地域負担として考えられる介護給付費や移住者の年間医療費は、介護給付費については大分県の介護認定状況をベースに想定される移住者の人口動向から、医療費については「国民医療費」の動向をベースに年間医療費を求めた。

これらの効果及び地域負担について試算し、総合的に「生涯活躍のまち（CRRC）」を推進することによる有用性を検証した。



## (1) 移住者の設定

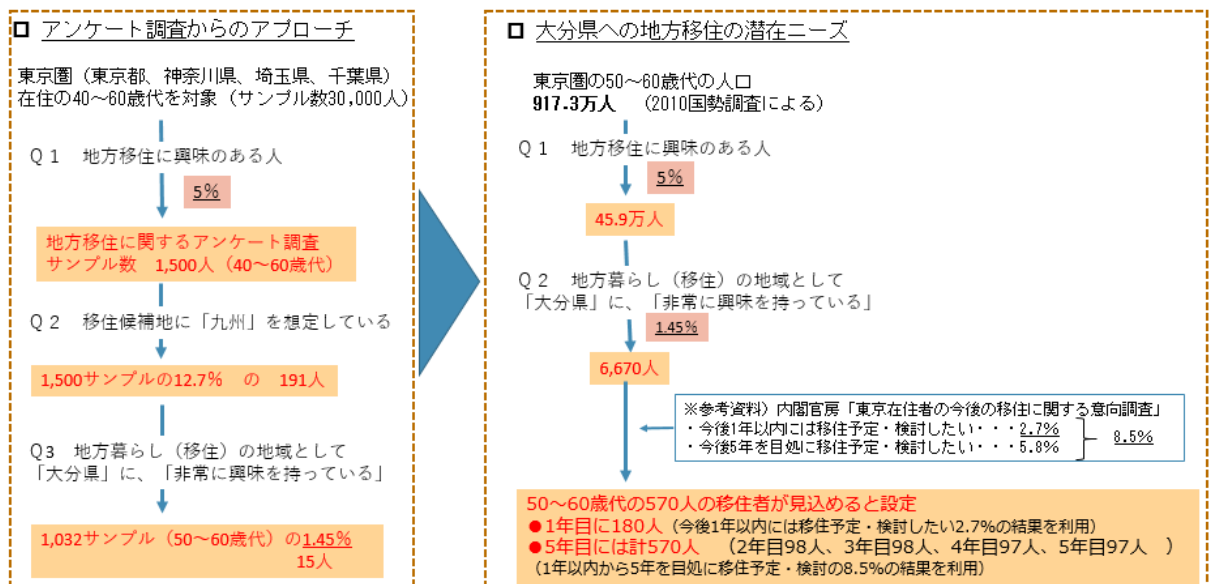
移住者数については、「地方移住に関するアンケート調査（2016年7月実施）」をもとに、大分県への移住ニーズを推計した上で、東京圏からの50歳代、60歳代の移住者数を設定した。

「地方移住に関するアンケート調査」では、東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）在住の40～60歳代のサンプル数30,000人のうち、「地方移住に興味がある」と回答したのは、5%の1,500人であった。次にその1,500人のうち、移住候補地として「九州」を想定していると回答し、さらに地方暮らし（移住）の地域として「大分県」に「非常に興味を持っている」との回答は、50～60歳代の地方移住に興味を持つ回答者のうち1.45%となっている。この結果を、東京圏の50～60歳代の人口約917.3万人に当てはめると、地方移住に興味のある人口は、5%の約45.9万人、その中から地方暮らし（移住）の地域として「大分県」に「非常に興味を持っている」のは1.45%と仮定して6,670人と推計した。

さらに、移住期間を2018年から2023年の5年間とするため、内閣府による「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」から移住を「いつ頃の期間を目処にしているか」という設問の結果を引用し、「今後1年以内には移住予定・検討したい」との回答割合2.7%、「今後5年を目処に移住予定・検討したい」との回答割合5.8%を合わせた8.5%を参考値とする。その結果、50歳代、60歳代の570人の移住者が見込めると試算した。

### 図-移住者人口設定のフロー

- ✓ 地方移住に関するアンケート調査（2016年7月実施）の結果から「大分県を移住候補地」として前向きに考えている人の割合を算出（地方移住に興味のある人のうち1.45%と試算）
- ✓ 現実的に移住を想定している人の割合（内閣府アンケート調査）から、5年以内に大分県に移住する希望を持つ人を570人と試算



移住者の受け入れ期間を2018年から2023年の5年間と設定し、

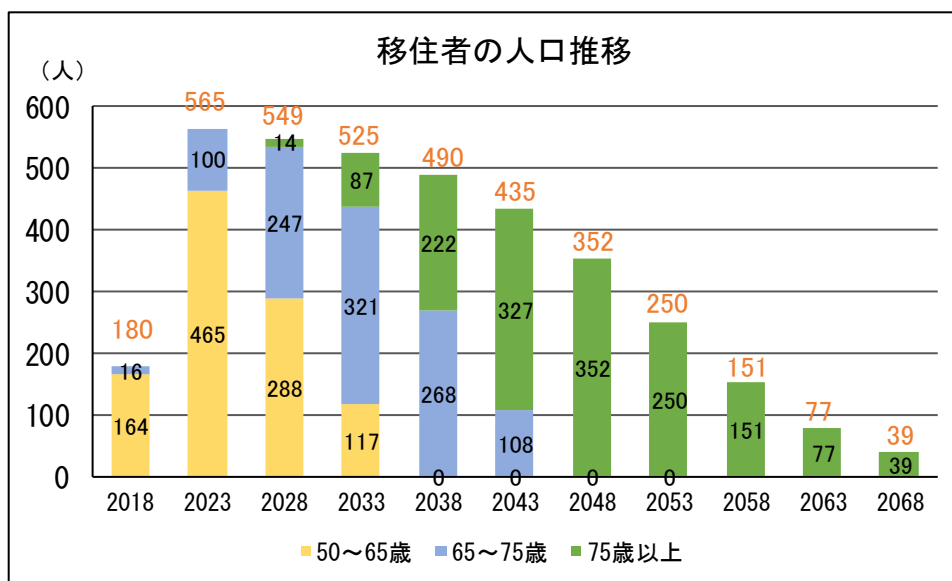
- 1年目の2018年に180人の転入。2年目の2019年から5年目の2023年まで毎年97～98人の転入。5年間で計570人の転入者。
- 男女比は男性:女性=0.56:0.44、年齢階級別人口は大分県人口ビジョン(2015年10月)の人口推計に準じて設定(過去5年間の男女別転入者の実績に基づく)。
- 移住者の介護状況については、移住者の健康状態等が大分県民と同様に変化すると仮定。移住1年目の2018年には、入居者のうち3.8%が介護認定者と想定。

移住者の人口推計

(単位:人)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068
50～54歳	56	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59歳	54	172	120	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	54	172	168	117	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	16	85	166	163	113	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	15	81	158	155	108	0	0	0	0	0
75～79歳	0	0	14	75	146	143	100	0	0	0	0
80～84歳	0	0	0	12	66	127	124	87	0	0	0
85～89歳	0	0	0	0	10	52	99	97	68	0	0
90歳以上	0	0	0	0	0	5	29	66	83	77	39
計	180	565	549	525	490	435	352	250	151	77	39

※推計には国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」の生残率(大分県)を利用。



## (2) 移住者の介護需要の推計

移住者の健康状態等は、大分県民と同様に変化すると仮定し、移住後の介護需要を推計した。推計にあたっては、平成26(2014)年度大分県の要支援・要介護認定状況から年齢階級別要支援・要介護認定率を算出し、移住者の要支援・要介護者数を推計した。

また介護給付費については、大分県の介護保険事業の直近3カ年資料から、一人当たり介護給付費を試算し、年間の介護給付費を推計した。

年齢階級別の要支援・要介護認定率（大分県平成26(2014)年度）

男性

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
65～70歳未満	0.0046	0.0033	0.0049	0.0055	0.0031	0.0033	0.0029
70～75歳未満	0.0084	0.0066	0.0111	0.0097	0.0064	0.0064	0.0052
75～80歳未満	0.0155	0.0123	0.0231	0.0198	0.0123	0.0127	0.0102
80～85歳未満	0.0358	0.0237	0.0459	0.0370	0.0251	0.0242	0.0176
85～90歳未満	0.0674	0.0397	0.0802	0.0669	0.0448	0.0419	0.0289
90歳以上	0.0820	0.0565	0.1299	0.1120	0.0868	0.0846	0.0469

女性

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
65～70歳未満	0.0046	0.0042	0.0040	0.0035	0.0022	0.0021	0.0027
70～75歳未満	0.0127	0.0094	0.0104	0.0075	0.0048	0.0050	0.0047
75～80歳未満	0.0371	0.0228	0.0285	0.0185	0.0110	0.0115	0.0103
80～85歳未満	0.0770	0.0518	0.0628	0.0404	0.0281	0.0283	0.0251
85～90歳未満	0.1051	0.0778	0.1102	0.0818	0.0584	0.0611	0.0497
90歳以上	0.0744	0.0736	0.1370	0.1269	0.1103	0.1382	0.1071

資料) 介護保険事業状況報告(平成26(2014)年度大分県)、性・年齢・要介護度別の要介護認定者数(平成27(2015)年3月末大分県)より試算

一人当たり介護給付費

	(千円/年)
要支援1	245.4
要支援2	463.4
要介護1	993.9
要介護2	1511.3
要介護3	2201.4
要介護4	2611.2
要介護5	3025.3

資料) 大分県の介護給付費資料(平成25～27(2013-2015)年の平均)

移住者の介護給付費の推計

(単位: 人、万円/年)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068
要支援1(人)	1	2	3	6	12	20	22	20	13	6	3
要支援2(人)	1	2	3	6	10	14	15	15	11	6	3
要介護1(人)	1	2	3	6	13	20	24	24	19	11	6
要介護2(人)	1	2	3	6	10	14	19	20	17	10	5
要介護3(人)	1	2	3	4	7	11	15	16	13	8	4
要介護4(人)	1	2	3	4	7	11	16	17	14	10	5
要介護5(人)	1	2	3	4	7	10	12	12	10	7	4
合計	7	14	21	36	66	100	123	124	97	58	30
年間介護給付費(万円/年)	1,105	2,059	3,316	5,064	9,048	13,562	17,602	18,186	14,829	9,520	4,961
都道府県負担分(万円/年)	155	288	464	709	1,267	1,899	2,464	2,546	2,076	1,333	695
市町村負担分(万円/年)	138	257	415	633	1,131	1,695	2,200	2,273	1,854	1,190	620

※地方自治体の負担分の試算には、大分県の負担分は、介護給付費全体を施設サービス: それ以外のサービスを3:7と仮定し、施設サービスの負担率17.5%、それ以外のサービス負担率12.5%で試算。市町村の負担分は、介護給付費に負担率12.5%を乗じて試算。

※県高齢者福祉計画等に影響する推計ではない。

<試算結果>

- 要介護者は 25 年目の 2043 年に 100 人/年程度になり、35 年目の 2053 年には 124 人/年と最も増える。
- 介護給付費が最大になるのは 2053 年の約 1.8 億円/年。地方負担は県が約 2,546 万円/年、市町村が約 2,273 万円/年となる。
- 介護給付費の 50 年間の地方負担費用は、県が約 6.9 億円、市町村が約 6.1 億円となる。

(※ただし、市町村の具体的設定はない)

●必要となる介護人材数の試算

移住者の介護需要推計に応じて必要となる介護人材を推計した。サービス受給者 100 人当たりの介護職員・看護職員配置率は、介護職員数は 34.3 人、介護保険施設・事業所の看護職員数は 6.4 人と仮定した。(2017 年以降の大分県の試算による設定)

推計では、介護人員数は 2048 年から 2053 年がピークとなり年間 42~43 人が、看護職員数は同期間に年間 8 人の確保が必要となる。

必要な介護人材数

(単位：人)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068
要支援・要介護者数	7	14	21	36	66	100	123	124	97	58	30
要介護者	5	10	15	24	44	66	86	89	73	46	24
要介護3以上	3	6	9	12	21	32	43	45	37	25	13
<b>必要な介護職員数</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>23</b>	<b>34</b>	<b>42</b>	<b>43</b>	<b>33</b>	<b>20</b>	<b>10</b>
<b>必要な看護職員数</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>2</b>



### (3) 移住者の医療需要の推計

移住者の医療需要については、各年齢階級に応じ全国平均並に医療費がかかると想定し試算した。移住者の年間医療費を厚生労働省公表の「国民医療費（平成 26（2014）年度）」より「一人当たり国民医療費（全国）」を用いて試算した。

一人当たり国民医療費（千円/年）

	男	女
40～44歳	145.8	159.9
45～49歳	188.5	186.3
50～54歳	246.4	227.3
55～59歳	325.2	272.6
60～64歳	428.8	340.8
65～69歳	544.4	427.3
70～74歳	706.0	573.7
75～79歳	865.8	721.4
80～84歳	1020.5	863.9
85歳以上	1152.9	1004.0

資料）厚生労働省「国民医療費」（平成26（2014）年度）

医療費の推計

（単位：万円/年）

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068
50～64歳	5,079	14,798	10,187	4,577	0	0	0	0	0	0	0
65～74歳	766	5,087	13,360	18,221	15,582	6,990	0	0	0	0	0
75歳以上	0	0	1,082	7,044	18,880	29,438	33,362	25,643	16,113	8,163	4,109
合計	5,845	19,886	24,629	29,842	34,462	36,428	33,362	25,643	16,113	8,163	4,109
都道府県負担分	596	2,028	2,492	2,912	3,162	3,165	2,779	2,136	1,342	680	342
市町村負担分	92	314	462	947	1,819	2,563	2,779	2,136	1,342	680	342

※地方自治体の医療費負担分の試算では、大分県の負担分を「40～74歳」は医療費のうち10.20%、「75歳以上」は医療費のうち8.33%と設定。市町村の負担分を「40～74歳」は医療費のうち1.58%、「75歳以上」は医療費のうち8.33%と設定。

（参考資料：厚生労働省「国保財政の現状」（平成28（2016）年度予算ベース）、後期高齢者医療制度等を参照。なお、「国民医療費」（平成26（2014）年度）では、国民医療費のうち地方自治体の公費負担割合は13%程度。）

※県医療計画等に影響する推計ではない。

#### < 試算結果 >

- 医療費が最大となるのは、25年目の2043年の約3.6億円/年。
- 2043年の地方の負担額は県が約3,165万円/年、市町村が約2,563万円/年（ただし市町村の負担額が最大となるのは、後期高齢者の医療費が最大となる2048年で、約2,779万円/年）。
- 医療費の50年間の地方負担額の内訳は、県が10.3億円、市町村が6.7億円となる。

（※ただし、市町村の具体的設定はない）

#### (4) 県民の保険料負担の推計

移住者の介護給付費や医療費が県内に発生することで生じる県民の保険料負担について試算した。その結果、2043年から2048年の年間約1.2億円が費用負担のピークの時期となり、50年間の累計額は約40.0億円となる。

医療費及び介護給付費に対する県民の保険料負担

(単位：万円)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068	
県民の介護保険料負担	232	432	696	1,063	1,900	2,848	3,696	3,819	3,114	1,999	1,042	
県民の医療費保険料負担	1,520	5,170	6,403	7,759	8,960	9,471	8,674	6,667	4,189	2,122	1,068	50年間累計
合計	1,752	5,602	7,099	8,822	10,860	12,319	12,370	10,486	7,303	4,121	2,110	約40.0億円

※介護給付費の推計の21%（厚生労働省資料により、個別市町村の第1号被保険者分と設定）

※医療費の推計の26%（厚生労働省資料「国保財政の現状」（平成28（2016）年度予算ベース）を参考）

#### (5) 移住者の消費活動による経済波及効果の推計

「生涯活躍のまち（CCRC）」の推進による地域への好影響の一つとして移住者の大分県内での消費活動があると捉え、消費活動によって生じる大分県での経済波及効果を推計した。

経済効果の対象は、移住者の年間消費額とし、年齢階級別、二人以上世帯、単身世帯を考慮し、全国消費実態調査（2014年）のデータに基づき設定した。経済波及効果の推計には、大分県産業連関表（2011年）を用いた。また、経済波及のうち税収効果、就業効果も推計した。

##### <推計結果>

- 50年間累計の経済波及効果 約184.2億円（最大の年は2023年の約6.7億円）
- 50年間累計の税収効果 約5.5億円（最大の年は2023年の約2千万円）
- 50年間累計の就業効果 1,684人（最大の年は2023年の59人/年）

移住者の消費活動による発生需要額

(単位：億円/年間)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068	50年間累計
発生需要額	2.7	8.3	7.6	7.0	6.2	5.4	4.3	3.1	1.9	1.0	0.5	217.7
県内需要額(直接効果)	1.5	4.6	4.3	4.0	3.6	3.2	2.6	1.8	1.1	0.6	0.3	124.7



移住者の消費活動による経済波及効果

(単位：億円/年間、人/年間)

	2018	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053	2058	2063	2068	50年間累計
経済波及効果	2.2	6.7	6.2	5.8	5.3	4.7	3.8	2.7	1.7	0.8	0.4	184.2
雇用効果	20	59	56	53	49	44	36	25	15	8	4	1,684
県・市町村の税収増	0.07	0.20	0.19	0.17	0.16	0.14	0.11	0.08	0.05	0.02	0.01	5.48

※「経済波及効果」及び「県・市町村の税収増」の単位は、億円/年間。「雇用効果」の単位は、人/年間

全国消費実態調査(2014年) 全国 家計収支に関する結果

(単位:円)

		食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出	消費支出計	1ヶ月あたりの消費支出額		
二人以上の世帯	平均	全国	72,280	17,660	20,967	10,136	11,864	12,907	45,136	13,387	29,196	59,350	292,882	233,532	
		埼玉県	74,515	17,261	20,339	9,729	12,147	13,356	45,395	17,525	31,393	56,478	298,138	241,660	
		千葉県	75,420	18,064	20,347	10,428	12,884	13,914	45,381	16,518	33,034	58,870	304,860	245,990	
		東京都	81,418	28,610	20,562	9,802	15,202	14,414	40,859	18,962	35,476	59,106	324,411	265,305	
		神奈川県	78,362	20,209	20,583	10,879	13,625	14,213	46,982	16,373	35,845	59,070	316,141	257,071	
		大分県	62,654	15,651	18,635	10,434	9,985	12,877	43,611	4,876	23,185	64,087	265,995	201,908	
	45～54歳	全国	77,873	16,420	22,596	9,948	14,507	11,314	57,155	36,448	29,918	69,894	346,072	276,178	
		東京都	77,873	16,420	22,596	9,948	14,507	11,314	57,155	36,448	29,918	69,894	346,072	276,178	
		大分県	60,826	13,511	19,423	10,783	12,331	13,106	66,412	15,113	22,640	97,862	332,007	234,145	
	55～64歳	全国	77,745	17,592	22,514	11,665	13,726	13,552	54,198	10,191	30,505	76,660	328,347	251,687	
		東京都	89,675	28,823	22,376	9,621	19,299	16,209	54,322	21,748	36,577	87,963	386,613	298,650	
		大分県	69,609	12,936	19,472	11,576	12,435	11,390	43,112	1,751	26,056	77,174	285,511	208,337	
	65～74歳	全国	72,736	15,015	21,020	10,496	9,414	15,093	37,364	967	30,941	58,006	271,052	213,046	
		東京都	80,553	22,007	20,782	10,582	12,255	14,930	38,043	1,454	38,001	59,891	298,498	238,607	
		大分県	65,378	8,002	19,491	10,998	9,000	16,360	35,085	121	26,203	54,056	244,694	190,638	
	75歳以上	全国	63,608	15,553	20,186	9,081	7,282	15,174	24,477	820	24,248	46,252	226,682	180,430	
		東京都	69,681	22,962	20,320	8,048	8,234	16,325	23,430	238	27,441	42,002	238,681	196,679	
		大分県	53,712	18,544	18,604	11,683	5,755	15,106	31,306	43	19,236	60,418	234,407	173,989	
	単身世帯	平均	全国	39,600	23,888	11,040	5,407	7,206	6,815	21,646	88	21,213	32,821	169,722	136,901
			大分県	35,495	12,832	9,827	4,834	12,576	9,295	22,253	-	19,960	31,596	158,668	127,072
		50～59歳	全国	45849	20891.5	10958	5982	10285.5	8420	30220.5	-	23311.5	44780.5	200,699	155,918
60～69歳		全国	42474.5	18309	11978.5	6145.5	6601.5	8898.5	21666.5	6	23544.5	32409.5	172,034	139,625	
70歳以上		全国	35091	15470	12387.5	5781.5	5138	7780.5	15043	243	19248.5	34422.5	150,606	116,183	

資料) 全国消費実態調査(2014年) (家計支出に関する結果 ※単身世帯は年齢階級別男女別(全国)を加工)

※   経済波及効果の消費支出額として設定  
(消費支出計-その他の消費支出額)

## (6) 「生涯活躍のまち (CCRC)」の経済波及効果と地域負担の検証のまとめ

2018年から5年間の「生涯活躍のまち (CCRC)」の施策実行期間について、50年間の経済波及効果及び地域負担を検証した結果、医療費・介護給付費の地域の財政負担及び県民が負担する保険料等の合計は約70億円となるが、経済波及効果は約184億円と見込まれる。

ただし、移住者の介護状況を推計した結果、要介護3以上の割合が最大となるのは2043年から2053年の施策実行から25～30年後となり、将来的に若干の介護・看護職員不足が予想される。既に現在、介護人材不足の状況が深刻になりつつあることも勘案すると、将来に向けて介護職のキャリア形成や介護ロボット導入による効率化など人材不足に対応する取り組みが課題となると思われる。

医療介護負担の推計については、移住者が移住した自治体に支払う税や社会保険料、また住所地特例の適用を反映させていないため、これらのことを考慮すると財政負担圧縮の余地がある。

項目	経済波及効果の推計結果	項目	地域負担の推計結果
経済波及効果	約184.2億円 (最大の年は2023年の約6.7億円)	医療費・介護給付費の地方負担	約30.1億円 県：約17.3億円 市町村：約12.8億円 (最大の年は2048年の約1.0億円/年)
就業効果	1,684人 (最大の年は2023年の59人/年)	県民の保険料負担 (医療費・介護給付費に対する)	約40.0億円 (最大の年は2048年の約1.2億円/年)
税収効果	約5.5億円 (最大の年は2023年の約2千万円)	必要な介護・看護職員数	2048年に最大の42人の介護職員が必要 2048-2053年に最大の8名の介護保険施設・事業所の看護職員数が必要

## (7) 「生涯活躍のまち (CCRC)」推進の社会的効果

超高齢社会に突入する現在、以下の7つのマクロトレンドがあげられる。(「大分県生涯活躍のまちシンポジウム (2016年11月)」基調講演者の鎌形氏 (株式会社三菱総合研究所) 発言より引用)

- 平均寿命の上昇により、リタイア後のセカンドライフは約10万時間ある
- 団塊世代が後期高齢者となり、社会保障費が増大
- 金融資産の6割は高齢者が保有
- 高齢単身世帯の増加 (特に女性単身者)
- 大都市の超高齢社会問題
- 増え続ける医療・介護費用
- 高次欲求 (つながり、認め合う、自己実現) の実現に向かうシニア層

これらのトレンドから見える「高齢化社会により生じる諸問題」や「医療費及び介護保険給付費の抑制」という課題は、「生涯活躍のまち (CCRC)」によって解決できる

可能性が大いにある。

前述で記載した先進事例では、単に住まいというハード面の提供にとどまらず、アクティブシニア層が趣味や活動を充実できる環境、入居した高齢者の働く場や機会の提供、まちづくりや地域の活動等への主体的な参加、多世代交流の生まれるしくみなど、ソフト面の充実も図っている。これは、高齢者が主体的に地域社会に溶け込み、健康でアクティブな生活を送ることができる多様なコミュニティづくり・まちづくりを展開しようとするものであり、医療・介護給付費等のコスト削減を目指すだけでなく、移住者がもたらす文化的刺激によって生じる地域の活性化、地域課題解決力を持つ多世代コミュニティの強化などの社会的効果を狙っているものと考えられる。

さらに高齢者が生きがいを持ち活動できる場、互いに認め合えるコミュニティができれば、健康寿命の延伸も期待できる。

「生涯活躍のまち（CCRC）」推進による経済波及効果は、期待される効果の一面にすぎない。新たな地域ニーズの掘り起こし、医療・介護分野における継続的ケア体制の構築、多様な社会参加機能や多世代共創機能の充実により再構築される密度の高いコミュニティの形成など、様々な社会的効果を生み出していくものと考えられる。

## 5. 大分県の地域特性を活かした事業モデルの検討

### (1) 生涯活躍のまち（CCRC）を踏まえた大分県の特徴

大分県は「海あり山あり」と豊かな天然自然に恵まれ、さらに「小藩分立」の歴史を経ていることから、県内各地で独特の文化が育まれており、多様な地域力を持っている。

一方でこれからのアクティブシニアは、趣味やライフスタイルにこだわり、向学心を持つなど多様な価値観の中で積極的にチャレンジを続ける新たな世代といえる。多様な地域力を持つ大分県では、そのようなアクティブシニアの好奇心を刺激し、惹きつけるヒト・モノ・コトなどの素材が各地にある。

また、全国平均を上回って高齢化が進んでいることを背景として、先進的な医療・福祉環境の整備、地域包括ケアシステムの構築等を進めている地域もある。

居住環境としては、人口あたりの定員数では全国的に上位の水準にある有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者専用の住まいのほか、庭付きあるいは畑付きの戸建て等の空き家物件も豊富にあり、これら既存ストックを活用することも大分の強みと考えられる。

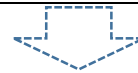
さらに県内には780あまりのNPO法人があり、そのうち300～400法人が「保健・医療・福祉」「まちづくり」「子どもの健全育成」などの目的を掲げ活動している。これらの民間のボランティア・NPO活動を通じて、アクティブシニアの経験や技術などが活かせる場面も十分に提供できるものと期待される。

これら大分県の特徴を勘案すると、今後県内で「生涯活躍のまち（CCRC）」を推進するにあたっては、医療福祉環境の基盤をさらに充実させつつ、多様な地域資源を魅力的なアクティビティとして提供していくとともに、働く環境や地域における活躍機会を提供するプログラムを構築し、地域住民を主体とした「生涯活躍のまち」づくりを進めていくことが重要と考えられる。

なお、本県における「生涯活躍のまち（CCRC）」環境のSWOT分析と、2016年11月17日に開催したシンポジウムにおけるパネリストのコメントを次頁以降に示しておく。

図一 大分県における「生涯活躍のまち（CCRC）」環境のSWOT分析

強み Strength	弱み Weakness
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然と温暖な気候による良好な居住環境</li> <li>・多様で豊富な温泉</li> <li>・田舎暮らしに適した空き家等の住宅のストック（各市町村の空き家バンクの充実）</li> <li>・多種多様な県内各地のNPO・ボランティア活動、地域住民活動等</li> <li>・各市町村の健康づくりの充実</li> <li>・有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅における人口当たり定員数の水準の高さ</li> <li>・国際色豊かな大学や個性的な大学等の立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率の上昇</li> <li>・老年人口のピークアウト</li> <li>・生産年齢人口の減少による、全体的な人手不足</li> <li>・公共交通の利便性の弱さ</li> <li>・介護、医療現場の人材不足の地域格差</li> <li>・東京からの距離及び移動時間の長さ</li> <li>・都市圏在住者の大分に対する情報不足</li> <li>・生涯活躍のまち推進によるアクティブシニア移住者受入れ機運の弱さ</li> <li>・後継者不足による荒廃農地の増加</li> </ul>
機会 Opportunity	脅威 Threat
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生の一環による「生涯活躍のまち（CCRC）」の国の後押し</li> <li>・地方移住や田舎暮らしへの関心の高まり</li> <li>・多様な価値観によるライフスタイルや自己実現の欲求</li> <li>・アクティブシニアの人材活用の広がり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方における都市間競争の激化</li> <li>・膨張する医療・介護の負担</li> <li>・少子化の進行</li> </ul>



<p>&lt;強み×機会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内各地の既存ストック（自然・歴史・文化・学術、医療・福祉施設、居住施設・住民活動）を積極的に活用した「生涯活躍のまち」形成のためのソフト・ハードづくり</li> <li>・生涯現役を目標に、地域活動を通じた健康維持</li> </ul>	<p>&lt;弱み×機会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者向け住宅等のストックの活用</li> <li>・一次産業での活躍機会の創出</li> <li>・コンパクトシティの要素を持つ生活利便性の高い適地選定</li> </ul>
	<p>&lt;弱み×脅威&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のアクティブシニア層の暮らし満足度の向上と県外へのPR活動</li> <li>・ICTを活用した医療福祉ネットワークによる健康管理、医療費の抑制</li> </ul>



## 参 考

## 大分県 生涯活躍のまちシンポジウム概要

開催日時：2016年11月17日（木） 14：00～16：00

場 所：大分県庁本館2階 正庁ホール

主 催：大分県 参加者：130名

概 要：I部基調講演

“生涯活躍のまち（CCRC）”による地域の活性化

株式会社 三菱総合研究所

執行役員 政策・公共部門副部門長 鎌形 太郎 氏

『ごちゃまぜ』のまちづくり ～キーワードは“交流人口”～

社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷 良成 氏

II部パネルディスカッション～大分を舞台に“生涯活躍のまち”を考える～

◎コーディネーター

株式会社 三菱総合研究所

執行役員 政策・公共部門副部門長 鎌形 太郎 氏

◎パネリスト

（福）佛子園 理事長

雄谷 良成 氏

立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 教授

牧田 正裕 氏

（福）暘谷福祉会 常務理事

柿本 貴之 氏

ザ・ジャパン・トラベル・カンパニー（株）役員

クリスティ・美保子 氏

大分合同新聞社 論説編集委員室長

松尾 和行 氏

### ■ パネルディスカッション ～大分を舞台に“生涯活躍のまち”を考える～ 概要

#### ➤ 「生涯活躍のまち（CCRC）」の実現によって、大分に何が生まれるか（期待）

- ・ 元気なお年寄りから介護が必要な方、看取りまでを一つの地域で対応すること、地域の中で一人ぼっちになるお年寄りをなくすという視点が大事。
- ・ アメリカ等のCCRCをそのまま日本に入れることは難しいが、地方の小さな町でも、そのコンセプトは活かせるのではないかと。なんらかの支援が必要な人が、ある一定のエリアに集住して共同生活を行っていく。それを我々や地域住民で支えていくという取り組みにチャレンジしたい。
- ・ 大分県は医療・介護では先進県であるため、県内にある既存の事業所を使い、地域と有機的につながり、共生の場所を作っていきたい。それが、大分県版の生涯活躍のまちづくりにつながると考えている。
- ・ CCRCを最初に耳にしたときは、東京の高齢者を地方へ押し付けるのかと感じた。しかしやり方によっては人口が増え、地域活性化にうまくつながるだろう。
- ・ この施策で最も重要なことは、地域住民の理解。地域住民と移住者との間でコミュニケーションをはかり、互いに理解しあうことが成功の鍵になると考えている。

➤ アクティブシニアを呼び込むために、大分の魅力をどのように提案できるか

- ・ 県外から移住した側からみると、大分県の魅力がよくわかる。空気がきれいで豊かな自然がある。星がきれいに見える。都会の住人には非常に贅沢なもののように感じられる。
- ・ また、地域の人々の温かさに触れることで、自分自身も変わり、人との交流を楽しむようになった。毎日生きることを楽しむ、そしてそれを県外の移住希望者へ発信していく。これが私たちの役割なのかなと思っている。大分県の魅力は、今あるものを発信することで十分に伝わる。
- ・ APU では「GCEP(ジーセップ)」というプログラムがある。企業で働く人が APU へ短期留学し、学生寮で生活しながら大学の授業を受け留学生から言語等を学習する。このプログラムをシニア移住者に応用できると考えられる。

➤ アクティブシニアが地域で活躍できる環境をどのようにつくっていくか

- ・ 例えば、ツアー企画で海外からの観光客は、日本の旅行の中で、地元食材を使った普通の食事など、「日常」の中に感動を覚えるようだ。来る側の視点から地域の魅力を知り、地域の人がそれぞれの役割の中でその魅力に自信を持つことが大切だと思う。
- ・ NPO 法人に着目したい。大分県の NPO 法人認証数は 10 月末時点で 503 と、人口 10 万人あたりでは九州で第 3 位、全国では第 12 位の水準となっている。これは、地域に様々なニーズがあることの裏返しであり、そのニーズに応えるには、様々な経験をしてきたアクティブシニアの活躍が重要になるのではないかと考えられる。
- ・ アクティブシニアに活躍の機会はたくさんある。例えば、APU には 47 都道府県から学生が来ている。そういった学生とともに、地域課題の解決やまちづくりに携わる機会はたくさんある。
- ・ また留学生のホストファミリーとして若い学生と関わったり、お孫さんが大分に帰省したときに APU の学生と交流を図ったりすることもできる。語学のある方には非常勤講師として大学をサポートしていただくことも考えられる。そういった形で様々な人とつながり、そのつながりの中で人生を充実させていくことができるのではないと思う。
- ・ 「最終学歴から最新学習歴へ」がキーワードだと思う。リタイアしたアクティブシニアが最新学習歴を更新していけるような制度が必要である。地域の大学、また農業体験であったり文化学習であったり、様々なことが考えられる。さらに学びの活動の中で、最新学習をした方に対し修了認定をするような制度もほしい。

## (2) 県内市町村の「生涯活躍のまち (CCRC)」の取り組み状況

2016年7月に、県内18市町村に対して「生涯活躍のまち」の取り組み状況についてアンケート調査を実施した。

移住促進策のターゲットとしては、「30歳代～40歳代の子育て世帯」を過半の市町村があげている。一方でアクティブシニアである「50～60歳代の退職前後の世代」をターゲットにしている自治体は2団体にとどまっている。また50、60歳代の中高年者について都市部から特化した移住施策を実施している自治体はなく、一般的な移住施策の中で受入れを行うという回答がほとんどであった。

「生涯活躍のまち (日本版 CCRC)」構想の意義のひとつである「東京圏の高齢化問題への対応」という点に関して、都市部からの中高年者の移住促進による地域への影響をどう考えるか尋ねた。回答では、メリットとしては「人口減少の緩和」「消費増加による地域経済の活性化」をあげる一方で、デメリットに「医療・介護費用の地方負担の増加」「高齢化の加速」が多くあげられた。

アンケート結果から、「生涯活躍のまち (CCRC)」の取り組みの可能性が期待できる市町村として、「その他」の回答内容も含め、「別府市」「臼杵市」「杵築市」「豊後大野市」「豊後高田市」の5市を抽出した。

### アンケート結果

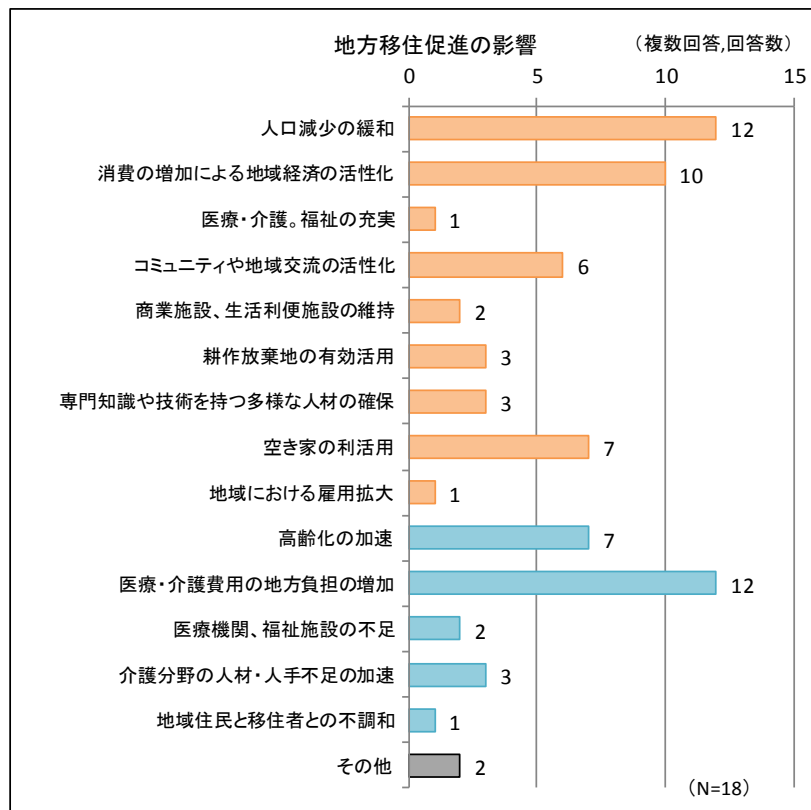
#### ①地方創生総合戦略の中で、移住促進施策のターゲットの位置づけ (市町村数)

	優先順位 1	優先順位 2	備考
20～30 歳代の若者	4	6	20～30 歳代の若者及び 30～40 歳代の子育て世帯を中心との回答が 2 自治体
30～40 歳代の子育て世帯	9	3	
50～60 歳代の退職前後の世代	0	2	
65 歳以上の高齢者	0	0	

#### ②都市部からの中高年者の移住促進施策を実施している市町村。(複数回答無し)

実施している	0 自治体
一般的な移住促進策の中で実施	16 自治体
実施していない	2 自治体

③都市部からの中老年者の移住を促進することで、主にどのような影響が地域にあるとお考えですか。(〇は5つまで)



④「生涯活躍のまち (CCRC)」について、現在どのような取り組みをされていますか。  
(複数回答無し)

今年度、構想策定を予定 (策定中)。	1 自治体
来年度以降、構想策定に入るか検討中。	2 自治体
「生涯活躍のまち (CCRC)」について、どのような取り組みをすればよいかわからない。	1 自治体
「生涯活躍のまち (CCRC)」の具体的な検討の予定なし。	8 自治体
その他	6 自治体※

※「その他」の内、地域独自に CCRC の取り組みを前向きに進める意向と把握できる回答は 2 自治体)

### (3) 大分県の地域特性にあわせたモデルパターンの検討

前述の市町村アンケートを踏まえ、「生涯活躍のまち（CCRC）」の取り組みが期待できる自治体として「別府市」「臼杵市」「杵築市」「豊後大野市」「豊後高田市」の5つの自治体を抽出した。地域の高齢者やアクティブシニアの移住者が主体となって地域に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送るコミュニティづくり・まちづくりに関する幅広い取り組みについて5市にヒアリングを実施し、大分県内の市町村で想定される「生涯活躍のまち（CCRC）」の類型を整理した。

住まいの形態として想定されているのは、空き家活用を前提にしている「既存ストック型」と空き家も活用しつつ新規の住宅整備を行う「新規建設型」の2タイプである。ただし、「新規建設型」は高齢者専用のみではなく若者や子育て世帯など多世代交流を前提としている。

次に高齢者が「健康でアクティブな生活」を実現するためのアクティビティ要素としては、地域の産業や特色と結びつけた次の4項目に整理できる。まず1つ目は地域に立地する「大学連携」による高度で専門性の高い生涯学習の実現、2つ目は地域産業である農業を軸に生産活動・販売促進活動で活躍の場を創出する「地域産業活用型（農業連携）」である。3つ目は、小学校単位の地域コミュニティを再構築あるいは強化することで住民自治活動へ参加を促す「地域コミュニティ連携型」、4つ目は自然環境の活用保全活動など専門的分野で活躍の場を創出する「地域資源活用型（自然・エコ活動）」があげられる。

5つの各自治体が想定する対象エリアは、全市域、全市民を想定した「全域型」と福祉・医療機関との連携の可能性や生活利便施設や公共交通機関が充実し、当該地域の中心市街地的な要素を想定した「コンパクトシティ型」の2つのパターンに分けられる。

これらのモデルパターンを次頁に整理した。

図-大分県の地域特性にあわせたモデルパターンの検討

住まい	アクティビティ要素	エリア展開	
		全域型	コンパクトシティ型
既存ストック型 (空き家活用)	大学連携	別府市 臼杵市	ICT活用による医療・保健・福祉の情報共有化
	地域産業活用型 (農業連携)		
新規建設型	地域コミュニティ連携型	杵築市	豊後高田市 中心市街地の商店街を「高齢者が楽しむおまち」として再生(ソフト機能の充実)
	地域資源活用型 (自然・エコ活動)		
		近隣の医療機関・福祉施設、生活利便施設を積極的に活用したまちづくり	豊後大野市

表-市町村の特性を踏まえた取り組みパターン

類型		概要
展開 エリア	全域型	全市域を対象に、ICT による医療・福祉ネットワークの活用や既存の医療機関、福祉施設の活用をベースに安心して暮らし続けられる環境整備を推進。
	コンパクトシティ型	買い物や公共交通機関、公共施設、教育機関、医療機関、福祉施設等が集積されたコンパクトシティの要素のあるエリアに、地域包括ケアシステムの充実を図り、高齢者の移住地や中山間地からの住み替え地として空き家活用や居住施設を整備。
住まい	新規建設型	居住施設をはじめとする「生涯活躍のまち(CCRC)」の舞台となる施設整備を新規に取り組む。ただし、多世代対応の住宅整備を前提。
	既存ストック型	地域の空き家、マンション・アパートの空室等の既存ストックを活用する。
アクティビティ要素	地域産業活用型 (農業連携)	農業生産活動への参加によって働く場の確保、健康維持、介護予防を図る。
	大学連携型	地域の大学と連携し、市民講座プログラムや単位取得制度を導入し、魅力的な学びの場を創造する。
	地域コミュニティ連携型	小学校区程度の地域コミュニティ組織を確立させ、その単位で地域活動や公民館活動、ボランティアを通じて、地域の中で生きがいを見出し、孤立を防ぐ。
	地域資源活用型	歴史文化、自然、温泉等を活用し、専門性のある活動の場を創造する。



表-市町村の「生涯活躍のまち（CCRC）」の取り組み状況について①

	別府市（政策推進課）	杵築市（政策推進課・福祉推進課）
(1) 想定する「生涯活躍のまち（CCRC）」の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市民ひとりひとりが、生涯活躍できるまち」として地域価値をあげる。</li> <li>・ 地域資源（温泉、歴史文化、医療・福祉機関、医療福祉従事者、太陽の家、大学（iBリーグ））や既存ストック（空き家や福祉施設）を連携・活用し、別府オリジナルの CCRC のソフトを構築。</li> <li>・ 市内をエリア分けし、留学生の多い地区など特色を活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の高齢生産者や農業指導者を活用し、児童養護施設卒園者等を含む若年移住者や地域内外のアクティブシニアを主なターゲットにすることで生産者を増やす。生産物の集配と見守りを合わせて行う流通及び直売の仕組みを確立して「生涯生産者のまちづくり」を進める。</li> <li>・ 高齢者が農業に携わりながら健康を維持し、介護給付費の減少につなげる。</li> </ul>
(2) 移住者の住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家、マンションの空室に加え、施設入居希望者にはサービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの市内の既存ストックを活用。</li> <li>・ 移住希望者のお試し居住に、長期滞在型湯治客用の宿泊施設「貸間」を活用。</li> <li>・ 既に市内の有料老人ホームの中には、県外からの入居者が7割を占める施設もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で医療介護を受けながら安心して住み続けられる候補地としては、「山香庁舎周辺」があげられる。アクティブシニアの移住者には、この地域の空き家を活用する。</li> </ul>
(3) 安心して地域で住み続けられる環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療・保健・福祉の連携による情報の共有化を図る「ゆけむり医療ネット」の拡充と活用。また地域包括ケアシステムの強化を図る。</li> <li>・ 充実した医療機関、安定的に確保できている医療従事者、また多数の社会福祉法人を有している環境を「生涯活躍のまち」に最大限活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山香庁舎に地域包括支援センターがあり、庁舎周辺には市立病院、特別養護老人ホーム等の介護施設、JR中山香駅、小学校や子ども園などの公共施設が揃い、安心して住み続けられる環境となっている。</li> <li>・ 将来的に民間事業者による施設整備の計画があれば、旧山香農高跡地など数箇所の整備候補地がある。</li> </ul>
(4) アクティブ要素として活用できる地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の大学連携「別府 iBリーグ」で、市民講座を開催している。大学の知的資源を活かし、「健康」、「温泉」をテーマに中高年齢層にとって魅力ある市民講座にプログラムを充実させる、専門性を高め単位取得制度など魅力ある「学ぶ」環境を目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の地域資源である農業の生産基盤を活かし、住民自治協議会（小学校区）をベースに福祉と農業を連携した「生涯生産者のまちづくり」を推進する。</li> <li>・ 移住者には、「半農半X」（はんのうはんエックス）を促し、アクティブシニアの移住者には、「生涯生産者のまちづくり」の中で、杵築市で暮らし続けられる環境を築く。</li> <li>・ 高齢者が、健康状態にあった農業生産や加工作業等の就労を行い、地域の経済活動に参加（復帰）する。</li> </ul>

表-市町村の「生涯活躍のまち（CCRC）」の取り組み状況について②

	臼杵市（協働まちづくり推進課）	豊後高田市（社会福祉課）
(1) 想定する「生涯活躍のまち（CCRC）」の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域振興協議会」(小学校区)による地域コミュニティの活性化や「臼杵石仏ネット」を活用した医療・介護サービスの提供などにより子どもから高齢者まで“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるまちづくり”を推進。</li> <li>市民の活躍を大事にし、地域が移住者を受け入れやすく、そして移住者が地域に溶け込みやすい環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「昭和の町」中心市街地活性化の中で、玉津地区を「高齢者が楽しむおまち」というコンセプトでまちづくりを進めている。高齢者の生きがいや働く場、文化講座など玉津地区を拠点に「生涯活躍のまち」のソフト機能を整備している。</li> </ul>
(2) 移住者の住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンク等の利用により、空き家を活用。</li> <li>農業に興味のある人には、田畑付き空き家物件の情報提供や農泊体験を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者にとって利便性の高いエリアとして「玉津地区」を想定しており、アクティブシニア移住には玉津地区の空き家を活用する。</li> <li>玉津の空き家を活用し、市内中山間地で暮らす高齢者の冬場限定のシェアハウスというアイデアも持っている。</li> </ul>
(3) 安心して地域で住み続けられる環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の医療機関、歯科、薬局、介護施設等が ICT で結ばれた「臼杵石仏ネット」をさらに普及促進、機能拡大し、市内で在宅医療を支え安心して暮らし続けられる環境整備に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムを構築し、その中で移住者も対応していく。</li> </ul>
(4) アクティブ要素として活用できる地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域振興協議会」(小学校区)による多様な世代の結びつきの中で地域活動を通じた生きがいづくりの環境がある。移住者も地域コミュニティの中で、生涯学習や公民館活動を通じて生きがいを見出すイメージを持っている。</li> <li>移住者の「仕事探し」には、市内の住みたい場所から 1 時間以内で通える求人情報(他市含む)を臼杵独自のデータベースで検索できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉津地区には「銀鈴堂」「夢結び」「こいこい」など、交流施設、高齢者向けの衣料品店、飲食・物販を配置し、元気高齢者が働くコミュニティカフェや子ども食堂を開設し、子育て世代との交流も図っている。</li> <li>「こいこい」では大分合同新聞社の文化講座や市民講座なども開催。</li> </ul>

表-市町村の「生涯活躍のまち（CCRC）」の取り組み状況について③

豊後大野市（地域創生課・高齢者福祉課）	
(1) 想定する「生涯活躍のまち（CCRC）」の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧緒方工業高校（約 5ha）跡地に「ぶんごるタウン（仮称）」という構想を持っている。構想では、地域包括ケアシステムをベースに介護予防、介護の流れに対応できる居住施設と地域交流センター（緒方支所建替）等の複合交流施設を検討している。（じじばばが元気な生活を継続できる拠点づくり）</li> <li>・ 跡地周辺は、徒歩圏内にスーパーやコンビニ、衣料品店、金融機関、市民病院、小学校、JR駅などの生活利便施設がそろそろコンパクトシティとしての要素がある。その中で、市民の住み替えや若い世代、移住者など多様な人が集まる住まいを供給し、ひとつの「まち」をつくりたい。（事業主体となる民間事業者は未定）</li> </ul>
(2) 移住者の住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居住施設のターゲットは、市内周辺部の高齢者、市内・県外・都市圏の若い子育て世帯そして移住者を想定している。</li> <li>・ 住まいは、戸建てタイプ、長屋のようなタイプとミックスした形が望ましい。</li> <li>・ 敷地内に、ユネスコエコパークのビジターセンターの建設も構想しており、そこで活躍できる自然体験型のプログラマーや自然科学分野に専門性のある人も誘致したい。</li> <li>・ 再生可能エネルギーを活用した（熱電供給）住まいを提供する。</li> </ul>
(3) 安心して地域で住み続けられる環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内には介護福祉施設が多く立地しており、敷地隣接地には市民病院、さらに敷地内に「准看護学院」や「福祉施設」も建設予定である。医療・介護施設や学生（看護）との交流環境が整っており、安心して住み続けることが可能である。</li> </ul>
(4) アクティビティ要素として活用できる地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユネスコエコパークのビジターセンター構想の中では、自然体験プログラマーとしてなど、自然・エコ分野での活躍できる場を想定している。</li> <li>・ 市民農園や農産加工品の製造や販売で雇用の場を確保。</li> <li>・ 構想では、居住者数の目標は200人、100世帯。移住者は半数程度と想定している。</li> </ul>

#### (4) 大分県版「生涯活躍のまち（CCRC）」の目指す姿

大分県内の市町村が「生涯活躍のまち（CCRC）」を推進する場合、さまざまな方向性が考えられるが、これまでの分析結果を勘案すると、大きく次の3つの方向性を目指していくものと考えられる。

##### ➤ 既存施設を活用した医療・福祉との連携による「生涯活躍のまち（CCRC）」の環境づくり

地域包括ケアシステムが構築された環境をベースとして、地域医療のネットワークや既存の福祉拠点を活用し、地域住民や県外から移住したアクティブシニアに対する健康維持・介護予防のサービスを一体的に提供するとともに、医療介護が必要になった場合に備え、地域の医療・福祉機関、行政、事業者等と連携した「継続的なケア」体制を確立していく。

さらに、医療・介護現場の人材・人手不足に対応するため、IT活用による効率化、介護ロボットの導入、キャリア形成を前提とした多様な人材育成なども今後検討していく必要があると思われる。

##### ➤ 地域資源を活用したアクティビティ要素のブラッシュアップ

地域産業、自然環境、大学の立地、住民活動等あらゆるハード・ソフトの地域資源をブラッシュアップし、地域住民の生きがいづくり、学び続ける環境・新たなことに挑戦できる環境、健康でいきいきと暮らせるまちづくりを推進する。

例えば、大学との連携による専門性の高い学習機会の提供、健康医療に関わる学習機会の提供、魅力的な学びの自然体験プログラムの構築、農業生産活動や地域活動への参加等を推進していくことが望まれる。

##### ➤ 地域住民が活躍し安心して暮らし続けられる魅力的な地域づくり

地域の高齢者の生きがい、活躍の場、安心して暮らし続けられる環境づくりをベースとしつつ、他地域の都市部住民にも住みたいと思わせる、移住先としてのブランド力のある地域づくりを目指す。

あわせて、地域住民が移住者を受け入れやすい、あるいは移住者が地域に溶け込みやすい環境づくりも推進し、多様性が生み出す新たな地域の魅力の発見・発信につなげていく。

## (5) 事業モデルの検討 ～豊後大野市による CCRC に向けた取り組み～

ここでは、県内市町村で「生涯活躍のまち（CCRC）」を推進する場合の参考として、豊後大野市における現時点での取り組みを事業モデルとしてケーススタディする。以下は、豊後大野市へのヒアリングを通して事業の概略を整理したものである。

### 1) 生涯活躍のまちの将来像（イメージ）

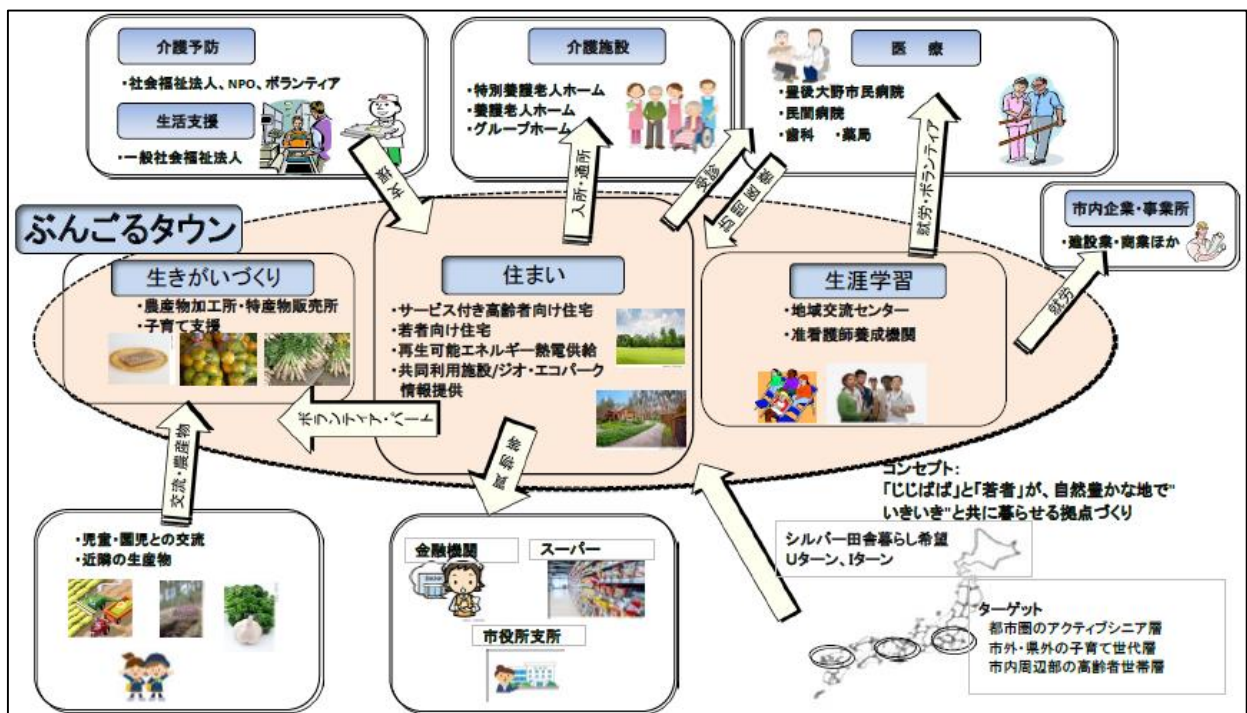
**「じじばば」と「若者」が、自然豊かな地で  
“いきいき”と共に暮らせる拠点づくり**

住み慣れた地域での生活の継続は、「すまいとすまい方」に生活支援・福祉サービスを柔軟に組み合わせていくことが必要であるとの認識のもと、急性期・回復期・慢性期の各状況に応じて、医療機関や福祉・介護施設等の役割や支援体制が「住まう」地域の中にある、地域包括ケアシステムを基盤とした「生涯活躍のまち（CCRC）」を整備していくことを目指している。

また再生可能エネルギーを活用した熱電供給システムを導入した、付加価値のある住まい環境の提供を想定している。

さらに、豊後大野市の進める農商工連携の中で雇用機会の創出や、若者や高齢者、移住者と多様な世帯の住まいづくり、地域医療を支える看護師（准看）の養成機関、自然体験プログラムの実施など「すまい」と「アクティブ要素」のハード・ソフト両面の展開を図ることとしている。

図-豊後大野市版 生涯活躍のまち（CCRC）の拠点づくりのイメージ(案)



資料提供) 豊後大野市



## 2) 拠点づくりの計画エリア・・・・・・豊後大野市緒方町中心部

- ・ JR豊肥線緒方駅があり、豊後大野市民病院、市役所支所、金融機関、スーパーマーケットや大型衣料品店、小学校・保育園等の公共施設や生活利便施設が立地する緒方地域の中心部。

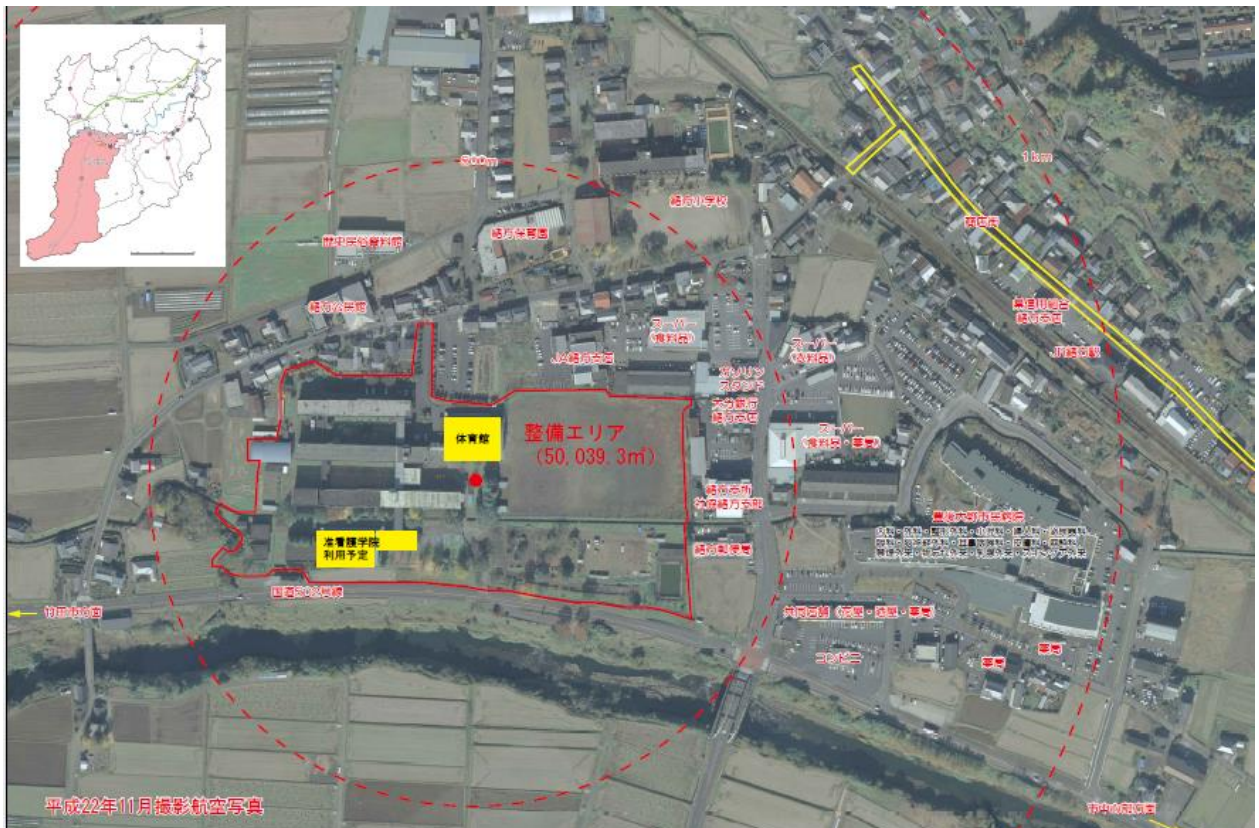
## 3) 生涯活躍のまち（CCRC）“ぶんごるタウン（仮称）”事業敷地

- ・ 旧緒方工業高校跡地 敷地面積 約5ha

## 4) 事業ターゲット

- ✓ 既存の地域住民の安全安心な定住環境
  - ・ 市内の高齢者や若者、子育て世帯が安心して暮らし続けられる。
- ✓ 豊後大野市内からの住み替え
  - ・ 市民がまちの賑わい、社会参加の機会、買い物や公共施設等の生活の利便性を求め、希望して住み替える。
- ✓ 県外からの移住
  - ・ 友好交流都市を結んでいる「東京都台東区」を中心に豊後大野市の魅力をPRし、東京圏の移住希望者を掘り起こし、積極的に誘致する。
  - ・ 関西圏、福岡圏からの移住も推進する。

図-豊後大野市版 生涯活躍のまち（CCRC）“ぶんごるタウン（仮称）”予定地



資料提供) 豊後大野市

5) 導入機能と施設整備方針（案）

導入機能	施設整備方針
居住機能	<p>地域の高齢者、若い子育て世帯など市民の住み替え、また東京圏・関西圏・福岡圏からの移住者を想定。また低層の長屋風住宅や戸建てタイプなどバリエーションを用意し、魅力的な住宅整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建て住宅</li> <li>・サービス付高齢者向け住宅</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <p><b>入居者目標</b> 200人 100世帯</p> </div>
健康・介護予防機能	<p>地域総合型スポーツ団体や高齢者の体操教室を通じて、介護予防・認知症予防、健康維持・増進のための活動支援を行う。</p>
医療・介護機能	<p>必要に応じて介護サービスを受けられるよう介護事業所を配置。地域包括ケアシステムをベースに生活支援を行い、隣接地の「豊後大野市民病院」との連携により万全の介護・医療体制を整える。また、准看護学院の学生との交流を図る。</p>
コミュニティ機能	<p>趣味等のサークル活動、地域の祭りやイベントへの参加により地域住民同士の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民農園</li> <li>・地域交流センター</li> </ul>
社会参加機能	<p>近隣の生産者と連携し食品加工や販売を行う農商工連携事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品加工事業所</li> <li>・小売店舗</li> <li>・准看護師養成機関</li> </ul>
交流・共生機能	<p>豊後大野市の自然との共生、地域との共生が可能な「まち」を創造する。</p>



## 6) 事業効果と地域負担の検証 (概算)

豊後大野市へのヒアリングを踏まえ、県全体の試算に準じ、豊後大野市における事業効果と地域負担を以下のとおり試算した。

### ①設定

- ✓ 推計期間 入居開始から1年目に100人の50～60歳代の移住者が入居すると想定。  
検証期間は50年間。
- ✓ 移住者数の想定 “ぶんごるタウン(仮称)”及びその周辺の空き家等。  
100人 57世帯

移住者の人口推計

(単位:人)

	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	30年目	35年目	40年目	45年目	50年目
50～54歳	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59歳	28	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	25	28	37	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	9	24	27	36	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	9	23	26	35	0	0	0	0	0	0
75～79歳	0	0	8	22	24	32	0	0	0	0	0
80～84歳	0	0	0	7	19	21	29	0	0	0	0
85～89歳	0	0	0	0	6	15	17	24	0	0	0
90歳以上	0	0	0	0	0	3	10	14	20	10	5
合計	100	99	95	91	84	71	56	38	20	10	5

※男女比 男性:女性=0.56:0.44(過去5年間の大分県への転入者の実績に基づく)

### ②医療介護面での影響

- ✓ 算出の前提条件 移住者の健康状態等が大分県民と同様に変化すると仮定し、大分県の要支援・要介護認定率、介護給付費の実績値を利用。
- ✓ 介護人材数については、大分県福祉保健部試算の資料を利用。  
(サービス受給者100人あたりの配置率:2017年以降の介護職員数34.3人、介護保険施設事業所の看護職員数6.4人)
- ✓ 医療費については、厚生労働省公表資料から「一人当たり国民医療費(全国)」を用いた。

必要な介護人材数

(単位:人)

	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	30年目	35年目	40年目	45年目	50年目
要支援・要介護者数	7	14	21	28	30	33	33	28	18	11	7
要介護者	5	10	15	20	21	23	23	20	14	9	5
要介護3以上	3	6	9	12	12	12	11	11	8	5	3
必要な介護職員数	2	5	7	10	10	11	11	10	6	4	2
必要な看護職員数	1	1	2	2	2	3	3	2	2	1	1

医療・介護給付費の地方負担の推移

(単位:千円/年)

	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	30年目	35年目	40年目	45年目	50年目
都道府県負担分	479	698	950	1,169	1,226	1,210	1,122	924	588	345	198
市町村負担分	188	321	536	809	966	1,137	1,051	861	544	317	181

### ●50年間の累計額

	医療費	介護給付費	合計
県負担	1.9億円	2.4億円	4.3億円
市町村負担	1.2億円	2.1億円	3.3億円

### ③移住者の消費活動による経済波及効果の推計

- ✓ 経済効果の対象は、移住者の消費額（年齢階級別、二人以上世帯、単独世帯を考慮して試算）とする。消費額の設定は、全国消費実態調査（2014年）のデータに基づく。（「その他消費支出（諸雑費、交際費、仕送り）」は除く）。
- ✓ 大分県産業連関表（2011年）に基づき推計。したがって経済波及効果は大分県全域への効果。

移住者の消費活動による発生需要額 (単位: 百万円/年間)

	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	30年目	35年目	40年目	45年目	50年目	50年間累計
発生需要額	148.7	137.9	128.7	117.0	105.9	86.9	68.8	47.0	25.1	12.0	6.0	3,826
県内需要額(直接効果)	82.41	76.60	72.30	67.08	61.39	51.36	40.68	27.76	14.83	7.12	3.56	2,196



移住者の消費活動による経済波及効果 (単位: 百万円/年間、人/年間)

	1年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目	30年目	35年目	40年目	45年目	50年目	50年間累計
経済波及効果	120.8	112.5	106.4	99.2	90.9	76.3	60.4	41.2	22.0	10.6	5.3	3,245
雇用効果	10	10	9	9	8	7	5	3	2	1	0	280
県・市町村の税収増	3.67	3.39	3.19	2.94	2.68	2.24	1.77	1.21	0.65	0.31	0.15	96

※「経済波及効果」及び「県・市町村の税収増」の単位は、億円/年間。「雇用効果」の単位は、人/年間

### ④まとめ

地域への効果 (50年間)		地域負担 (50年間)	
経済波及効果	約 32.5 億円	医療費・介護給付費の 地方負担	約 7.6 億円 (うち市町村分 約 3.3 億円)
就業者数	280 人	県民の保険料負担	約 9 億円
税収効果	約 9.6 千万円	必要となる介護職員数 の最大人数	15～35年目に 年間 10～11 人
		必要となる看護職員数 (介護面)の最大人数	25～30年目に 年間 3 人

入居開始後1年目に移住者100人を確保することを前提に、50年間の経済波及効果と地域負担を検証した結果、医療費・介護給付費の地方負担また県民が負担する保険料等の合計約16.6億を上回る、約32.5億円の経済波及効果があると見込まれる。

## 7) 事業の実現に向けて

「豊後大野市版生涯活躍のまち（CCRC） “ぶんごるタウン（仮称）”」の実現には、各専門分野の多様な団体が参画する運営協議会を主体に具体的な事業計画を立案し、将来的には収益性確保のため運営協議会を収益団体とする必要があると考えられる。

運営協議会の構成メンバーは、医療機関、介護事業所、福祉事業所、まちづくり協議会（住民組織）、自治会、市民病院、商工会、教育機関、地元農産加工所、准看護専門学校、地域総合型スポーツ団体等を想定している。

今後は、居住施設の開発を手がける事業主体を選定し、整備区域内の分野の異なる各事業をスムーズに連携させ全体をコーディネートする主体を明確に示す必要がある。

また同時に、入居者確保に向け東京圏や関西圏・福岡圏での移住 PR 活動、移住希望者の掘り起こしなども必要である。

表-豊後大野市基礎データ

人口 (2015年国勢調査速報)	36,584人 15歳未満 10.5%、15～64歳 48.7%、65歳以上 40.8%
産業-総生産 (2013年市町村民経済計算)	市内総生産額 1,043億円 第1次産業 64億円 (6.1%)、第2次産業 205億円 (19.7%) 第3次産業 754億円 (72.4%)
産業-従業者数(事業所数) (2014年経済センサ活動調査)	全従業者数 12,899人 (1,750事業所) ① 医療・福祉 3,025人 (170事業所) ② 卸売業・小売業 2,724人 (492事業所) ③ 製造業 1,688人 (106事業所) ④ 建設業 1,103人 (184事業所) ⑤ 農業・林業 764人 (67事業所)
自然環境等	おおいた豊後大野ジオパーク 神角寺・芹川県立自然公園、祖母・傾県立自然公園、 祖母・傾国定公園 世界ユネスコエコパーク認定に向けた取り組みを実施中

## おわりに

調査研究を通じて、①地方移住に関心のある首都圏アクティブシニアのうち、大分県に興味のある方は約 27%であり、魅力的な温泉地、豊かな自然や食文化、移住支援策の充実等をアピールすることで、さらに関心を高めることができる可能性があること、②移住者の消費活動による経済波及効果は、医療費・介護給付費等の財政負担を大幅に上回るが、長期的に人材不足が課題となる可能性があること、③温泉や医療・介護施設の充実といった大分の強みを活かすとともに、移住者と地域住民が共に活躍できる、魅力的な地域づくりを推進していくことが重要であること、などが確認できた。

もとより、「生涯活躍のまち（CCRC）」は市町村、及び市町村が選定する運営推進法人が主体となって推進するものである。今後は市町村が本報告書を参考としながら、それぞれの地域特性を活かした、魅力的な CCRC を検討していくことが望まれる。

県においても、調査研究の次のステップとして、産学官連携による推進母体の設置や、「移住する側」「される側」それぞれの理解促進と機運醸成に向けたセミナー開催等に取り組み、CCRC に意欲的な市町村をこれまで以上に支援していく。



参 考

大分県CCRC(生涯活躍のまち)研究会委員名簿

No.	職名	氏名	備考
1	大分大学福祉健康科学部教授	朝井 政治	
2	立命館アジア太平洋大学国際経営学部教授	牧田 正裕	
3	大分銀行地域創造部長	亀井 祐二	
4	豊和銀行営業統括部地方創生推進室次長	田中 秀二	
5	大分県信用組合県庁内支店長 (地方創生・まちづくり参画担当)	大谷 健	
6	大分県社会福祉協議会施設団体支援部長	梅木 豊誌	
7	社会福祉法人同心会 理事長	一原 浩	
8	社会福祉法人暘谷福祉会 常務理事	柿本 貴之	
9	大分県企画振興部まち・ひと・しごと創生推進室長	高橋 強	委員長
10	大分県福祉保健部福祉保健企画課長	前田 耕作	
11	大分県福祉保健部高齢者福祉課長	清末敬一郎	
12	大分市長寿福祉課長	後藤 剛	
13	別府市政策推進課参事	松川 幸路	
14	中津市総合政策課長	松尾 邦洋	
15	日田市長寿福祉課長	伊藤 文子	
16	臼杵市協働まちづくり推進課長	柴田 監	
17	津久見市政策企画課長	石井 達紀	
18	竹田市企画情報課長	佐伯 治	
19	豊後高田市社会福祉課長	植田 克己	
20	杵築市福祉推進課長	江藤 修	
21	宇佐市介護保険課長	麻生 公一	
22	豊後大野市高齢者福祉課長	足立 建士	
23	日出町健康増進課長	利光 隆男	
24	九重町企画調整課自律のまちづくりグループリーダー	藤野 匡宏	
25	玖珠町まちづくり推進課総合戦略室係長	後藤 将典	



**平成 28 年度**  
**「生涯活躍のまち」調査研究報告書**

平成 29 年 3 月

大 分 県